

みょう ぜん  
妙 前 遺 跡

2001年3月

長野県飯田市教育委員会

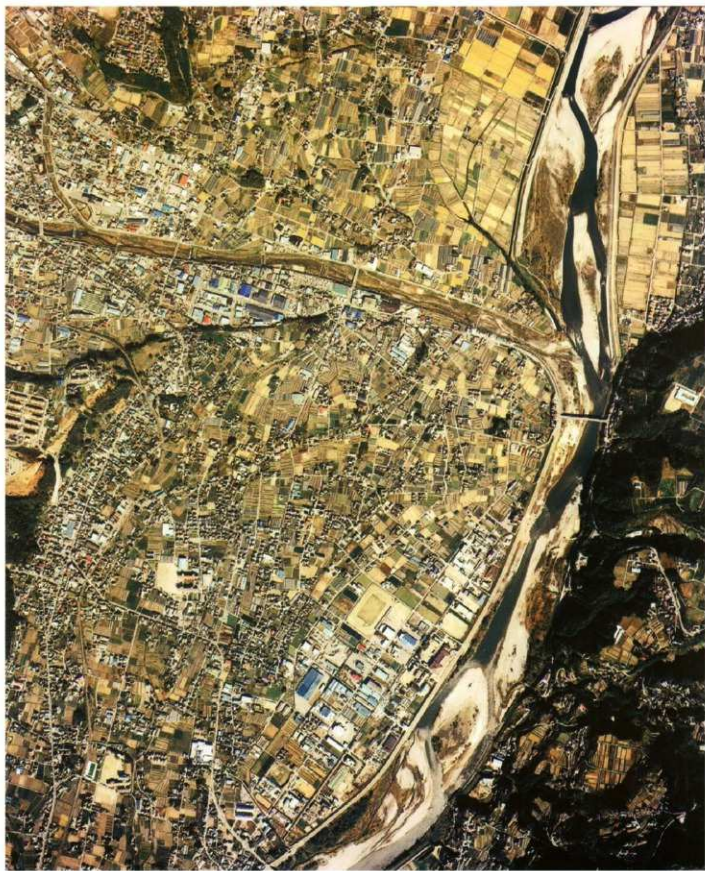
妙前遺跡報告書正誤表

頁・内容	誤	正
例言 5行目	㊦ジャステック	鏝ジャステック
P 1 6行目	前調査区	全調査区
P 5 9行目	低位段丘。では	低位段丘では
P 5 10行目	低位段丘「では	低位段丘では
P 11 ㊦SB02 出土遺物		打製石斧を加える
P 14 ㊦SB42 出土遺物		砥石 紡錘車を削除
P 27 26SB60 根拠	掘住居址形態	住居址形態
P 43 SK48 出土遺物		打製石斧・磨製石斧を加える
P 112 第56図 21縮尺	1/4	1/3
P 116 第60図 8		削除
P 138 第82図 24		削除
P 141 第85図 14・15縮尺	1/4	1/1
P 142 第86図 9・10縮尺	1/4	1/1
P 144 第88図 8・14縮尺	1/4	1/1
P 145 第89図	1～13SB101	1～12SB101 13SB02
P 146 第90図	3～5SB42	3SB42 4・5遺構外
P 152 第96図 14・20～23縮尺	1/4	1/1
P 153 第97図 2・3縮尺	1/4	1/1
P 154 第98図 13・14・18縮尺	1/4	1/1
P 155 第99図 6・20縮尺	1/4	1/1
P 156 第100図 17縮尺	1/4	1/1
P 157 第101図	5SB77	SB60
P 157 第101図 2・4縮尺	1/4	1/1
P 158 第102図 2・4縮尺	1/4	1/1
P 161 第105図	13～15SK84	SK48
P 162 第106図 1～5・7縮尺	1/4	1/1

みょう ぜん 遺 跡  
妙 前

2001年3月

長野県飯田市教育委員会



妙前道跡及び松尾地区全景（平成4年11月撮影） 1 : 12,500



妙前道跡出土縄文土器



妙前遺跡出土葬生土器



妙前遺跡出土古墳時代土器



妙前遺跡出土門面硯

# 序

飯田市は「人も自然も美しく、輝くまち飯田—環境文化都市」として基本計画に示すとおり、山紫水明の自然環境に恵まれ、原始古代より多くの人々が生活を営んできた地域であります。しかし、この飯田市に於いても地域社会発展のために現在まで埋蔵されていた埋蔵文化財に開発工事の手をつけざるを得ない事態が生じてきております。本来ならば過去から現在まで保存されてきたと同様に地中に保存していくのが最善の方法であります。次善の策として発掘調査を行い記録保存することによって後世に埋蔵文化財を残すのはやむを得ないことと考えております。

今回発掘調査を実施した妙前遺跡は、飯田市松尾地区に所在し、周辺には県宝指定の眉庇付冑が出土した妙前大塚をはじめとする妙前古墳群や、弥生時代中期の標識土器が出土した寺所遺跡があり、埋蔵文化財が密集した箇所であります。この遺跡内にひまわり学園を改築するということで発掘調査を行いました。この調査により、100軒を越える住居址が発見され、縄文時代から平安時代までの長い間に亘る集落の跡であることが確認されました。この調査結果から、当時の人々の暮らしぶりを垣間見た気が致します。このように、これらの発掘調査の積み重ねによって地域の歴史の再構築が行われ、ひいてはその成果が私たちの生活に還元されていくものであります。

最後になりましたが、調査実施にあたり文化財保護の本旨に厚い御理解を賜った飯田市保健福祉部・建設部、地元の皆様、現地・整理作業に従事された作業員の皆様に深甚なる謝意を申し上げる次第であります。

平成13年 3月

飯田市教育委員会

教育長 富田 泰 啓



## 例 言

1. 本報告書は、市立ひまわり学園改築に伴い実施された、飯田市松尾地区所在の埋蔵文化財包蔵地妙前遺跡の緊急発掘調査報告書である。
2. 発掘調査は飯田市教育委員会が直営で行った。
3. 調査は、平成10年度現地調査を、12年度整理作業及び報告書作成作業を行った。
4. 発掘調査及び整理作業は、MY Z5934を用いた。また、遺構には以下の記号を用いた。竪穴住居址・SB 掘立柱建物址・ST 溝址・SD 集石・SI 土坑・SK
5. 妙前遺跡に於ける発掘調査位置は国土基本図の区画、LC-85に位置し、(社団法人日本測量協会1969「国土基本図図式 同適用規定」参照)、グリッド設定は飯田市埋蔵文化財基準メッシュ図に基づいて、⑭ジャステックに委託した。
6. 本書の記載については遺構の順とし、住居址については時代順とした。遺構図・遺物図・写真は本文末に一括した。
7. 表中の出土遺物記述に於いて、古墳時代以降の土器で器種のみものは土師器を示す。
8. 本遺跡の遺構は、重複関係が多く遺構出土遺物が多時期に及ぶ。よって明らかにその遺構に属さない遺物については時期外とした。しかし、完全に分けられなかったものがある。
9. 土層観察については小山正忠・竹原秀男 1996『新版標準土色帖』による。
10. 遺物実測図の縮尺については、下記のとおりである。  
土器 復元実測図1/4及び1/8・拓本及び断面1/3と1/4  
土製品 1/2  
石器 小型石器1/1・他1/3  
鉄器 1/1・1/3
11. 石器実測図の表現については「T」刃潰し加工・「K」敲打・「S」研磨を示す。
12. 本書は担当者の協議の上、吉川金利が執筆・編集し、小林正春が総括した。
13. 本書に関連する出土品及び諸記録は飯田市教育委員会が管理し、飯田市考古資料館及び飯田市上郷考古博物館で保管している。

# 目 次

序	②S B03	11
例 言	③S B04	12
目 次	④S B10	12
	⑤S B15	12
	⑥S B18	13
	⑦S B35	13
	⑧S B37	13
	⑨S B42	14
	⑩S B45	14
	⑪S B46	14
	⑫S B50	15
	⑬S B53	15
	⑭S B55	15
	⑮S B72	16
	⑯S B76	16
	⑰S B82	16
	⑱S B83	17
	⑲S B84	17
	⑳S B93	17
	㉑S B95	18
	㉒S B96	18
I 調査経過	(3) 古墳時代	
1. 調査に至るまでの経過	①S B01	18
2. 調査の経過	②S B05	19
3. 調査組織	③S B06	19
(1) 調査団	④S B12	19
(2) 事務局	⑤S B13	20
	⑥S B17	20
	⑦S B19	20
	⑧S B20	21
	⑨S B21	21
	⑩S B25	21
	⑪S B28	22
II 遺跡環境		
1. 自然環境		
2. 歴史環境		
III 調査結果		
1. 基本層序		
2. 竪穴住居址 (S B)		
(1) 縄文時代		
①S B23	8	
②S B24	8	
③S B26	8	
④S B40	9	
⑤S B43	9	
⑥S B47	9	
⑦S B49	10	
⑧S B63	10	
⑨S B69	10	
⑩S B101	11	
(2) 弥生時代		
①S B02	11	

⑫ S B 30	22	⑬ S B 74	34
⑬ S B 32	22	⑭ S B 79	34
⑭ S B 34	23	⑮ S B 81	35
⑮ S B 36	23	⑯ S B 85	35
⑯ S B 38	23	⑰ S B 87	35
⑰ S B 48	24	⑱ S B 88	36
⑱ S B 56	24	⑲ S B 89	36
⑲ S B 57	24	(6) 不明	
⑳ S B 59	25	① S B 08	36
㉑ S B 61	25	② S B 09	37
㉒ S B 68	25	③ S B 11	37
㉓ S B 75	26	④ S B 16	37
㉔ S B 77	26	⑤ S B 22	38
㉕ S B 78	26	⑥ S B 27	38
㉖ S B 80	27	⑦ S B 29	38
㉗ S B 86	27	⑧ S B 39	39
㉘ S B 90	27	⑨ S B 41	39
㉙ S B 91	28	⑩ S B 52	39
㊱ S B 92	28	⑪ S B 54	40
⑪ S B 97	28	⑫ S B 58	40
⑫ S B 98	29	⑬ S B 64	40
⑬ S B 99	29	⑭ S B 70	41
⑭ S B 100	29	⑮ S B 71	41
⑮ S B 102	30	⑯ S B 94	41
(5) 奈良・平安時代		⑰ S B 103	42
① S B 07	30	3. 建物址 (S T)	
② S B 14	30	S T 01	42
③ S B 31	31	4. 溝址 (S D)	
④ S B 33	31	S D 02~03	42
⑤ S B 44	31	5. 集石 (S I)	
⑥ S B 51	32	S I 01	42
⑦ S B 60	32	6. 土坑 (S K)	
⑧ S B 62	32	S K 01~81	42
⑨ S B 65	33	7. ビット	44
⑩ S B 66	33	8. 土層観察表	44
⑪ S B 67	33		
⑫ S B 73	34	IV まとめ	

1. 繩文時代 .....	49
2. 弥生時代 .....	50
3. 古墳時代 .....	50
4. 奈良・平安時代 .....	51
引用・参考文献 .....	52

図版

写真図版

報告書抄録

# I 調査経過

## 1 調査に至るまでの経過

平成9年6月10日付で飯田市建設部より埋蔵文化財発掘の届出が飯田市教育委員会に提出された。内容は松尾地区に所在するひまわり学園建替事業であった。当該地は埋蔵文化財包蔵地妙前遺跡内にあたり、前述の二者により協議を行った結果、埋蔵文化財の保存が望まれるが工事の変更は不可能であるとの結論に達し、発掘調査を行い記録保存することとなった。また、旧建造物を建設する際、大量の遺物が出土したとの話があったため、当初より本調査を行うこととした。

## 2. 調査の経過

平成10年3月17日に調査対象地西側の旧建造物の解体が終了したため、同日、重機により表土剥ぎを行い、19日より作業員による遺構検出作業を開始した。同月23日に基準点測量を委託した。調査区西側の調査がほぼ終了したため、5月15日にラジコンヘリコプターによる空中写真撮影を委託した。残りの東側については4月17日から21日まで重機にて表土剥ぎを行ったが、調査区東側の一部について表土が取りきれない箇所があったため、5月29日から6月2日まで再度重機にて表土剥ぎを行った。同年7月9日現場での一切の調査が終了した。調査区東側及び前調査区の空中写真については時間的制約と西側を撮影した写真の状況から撮影は行わなかった。

整理作業は平成12年度に行い、報告書刊行となった。

## 3. 調査組織

### (1) 調査団

調査主体者	飯田市教育委員会	教育長	小林恭之助（～平成11年12月）		
		教育長	富田 崇啓（平成11年12月～）		
調査担当者	吉川 金利	福澤 好晃			
調査員	佐々木嘉和	吉川 豊（～平成10年度）	山下 誠一（～平成10年度）		
	藤原 直人（平成11年度～）	馬場 保之	澁谷恵美子（平成11年度～）		
	下平 博行	伊藤 尚志	坂井 勇雄		
作業員	新井 幸子	池田 幸子	伊藤 孝人	伊東 裕子	井上 恵資
	太田 沢男	片山 祐介	金井 照子	木下 貞子	木下 早苗

木下 義男	小林 千枝	佐々木一平	佐々木真奈美	佐藤知代子
清水 三郎	下沢 和央	代田 和登	杉山 春樹	関島真由美
高木 純子	橘 千賀子	田中 薫	田中 博人	仲田 昭平
中平 隆雄	中山 敏子	服部 光男	林 勢紀子	原 昭子
原田四郎八	原田 洋子	樋本 宣子	福沢 育子	牧内 修
牧内喜久子	松下 省吾	松下 成司	松下 博子	宮内真理子
森藤美知子	吉川 悦子	吉川紀美子		

(2)事務局

飯田市教育委員会

関口 和雄	(教育次長	～平成11年度)
久保田裕久	( "	平成12年度～)
小畑伊之助	(博物館課 課長	～平成11年度)
米山 照美	( " "	平成12年度～)
小林 正春	( " 埋蔵文化財係長)	
吉川 豊	( " 埋蔵文化財係	～平成10年度)
山下 誠一	( " "	～平成10年度)
馬場 保之	( " "	)
澁谷恵美子	( " "	平成11年度～)
吉川 金利	( " "	)
福澤 好晃	( " "	)
伊藤 尚志	( " "	)
下平 博行	( " "	)
坂井 勇雄	( " "	平成11年度～)
今村 進	( " 庶務係長	平成12年度～)
牧内 功	( " 庶務係	～平成10年度)
松山登代子	( " "	平成11年度～)

## II 遺跡環境

### 1. 自然環境 (第1～3回)

飯田市は伊那山脈と木曾山脈に挟まれた伊那谷の南端に位置し、両山脈の間を天竜川が南流する。天竜川や各支流による典型的な河岸段丘が見られるとともに、各山脈の前山より流下する河川により形成された扇状地や、山脈の形成に関わる断層地塊変動に伴う盆地・段丘崖があり、複雑な段丘地形を呈している。伊那谷の基本的な地形は天竜川の流れたほぼ南北方向への断層段丘地形を特徴としているが、後述するように天竜川の浸食作用も大きく影響を与えていると思われる。

飯田市松尾地区は、飯田市街地から南東に約2～5kmに位置し、飯田市全域から見ればほぼ中央部にあたる。東は天竜川を挟み下久堅地区に、北は飯田松川(以下松川とする)で上郷地区と境を接する。南は毛賀沢川を挟み竜丘地区となり、西は段丘上で郡地区と接する。地形的に見れば天竜川の氾濫原を含め8の段丘面で形成されている(下伊那地質誌編集委員会編 1976)。それらは、中位と低位とに大別でき、その境は鳩ヶ峯八幡宮の社叢を中心とした段丘崖である。各段丘面は、松川北岸の飯田市街地・上郷地区の段丘面とよく対応しており、松川により開析されたことがわかる。

中位段丘の八幡原は小河川によりいくつかに開析され、北から南に、上の城・茶柄山、妙見山、八幡山、代田山、御射山原、松尾城址とそれぞれに名前が付いている。その標高は480m前後でローム層に覆われた台地である。中位段丘の土壌については、「花崗岩の基盤の上に古生層・花崗岩の砂・砂礫・礫の互層が蓋い、その上に厚さ1～2mの安山岩質火山灰が堆積している」(松尾村誌編集委員会 1982)。

低位の段丘は前述の段丘崖下から天竜川氾濫原に至る松尾地区の大半で、低位段丘Ⅰと低位段丘Ⅱがある。低位段丘Ⅰは主に八幡町から毛賀諏訪神社にかけて、低位段丘ⅡはほぼJR飯田線軌道敷東側で、両者の比高差は10mを測る。この中に各3面の小段丘があり、それぞれ2～5mの比高差がある。標高は380～430m程度である。それぞれの段丘面の広さは一様ではないが、いずれも南北方向の段丘崖が確認でき、東向きに湾曲している。これについては「松川の押し出しと妙前台地基盤の花崗岩の抵抗によって、天竜川が河道を東に移動させながら側侵蝕することにより作ったもの」(同前)と考えられる。低位段丘上には、中位段丘を開析する小河川が小扇状地を形成している箇所があり、その部分では段丘崖の把握は困難となっている。「段丘の縁辺部が高く、上位段丘の基部に向かってやや低く成っている。そして縁辺部は礫が多く土層の薄い浅層相で、基部は湧水の存在と相まって湿田が多い」(同前)。明河原付近は天竜川の氾濫原で、低位段丘と同様、内湾状を呈している。

妙前遺跡は、遺跡面積約15ha、標高400～407mを測り、松尾地区の最北端、低位段丘Ⅱa1上に位置する。北側は松川を望み、東及び南側は同じ段丘面にある寺所遺跡と隣接する。両者は本遺跡が段丘の比高差6～7mを測る微高地に立地し、それより低い所に寺所遺跡が立地する関係にある。西側から南西側にかけては比高差1.5～2mを測る湿地帯となっている(これは平成10年度民間開発に伴う試験調査の折に確認されている)。その湿地帯を挟んで水城遺跡が存在する。今次調査地点は、遺跡の南西

部に位置している。

## 2. 歴史環境 (第1～3図)

松尾地区の遺跡を概観すると、天竜川氾濫原及び段丘崖を除いてほぼ全域が包蔵地である。松尾地区での埋蔵文化財発掘調査は近年になって増大してきた。学術調査は、おかん塚古墳(2)(昭和41年)・毛賀がが原遺跡(3)(昭和42年)・寺所遺跡(4)(昭和43・46年)・妙前大塚(3号)古墳(5)(昭和46年)・上溝天神塚古墳(6)(平成3年)があるが、近年は、諸開発に先立つ緊急調査が主になっている。天竜川護岸工事と一般国道152号付替に伴う清水遺跡の調査(7)(昭和49・50年)、工場建設に先立つ南ノ原遺跡調査(8)(昭和50年)・毛賀御射山遺跡調査(9)(昭和53年)、長野県飯田長姫高等学校建設に先立つ狼小場遺跡の調査(10)(昭和53・54年度)、都市計画公園整備に伴う松尾城跡の調査(11)(昭和54・55年)、集会所建設に先立つ上溝遺跡・上溝天神塚古墳の調査(昭和58年)、同じく集会所建設に先立つ八幡町古墳の調査(12)(昭和63年)、松尾公民館移転新築に伴う城遺跡調査(13)(平成元年)、市立病院建設に先立つ物見塚古墳の調査(14)(同年)、雇用促進住宅の建設に伴う清水遺跡の調査(15)(平成2年)、一般国道153号飯田バイパス建設に伴う八幡原遺跡・松尾北の原遺跡・茶柄山古墳群・上の城跡の調査(16・17・18・19)(平成2～7年)、事務所兼住宅建設に先立つ八幡原遺跡・妙見山古墳の調査(20・21)(平成2・3年)、市立緑ヶ丘中学校プール建設及び校舎改築に先立つ田圃遺跡の調査(22・23)(平成3・7・8年)、送電線建設に先立つ久井遺跡の調査(24)(同年)、都市計画道路飯田下山線建設に先立つ狼小場遺跡の調査(25)(同年)、集会所建設に先立つ寺所遺跡の調査(26・27)(平成5・8年)、同集会所建設に先立つ水城遺跡の調査(28)(平成9年)がある。

松尾地区の歴史を概観すると、縄文時代以前の遺構・遺物は低位段丘で断片的に報告されているにすぎない。上溝遺跡では縄文時代草創期の有舌尖頭器が(下伊那誌編纂会 1991)、清水遺跡・明集会所付近(八幡 1972他)・寺所遺跡では早期前半の押型文土器が出土しており、上郷・座光寺地区と同様、相当早くからこうした低地で人々が生活した様子が確認できる。田圃遺跡では、中期後葉と考えられる小竪穴が調査されている(飯田市教委 1993)。これに対して、中位段丘上の遺跡では、それよりも古い旧石器時代の遺物の出土が報告されている。狼小場遺跡ではナイフ形石器、八幡原遺跡では彫器が出土している。また、縄文時代前期の八幡原遺跡では竪穴住居址・土坑が確認されている(同 1992)し、中期の遺構が狼小場遺跡にある。しかし、後期・晩期についてはいまだ報告がされていない。弥生時代では、中期前葉の寺所式の標式遺跡、寺所遺跡が著名である。さらに後期には低位段丘の田圃遺跡・城遺跡・清水遺跡のほか、狼小場遺跡・茶柄山遺跡など中位段丘上への進出がみられる。

古墳時代前期には、城遺跡・清水遺跡など前時代から継続した集落の姿がある。古墳時代後期の集落址は、久井遺跡・上溝遺跡・田圃遺跡など調査例は少ないが、現存する古墳の数から推察すればかなりの規模の集落が複数あったと考えるのが妥当である。

松尾地区に現存する古墳の数は、座光寺地区・竜丘地区と並んで多い。松尾地区にある古墳の中で最も古い古墳は、代田山に現存する前方後墳、長野県史跡代田山狐塚古墳(29)(平成6年2月17日指



定、飯田市教委 1994)である。長野県内最古に属すると考えられる古墳で、県内いずれの地域においてもほぼ同時期に古墳が築造され始めたことが判ってきている。土器などの流れからみると、兩信地方は弥生時代中期から東海地方との交流が活発になってきたようで、さらに弥生時代の終末にかけて全県下へと交流が拡大していく。こうした時代的な背景のもとに代田山孤塚古墳が築造されたと考えられる。続く5世紀代には、厩尻付冑が出土した妙前大塚(同 1971)、馬の副葬を伴う茶柄山古墳群など多くの古墳が築造される。地形と古墳群の関係をみると、中段段丘の縁辺には、帆立貝型古墳と見られる八幡山古墳(30)、八幡原に物見塚古墳・妙見山古墳があった。八幡原の一段下位の北の原には、前方後円墳である御射山獅子塚古墳(31)・茶柄山3号古墳とその周辺に点在する茶柄山古墳群がある。低位段丘では、天神塚古墳・おかん塚古墳・姫塚古墳(32)・羽場獅子塚古墳(33)の前方後円墳を中心にした上溝古墳群、代田獅子塚古墳を中心とした代田・上毛賀古墳群がある。低位段丘「では、上溝古墳群の下位の妙前古墳群や水佐代・城古墳群、代田・上毛賀古墳群の下位に下毛賀古墳群があり、沓原を除く松尾地区全域に古墳が見られる。今次調査地点は、妙前古墳群と同一段丘面上にある。一方で、この時代には城遺跡(飯田市教委 1991)・八幡原遺跡(同 1992)・寺所遺跡などで、方形周溝墓・円形周溝墓といった墳墓群が営まれている。各遺跡では貼石をもつ方形周溝墓が確認されており、当時の墓制を研究する上で注目される。

奈良時代から平安時代にかけては、久井遺跡で2棟の掘立柱建物址が検出されている(同 1993)。もし、これが奈良時代のものとするれば、古代官衙址に関連する建物の可能性があり、伊那郡小村郷の郷庁もしくは東山道育良駅に比定することができるかもしれない。田圃遺跡では数軒の奈良時代の竪穴住居址が確認され、中に礎石を持つ竪穴住居址もある(同 1991)。その他、猿小場遺跡・八幡原遺跡・清水遺跡・田圃遺跡や隣接する水城遺跡で、平安時代の遺構が確認されている。猿小場遺跡では、25軒の住居址が調査され相当規模の大きな集落が営まれている。清水遺跡でも住居址や掘立柱建物址が確認されている。毛賀御射山遺跡は、布目瓦や瓦塔片が出土しており、古代寺院が存在した場所である。

中世には、松尾城址を信濃守護職である小笠原氏が本拠としており、毛賀沢川を挟んで対峙する鈴岡城跡とともに、県の史跡に指定されている。さらに松尾地区の東端に「城」という地名が残っており、松尾城移動前の小笠原氏の居館跡があったと言われている。松尾城跡や南ノ原遺跡では、陶磁器や建物址が確認されている。その他、調査された城跡として上の城跡があり、土塁などが把握されたが、築造・廃絶の時期や城主などについては不明な点が多い。また、茶柄山遺跡では中世から近代に至るまでの墳墓群が調査されている。

松尾地区の中央に鬱蒼とした社叢に囲まれた鳩ヶ嶺八幡宮があり、鎌倉時代には名がみえる。八幡町はその門前町として発達してきた。本尊として奉られている誉田別尊坐像は重要文化財に指定されている。八幡町には旧街道が2本通っていた。そのうち一本が秋葉街道と呼ばれるもので、現在の一般国道256号である。この街道は武田信玄の遠州侵攻により整備されたものである。もう一本は遠州街道で、現在の一般国道151号である。この道は中馬道として江戸時代に発達した。この2本の街道の分岐点は鳩ヶ嶺八幡宮の前であり、現在でも飯田市指定史跡の道標が立っており、交通の要所であることを示している。



## Ⅱ 調査結果

今次調査に於いて検出された遺構は、以下のとおりである。

・竪穴住居址 (S B)		・掘立建物址 (S T)		・土坑 (S K)	
縄文時代	10軒	時期不明	1棟	各時代	78基
弥生時代	22軒	・溝址 (S D)			
古墳時代	35軒	時期不明	2条		
奈良・平安時代	19軒	・集石 (S I)			
不明	17軒	時期不明	1基		

### 1. 基本層序 (第4図)

調査区の東西2箇所で採取した。I・II・III層は後世の人為的な造成及び水田跡で、その下層はシルト質埴壇土と砂土との互層になり、興味深い埋没過程を示す。縄文時代から平安時代まで全ての時代の遺構がⅣ層上層で確認することができた。

## 2. 竪穴住居 (SB)

### (1) 縄文時代

#### ① SB23 (第5図)

検出位置	BN-35	覆土			
重複	切れる SB24	床面	不明瞭		
重複	切られる	住居内施設	埋場 場所不明 状況		
規模・形状	プラン			主柱穴	P1
	規模 m			周溝	不明
	主軸			入口	不明
	壁高 cm			炉形状	不明
状態	壁 12	炉・規模 cm	不明		
	状態	壱	特記事項		
出土遺物 (第52図) 深鉢片					
特記事項					
時期	縄文中期後葉	根拠	出土遺物		

#### ② SB24 (第5図)

検出位置	BN-30	覆土			
重複	切れる	床面	不明瞭で軟弱		
重複	切られる SB10・14・20・23	住居内施設	埋場 場所なし 状況		
規模・形状	プラン			主柱穴	P1~P6
	規模 m			周溝	なし
	主軸			入口	不明
	壁高 cm			炉形状	不明
状態	壁 18	炉・規模 cm	不明		
	状態	壱	特記事項		
出土遺物 (第52・84・85図) 深鉢・土鍋 打製石斧・横刃型石器・粗製石匙・磨製石斧・敲打器・石鏃・石鏃・スレイバー					
特記事項					
時期	縄文中期中葉末～後葉	根拠	出土遺物		

#### ③ SB26 (第5図)

検出位置	BT-29	覆土			
重複	切れる SB17・19・25	床面	不明瞭で軟弱		
重複	切られる	住居内施設	埋場 場所 P1西 状況		
規模・形状	プラン			主柱穴	P1~P4
	規模 m			周溝	なし
	主軸			入口	不明
	壁高 cm			炉形状	石函炉か
状態	壁 14	炉・規模 cm	不明		
	状態	壱	特記事項		
出土遺物 (第52・85・86図) 深鉢 打製石斧・横刃型石器					
特記事項 抜石されている					
時期	縄文中期後葉	根拠	出土遺物		

## ④SB40 (第6図)

検出位置		BU-36	覆土		
重複	切れる		床面	不明瞭	
	切られる	SB33・36	住居内施設	主柱穴	不明
規模・形状	プラン	不明		周溝	不明
	規模m	不明		入口	不明
	主軸	不明	炉	形状	不明
	壁高cm	0		規模cm	不明
	状態	不明	竈	特記事項	
出土遺物 (第52・82・83・84・86図) 深鉢・土製円盤・土偶 打製石斧・石鏃					
特記事項					
時期 縄文中期後葉			根拠 出土遺物		

## ⑤SB43 (第6図)

検出位置		BQ-38	覆土		
重複	切れる	SB101	床面	不明瞭で軟弱	
	切られる	SB30・37	住居内施設	主柱穴	P1~P3・P5・P7か
規模・形状	プラン	(円形)		周溝	一部あり
	規模m	478×(458)		入口	P6か
	主軸	N25°W	炉	形状	石囲炉
	壁高cm	49		規模cm	120×104
	状態	やや緩やか	竈	特記事項	
出土遺物 (第52・53・84・86・87・88図) 深鉢・土偶 打製石斧・横刃型石器・磨製石斧・敲打器・石鏃					
特記事項 重複 SB103					
時期 縄文中期後葉			根拠 出土遺物		

## ⑥SB47 (第7図)

検出位置		BU-32	覆土		
重複	切れる		床面	明瞭であるが軟弱	
	切られる	SB19・31・45	住居内施設	主柱穴	P1~P6か
規模・形状	プラン	不明		周溝	なし
	規模m	不明		入口	不明
	主軸	N3°E	炉	形状	地床炉
	壁高cm	11		規模cm	142×128
	状態	やや緩やか	竈	特記事項	抜かれている可能性あり
出土遺物 (第53・88図) 深鉢 打製石斧・横刃型石器					
特記事項 重複 SB27・29					
時期 縄文中期後葉			根拠 出土遺物		

⑦SB49 (第7図)

検出位置	BQ-32	覆土	
重複	切れる	床面	不明瞭で軟弱
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 P1~P3・P5・P6・P8か
規模・形状	プラン	周溝	なし
	規模 m	入口	不明
	主軸	炉形状	地床炉(石囲炉の可能性あり)
	壁高 cm	規模 cm	157×100
	状態	壘	特記事項
出土遺物 (第53・88図)			
深鉢			
打製石斧・敲打器・使用痕のあるフレーク			
特記事項			
重複 SB39			
時期	縄文中期後葉	根拠	出土遺物

⑧SB63 (第8図)

検出位置	BW-00	覆土	
重複	切れる	床面	不明瞭で軟弱
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 P1~P3か
規模・形状	プラン	周溝	なし
	規模 m	入口	不明
	主軸	炉形状	不明
	壁高 cm	規模 cm	不明
	状態	壘	特記事項
出土遺物 (第53図)			
深鉢			
特記事項			
時期	縄文中期後葉	根拠	出土遺物

⑨SB69 (第8図)

検出位置	BO-44	覆土	
重複	切れる	床面	
重複	切られる	住居内施設	主柱穴
規模・形状	プラン	周溝	
	規模 m	入口	
	主軸	炉形状	石囲炉
	壁高 cm	規模 cm	68×90
	状態	壘	特記事項
出土遺物 (第53・88図)			
深鉢片			
特記事項			
炉のみ検出			
時期	縄文中期後葉	根拠	出土遺物

⑩SB101 (第8図)

検出位置		BP-39	覆土			
重複	切れる		床面			
	切られる	SB30-35・42・43	主柱穴			
規模・形状	プラン	不明	住居内施設	厨・溝	場所 BP-39 状況 正位で胴部のみ	
	規模 m	不明		入口		
	主軸	不明		炉・形状		不明
	壁高 cm	0		規模 cm		不明
	状態	不明		特記事項		
出土遺物 (第54・89図)						
深鉢						
打製石斧・横刃型石器・粗製石匙・石鏃						
特記事項						
埋燻のみ検出						
時期	縄文中期後葉		根拠	出土遺物		

(2) 弥生時代

①SB02 (第9図)

検出位置		BL-23	覆土		単層
重複	切れる		床面		不明瞭で軟弱
	切られる	SB01	主柱穴		不明
規模・形状	プラン	隅丸長方形	住居内施設	貯蔵穴	不明
	規模 m	4.4 × 3.3		入口	不明
	主軸	N38° E		炉・形状	不明
	壁高 cm	14		規模 cm	不明
	状態	ほぼ垂直		特記事項	
出土遺物 (第54図)					
高坏・甕					
特記事項					
重複 SB08					
時期	縄文中期後葉		根拠	出土遺物	

②SB03 (第9図)

検出位置		BO-25	覆土		単層
重複	切れる		床面		スクリーントーン部貼床残る、全般的に軟弱
	切られる	SB15	主柱穴		不明
規模・形状	プラン	不明	住居内施設	貯蔵穴	不明
	規模 m	不明		入口	不明
	主軸	不明		炉・形状	不明
	壁高 cm	12		規模 cm	不明
	状態	やや緩やか		特記事項	
出土遺物 (第54図)					
甕					
特記事項					
時期	弥生後期		根拠	出土遺物	

## ③SB04 (第10図)

検出位置	B J-23	覆土	なし
重複	切る	床面	不明瞭
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 不明
規模	プラン 不明	住居内施設	貯蔵穴 不明
規模・主軸	規模 m 不明	住居内施設	入口 不明
形状	主軸 不明	住居内施設	炉形状 不明
形状	壁高 cm 0	住居内施設	規模 cm 不明
形状	状態 不明	住居内施設	特記事項
出土遺物 (第54図)			
鏝			
特記事項			
時期	弥生後期	根拠	出土遺物

## ④SB10 (第10図)

検出位置	B L-29	覆土	
重複	切る	床面	明瞭で堅固な貼床
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 P1~P4
規模	プラン 隅丸方形	住居内施設	貯蔵穴 不明
規模	規模 m 5.0×4.8	住居内施設	入口 不明
規模・主軸	主軸 N51° W	住居内施設	炉形状 炉礎石を有する地床炉
形状	壁高 cm 21	住居内施設	規模 cm 56×50
形状	状態 やや緩やか	住居内施設	特記事項
出土遺物 (第54・89図)			
高坏・甕・台付甕・蓋			
挟入打製石包丁・横刃型石器			
特記事項			
時期	弥生後期	根拠	出土遺物

## ⑤SB15 (第21図)

検出位置	B O-23	覆土	
重複	切る	床面	
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 不明瞭
規模	プラン 不明	住居内施設	貯蔵穴 不明
規模	規模 m 不明	住居内施設	入口 不明
規模・主軸	主軸 不明	住居内施設	炉形状 不明
形状	壁高 cm 8	住居内施設	規模 cm 不明
形状	状態 緩やか	住居内施設	特記事項
出土遺物 (第59・92図)			
高坏			
磨石			
特記事項			
時期	弥生後期	根拠	出土遺物



⑥SB18 (第10図)

検出位置	BQ-30	覆土	
重複	切る SB49	床面	不明瞭
重複	切られる SB17-38	住居内施設	主柱穴 P1~P4か 貯蔵穴 不明 入口 不明 炉形状 土器埋設炉 炉・竈 規模cm 65×58 竈 特記事項 埋薬
規模・形状	プラン 隅丸方形 規模m 4.2×3.8 主軸 N37° E 壁高cm 11 状態 壁 やや緩やか		
出土遺物 (第54図) 薬 打製石斧・敲打器			
特記事項			
時期	弥生後期	根拠	出土遺物

⑦SB35 (第11図)

検出位置	BO-38	覆土	
重複	切る SB101	床面	明瞭な貼床
重複	切られる SB30-34	住居内施設	主柱穴 不明 貯蔵穴 不明 入口 不明 炉形状 炉縁石を有する地床炉 炉・竈 規模cm 54×50 竈 特記事項
規模・形状	プラン 不明 規模m 不明 主軸 N46° W 壁高cm 14 状態 壁 やや緩やか		
出土遺物 (第54・89図) 薬 横刃型石器・挟入打製石磨丁			
特記事項 重複 SB42			
時期	弥生後期	根拠	出土遺物

⑧SB37 (第11図)

検出位置	BS-38	覆土	
重複	切る SB43	床面	明瞭で堅固な貼床
重複	切られる SB28・30・36	住居内施設	主柱穴 不明 貯蔵穴 不明 入口 不明 炉形状 土器埋設炉 炉・竈 規模cm 炉1:60×52 炉2:53×(37) 竈 特記事項
規模・形状	プラン 不明 規模m (5.1)×(5.0) 主軸 N44° E 壁高cm 23 状態 壁 ほぼ垂直		
出土遺物 (第54・90図) 薬 横刃型石器・磨製石斧			
特記事項 重複 SB103			
時期	弥生後期	根拠	出土遺物

⑨SB42 (第12図)

検出位置		BP-41	覆土		
重複	切る	SB101	住居内施設	床面	明瞭な貼床
	切られる	SB48・61		主柱穴	P1~P4
規模・形状	プラン	方形	貯蔵穴	不明	
	規模 m	6.1×(5.3)	入口	不明	
	主軸	N144° W	炉形状	地床炉	
	壁高 cm	19	規模 cm	64×62	
	状態	ほぼ垂直	特記事項	範囲のみ	
出土遺物 (第54・55・90図)					
高坏・台付甕・甕					
挟入打製石彫丁・砥石・紡錘車					
特記事項					
時期	弥生後期		根拠	出土遺物	

⑩SB45 (第12図)

検出位置		BT-34	覆土		
重複	切る	SB47	住居内施設	床面	明瞭な貼床
	切られる	SB31		主柱穴	P1~P4
規模・形状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴	不明	
	規模 m	5.8×5.4	入口	不明	
	主軸	N52° W	炉形状	別記	
	壁高 cm	21	規模 cm	別記	
	状態	やや緩やか	特記事項		
出土遺物 (第55・90図)					
甕・甕					
挟入打製石彫丁・磨製石斧・敲打器					
特記事項 重複 SB27					
炉1: (46)×42 炉2: (32)×32 炉3: 45×37 炉4: 66×52					
炉1: 地床炉 炉2: 土器埋設炉 炉3: 地床炉 炉4: 炉縁石を有する地床炉					
時期	弥生後期		根拠	出土遺物	

⑪SB46 (第13図)

検出位置		BQ-35	覆土		
重複	切る		住居内施設	床面	明瞭な貼床
	切られる	SB28・31・32・34		主柱穴	P1~P4
規模・形状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴	不明	
	規模 m	3.3×3.9	入口	不明	
	主軸	N131° W	炉形状	炉1: 土器埋設炉 炉2: 地床炉	
	壁高 cm	25	規模 cm	炉1: 30×30 炉2: 45×45	
	状態	ほぼ垂直	特記事項		
出土遺物 (第55・90図)					
甕・台付甕・甕					
打製石斧・敲打器					
特記事項					
重複 SB39					
時期	弥生後期		根拠	出土遺物	

⑫ S B 50 (第13図)

検出位置		B V - 48	覆土		
重複	切る	SB63	住居内施設	床面	堅固で明瞭な貼床
	切られる			主柱穴	P1~P4
規模・形状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴	不明	
	規模 m	3.8 × 3.7	入口	P5	
	主軸	N53° W	炉形状	炉礎石を有する土器埋設炉	
	壁高 cm	22	規模 cm	118 × (106)	
	状態	ほぼ垂直	壙	特記事項	
出土遺物 (第55・91図)					
壙					
磨製石斧					
特記事項					
重複 SB53・54					
時期	弥生後期		根拠	出土遺物	

⑬ S B 53 (第14図)

検出位置		B X - 47	覆土		
重複	切る		住居内施設	床面	明瞭な貼床
	切られる	SB55・57		主柱穴	P1・P2
規模・形状	プラン	不明	貯蔵穴	不明	
	規模 m	- × 4.9	入口	不明	
	主軸	N18° E	炉形状	不明	
	壁高 cm	20	規模 cm	不明	
	状態	やや緩やか	壙	特記事項	
出土遺物 (第55・56図)					
高坏・壙					
特記事項					
重複 SB50					
時期	弥生後期		根拠	出土遺物	

⑭ S B 55 (第14図)

検出位置		B X - 00	覆土		
重複	切る	SB53・63	住居内施設	床面	明瞭で堅固な貼床
	切られる	SB59		主柱穴	P1~P3
規模・形状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴	不明	
	規模 m	- × 4.4	入口	不明	
	主軸	N137° W	炉形状	地床炉	
	壁高 cm	9	規模 cm	55 × 43	
	状態	やや緩やか	壙	特記事項	
出土遺物 (第56図)					
壙・蓋					
91-2 時期外					
特記事項					
時期	弥生後期		根拠	出土遺物	

⑭SB72 (第15図)

検出位置		BM-44	覆土	
重複	切る	SB70	床面	堅固な貼床
	切られる	SB75・81・85	住居内施設	主柱穴 不明
規模・形状	プラン	不明	貯蔵穴	不明
	規模m	不明	入口	不明
	主軸	不明	炉形状	不明
	壁高cm	22	規模cm	不明
	状態	やや緩やか	埋	特記事項
出土遺物 (第56・91図)				
罌・壺				
横刃型石器				
特記事項				
重複 SB83				
時期	弥生後期		根拠	出土遺物

⑮SB76 (第15図)

検出位置		BS-41	覆土	
重複	切る	SB61	床面	堅固な貼床
	切られる		住居内施設	主柱穴 P1~P4か
規模・形状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴	不明
	規模m	-×3.8	入口	不明
	主軸	N135° E	炉形状	不明
	壁高cm	11	規模cm	不明
	状態	やや緩やか	埋	特記事項
出土遺物 (第56・91図)				
罌				
打製石斧・磨製石鏃				
91-7時期外				
特記事項				
重複 SB41				
時期	弥生後期		根拠	出土遺物

⑰SB82 (第16図)

検出位置		BK-48	覆土	
重複	切る		床面	堅固な貼床
	切られる	SB65・75・79・80・81・91	住居内施設	主柱穴 P1~P4
規模・形状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴	不明
	規模m	4.1×4.5	入口	P6
	主軸	N123° E	炉形状	炉縁石を有する土器埋設炉
	壁高cm	32	規模cm	68×54
	状態	やや緩やか	埋	特記事項
出土遺物 (第56・91図)				
高坏・罌				
打製石斧・横刃型石器				
特記事項				
P5は開仕切ビット				
時期	弥生後期		根拠	出土遺物

⑬ SB 83 (第16図)

検出位置		BR-45	覆土		
重複	切れる		床面	堅固な貼床	
重複	切られる	SB75・77・78・85	住居内施設	主柱穴	P1
規模	プラン	隅丸方形		貯蔵穴	不明
規模	規模 m	—×3.4		入口	不明
規模・形状	主軸	N48° W		炉形状	不明
形状	壁高 cm	23		規模 cm	不明
形状	状	壘 やや緩やか	竈	特記事項	
出土遺物 (第56・57・91図)					
壘・竈					
横刃型石器・挟入打製石庵丁・紡錘車					
特記事項					
重複 SB70・72					
時期 弥生後期			根拠 出土遺物		

⑭ SB 84 (第17図)

検出位置		BR-49	覆土		
重複	切れる		床面	堅固な貼床	
重複	切られる	SB66	住居内施設	主柱穴	P1~P4
規模	プラン	隅丸方形		貯蔵穴	不明
規模	規模 m	4.6×4.6		入口	P5
規模・形状	主軸	N43° E		炉形状	炉縁石を有する土器埋設炉
形状	壁高 cm	28		規模 cm	72×36
形状	状	壘 やや緩やか	竈	特記事項	
出土遺物 (第57・92図)					
壘・竈					
挟入打製石庵丁・有肩扇状形石器・敲打器					
特記事項					
重複 SB64・71					
時期 弥生後期			根拠 出土遺物		

⑯ SB 93 (第17図)

検出位置		BO-49	覆土		
重複	切れる		床面	堅固な貼床	
重複	切られる	SB75・87	住居内施設	主柱穴	P1~P4
規模	プラン	不明		貯蔵穴	不明
規模	規模 m	4.0×—		入口	不明
規模・形状	主軸	N40° W		炉形状	地床炉
形状	壁高 cm	28		規模 cm	40×32
形状	状	壘 やや緩やか	竈	特記事項	
出土遺物 (第57・58・92図)					
壘・竈					
打製石斧					
特記事項					
重複 SB94・95					
時期 弥生後期			根拠 出土遺物		

②SB95 (第18図)

検出位置	BP-48	覆土	
重複	切る	床面	不明瞭
	切られる	住居内施設	主柱穴 不明
規模・形状	プラン 不明		貯蔵穴 不明
	規模 m 不明		入口 不明
	主軸 不明	炉	形状 炉縁石を有する土器埋設炉
	壁高 cm 0	・	規模 cm 35×34
	状 壘 不明	竈	特記事項
出土遺物 (第58図)			
壘			
特記事項			
重複 SB93-96			
時期	弥生後期	根拠	出土遺物

②SB96 (第18図)

検出位置	BQ-47	覆土	
重複	切る	床面	不明瞭
	切られる	住居内施設	主柱穴 不明
規模・形状	プラン 隅丸方形		貯蔵穴 不明
	規模 m 2.5×2.9		入口 不明
	主軸 不明	伊	形状 不明
	壁高 cm 28	・	規模 cm 不明
	状 壘 やや緩やか	竈	特記事項
出土遺物 (第58・92図)			
壘			
打製石斧			
特記事項			
重複 SB95			
時期	弥生後期	根拠	出土遺物

(3) 古墳時代

①SB01 (第19図)

検出位置	BL-20	覆土	単層
重複	切る	床面	堅固な貼床
	切られる	住居内施設	主柱穴 P1~P4
規模・形状	プラン 隅丸方形		貯蔵穴 不明
	規模 m (8.3)×7.3		入口 不明
	主軸 N79° W	炉	形状 石芯粘土竈
	壁高 cm 24	設	規模 cm (138)×166
	状 壘 やや緩やか	竈	特記事項
出土遺物 (第58・59・83・92・106図)			
須恵器壘・埴・鉢・高坏・甕・甗・須恵器壘・紡錘車			
編物石・勾玉・白玉			
特記事項			
重複 SB08-09			
P5~P7は間仕切ビットか			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

## ②SB05 (第19図)

検出位置	B J-24	覆土	単層
重複 切る	SB04	床面	不明瞭で軟弱
重複 切られる	SB06	住居内施設	主柱穴 なし 貯蔵穴 なし 入口 不明
規模・形状 プラン	隅丸方形	炉	形状 石芯粘土 ・規模cm 125×150
規模 規模m	4.8×5.0	竈	特記事項
主軸	N55° W		
壁高cm	26		
形状 状態	やや緩やか		
出土遺物 (第59・106図) 須恵器蓋・環・高環・甕 白玉			
特記事項			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

## ③SB06 (第20図)

検出位置	B K-25	覆土	
重複 切る	SB04・05	床面	部分的に堅固であるが全般的に軟弱
重複 切られる		住居内施設	主柱穴 なし 貯蔵穴 なし 入口 不明
規模・形状 プラン	隅丸方形	炉	形状 石芯粘土 ・規模cm 190×130
規模 規模m	4.6×4.8	竈	特記事項
主軸	N60° W		
壁高cm	18		
形状 状態	やや緩やか		
出土遺物 (第59・92図) 環・須恵器環・鉢・高環・須恵器高環・甕・須恵器蓋 横刃型石器			
特記事項			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

## ④SB12 (第20図)

検出位置	B J-27	覆土	なし
重複 切る	SB10・13	床面	明瞭で堅固
重複 切られる	SB11	住居内施設	主柱穴 不明 貯蔵穴 不明 入口 不明
規模・形状 プラン	不明	炉	形状 (粘土)
規模 規模m	不明	竈	・規模cm 不明
主軸	不明		
壁高cm	0		
形状 状態	不明		
出土遺物			
特記事項 重複 SB16			
時期	古墳後期	根拠	住居址形態

## ⑤SB13 (第21図)

検出位置	BR-27	覆土	
重複	切れる	床面	明瞭で堅固
重複	切られる	住居内施設	主柱穴
規模	プラン (隅丸方形)		貯蔵穴
規模	規模 m 3.6 × -	入口	P1か
主軸	不明	炉形状	不明
壁高	cm 23	規模	cm 不明
形状	状態 緩やか	礎	特記事項
出土遺物 (第59図) 環・壺・須恵器壺			
特記事項 重複 SB16			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

## ⑥SB17 (第21図)

検出位置	BR-29	覆土	
重複	切れる	床面	明瞭で堅固な貼床
重複	切られる	住居内施設	主柱穴
規模	プラン 隅丸方形		貯蔵穴
規模	規模 m 7.2 × (7.6)	入口	不明
主軸	不明	炉形状	不明
壁高	cm 26	規模	cm 不明
形状	状態 緩やか	礎	特記事項
出土遺物 (第59・60図) 須恵器壺・高坏・鉢・瓶			
特記事項 重複 SB38			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

## ⑦SB19 (第22図)

検出位置	BV-29	覆土	
重複	切れる	床面	不明瞭ではあるが軟弱な貼床
重複	切られる	住居内施設	主柱穴
規模	プラン 隅丸方形		貯蔵穴
規模	規模 m 5.5 × -	入口	不明
主軸	N38° W	炉形状	不明
壁高	cm 35	規模	cm 不明
形状	状態 ほぼ垂直	礎	特記事項
出土遺物 (第60図) 環・壺			
特記事項 重複 SB25・29			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物



⑧SB20 (第22図)

検出位置		BN-28	覆土		
重複	切る	SB10・21・24	床	面	不明瞭で軟弱
	切られる	SB14	住居内施設	主柱穴	なし
規模・形状	プラン	不整形		貯蔵穴	不明
	規模 m	5.5 × -		入口	不明
	主軸	不明		炉形状	不明
	壁高 cm	33		規模 cm	不明
	状態	やや緩やか		竈	特記事項
出土遺物 (第60・61図) 環・須恵器環・高環・甕 61-2~4 時期外					
特記事項 重複 SB22					
時期 古墳後期			根拠 出土遺物		

⑨SB21 (第23図)

検出位置		BN-27	覆土		
重複	切る		床	面	
	切られる	SB20・22	住居内施設	主柱穴	
規模・形状	プラン	隅丸方形		貯蔵穴	
	規模 m	不明		入口	
	主軸	不明		炉形状	不明
	壁高 cm	24		規模 cm	不明
	状態	ほぼ垂直		竈	特記事項
出土遺物 (第61図) 甕					
特記事項					
時期 古墳後期			根拠 出土遺物		

⑩SB25 (第22図)

検出位置		BU-28	覆土		
重複	切る	SB26	床	面	不明瞭で軟弱
	切られる		住居内施設	主柱穴	不明
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	不明
	規模 m	不明		入口	不明
	主軸	不明		炉形状	不明
	壁高 cm	31		規模 cm	不明
	状態	ほぼ垂直		竈	特記事項
出土遺物 (第61図) 高環					
特記事項 重複 SB19					
時期 古墳後期			根拠 出土遺物		

## ⑪ S B 28 (第23図)

検出位置	B R-36	覆土	なし
重複	切る SB37・43・45・46	床面	堅固な貼床
重複	切られる SB31	住居内施設	主柱穴 なし
プラン			貯蔵穴 なし
規模・形状	規模 m 不明	入口	不明
主軸	N72° W	炉	形状 石芯粘土竈
壁高 cm	0		規模 cm
形状	状態 不明	竈	特記事項 西御は当址とは関係ないと思われる
出土遺物 (第61・62・93図) 環・高環・甕・壺 挟入打製石廬丁・磨製石斧 61-19~21時期外			
特記事項 重複 SB30・39・103			
時期 古墳後期		根拠 出土遺物	

## ⑫ S B 30 (第23図)

検出位置	B Q-38	覆土	
重複	切る SB35・37・43・101	床面	堅固な貼床
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 なし
プラン	隅丸方形		貯蔵穴 なし
規模・形状	規模 m 4.6×5.0	入口	不明
主軸	N40° E	炉	形状 (粘土竈)
壁高 cm	32		規模 cm
形状	状態 やや緩やか	竈	特記事項
出土遺物 (第62・93図) 須恵器蓋環・高環・甕 磨製石廬丁・挟入打製石廬丁			
特記事項 重複 SB28・103			
時期 古墳後期		根拠 出土遺物	

## ⑬ S B 32 (第24図)

検出位置	B O-33	覆土	
重複	切る SB46・49	床面	堅固な貼床
重複	切られる SB34・44	住居内施設	主柱穴 不明
プラン	不明		貯蔵穴 不明
規模・形状	規模 m 不明	入口	不明
主軸	不明	炉	形状 不明
壁高 cm	28		規模 cm
形状	状態 緩やか	竈	特記事項
出土遺物 (第62・93図) 高環・甕 磁石?			
特記事項 重複 SB39			
時期 古墳後期		根拠 出土遺物	

⑭ S B 34 (第25図)

検出位置	B O-36	覆土	
重複切られる	SB32-35-46	床面	堅固な貼床
規模・形状	プラン (隅丸方形) 規模 m $\sim \times 5.9$ 主軸 N10° E 壁高 cm 35 状 態 ほぼ垂直	住居内施設	主柱穴 P1・P2 貯蔵穴 不明 入口 不明 炉形状 石芯粘土甕 規模 cm 180 × 125
出土遺物 (第62・63図)	鉢・高坏・甕		
特記事項			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

⑮ S B 36 (第24図)

検出位置	B T-38	覆土	
重複切られる	SB37-40	床面	堅固な貼床
規模・形状	プラン 隅丸方形 規模 m $3.5 \times 4.2$ 主軸 N53° W 壁高 cm 25 状 態 やや緩やか	住居内施設	主柱穴 なし 貯蔵穴 P2か 入口 不明 炉形状 石芯粘土甕 規模 cm 65 × 70
出土遺物 (第63・64図)	甕・須恵器		
特記事項			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

⑯ S B 38 (第26図)

検出位置	B Q-38	覆土	
重複切られる	SB18-49	床面	堅固な貼床 (スクリーントーン部)
規模・形状	プラン 隅丸方形 規模 m $5.0 \times 5.0$ 主軸 N37° E 壁高 cm 16 状 態 やや緩やか	住居内施設	主柱穴 なし 貯蔵穴 なし 入口 不明 炉形状 不明 規模 cm 78 × 58
出土遺物 (第64・93図)	有肩扇状形石器・横刃型石器		
特記事項	重複 SB17-39 カマド側を除く壁側に溝状の施設あり		
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

⑰ S B 48 (第26図)

検出位置	B O-42	覆土	
重複	切る SB42	床面	堅固な貼床
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 P1・P2
規模・形状	プラン (隅丸方形)	貯蔵穴	不明
規模	規模 m 5.4 × -	入口	不明
主軸	N61° W	炉形状	(粘土竈)
壁高 cm	36	規模 cm	122 × (165)
形状	状 壁 ほぼ垂直	竈	特記事項
出土遺物 (第64・93図) 環・高環 扶入打製石盾丁・環状石器・海浜石			
特記事項			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

⑱ S B 56 (第27図)

検出位置	B W-02	覆土	
重複	切る SB58・63	床面	堅固な貼床
重複	切られる SB51	住居内施設	主柱穴 不明
規模・形状	プラン (隅丸方形)	貯蔵穴	不明
規模	規模 m 不明	入口	不明
主軸	不明	炉形状	不明
壁高 cm	14	規模 cm	不明
形状	状 壁 やや緩やか	竈	特記事項
出土遺物 (第64図) 環・高環・甕・瓶			
特記事項 重複 SB59			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

⑲ S B 57 (第27図)

検出位置	B W-45	覆土	
重複	切る SB53	床面	堅固な貼床
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 不明
規模・形状	プラン (隅丸方形)	貯蔵穴	不明
規模	規模 m 5.3 × -	入口	不明
主軸	不明	炉形状	粘土竈
壁高 cm	21	規模 cm	不明
形状	状 壁 やや緩やか	竈	特記事項
出土遺物 (第64図) 甕			
特記事項			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

㊸ S B 59 (第27図)

検出位置	BW-01	覆土	なし
重複 切る	SB55・63	床面	不明
重複 切られる		住居内施設	主柱穴 不明 貯蔵穴 不明 入口 不明 炉形状 不明 規模cm 不明
規模・形状 プラン	不明	電	特記事項
規模 主軸	不明		
壁高cm	0		
形状 状態	不明		
出土遺物 (第64図) 鏝			
特記事項 重複 SB56			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

㊸ S B 61 (第28図)

検出位置	BS-40	覆土	
重複 切る	SB42・76	床面	部分的に堅固な貼床
重複 切られる	SB41	住居内施設	主柱穴 不明 貯蔵穴 不明 入口 不明
規模・形状 プラン	(楕円方形)	炉	形状 石芯粘土 規模cm 82×-
規模 主軸	(6.2)×(4.6)	電	特記事項
壁高cm	N56° W		
形状 状態	26 ほぼ垂直		
出土遺物 (第64・93図) 環・高環・鏝 環状石器			
特記事項			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

㊸ S B 68 (第29図)

検出位置	BR-43	覆土	
重複 切る	SD03	床面	堅固な貼床
重複 切られる		住居内施設	主柱穴 P1~P4 貯蔵穴 なし 入口 不明
規模・形状 プラン	不明	炉	形状 不明 規模cm 不明
規模 主軸	不明	電	特記事項
壁高cm	N66° W		
形状 状態	0 不明		
出土遺物 (第65・66・83・93図) 環・鏝・紡錘車 磨石			
特記事項 重複 SB60			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

㊦SB75 (第30図)

検出位置	BM-47	覆土	
重複	切れる SB72・82・83・93・95	床面	面堅固な貼床
重複	切られる SB65・79・80・81・85	住居内施設	主柱穴 P1~P3・P8
規模	プラン 隅丸方形		貯蔵穴 なし
規模・形状	規模 m	入口	なし
	主軸	炉形状	石芯粘土竈
	壁高 cm	規模 cm	155 × 100
	状態	竈	特記事項
出土遺物 (第65・94図) 須恵器蓋・坏・甕・瓶・壺 打製石斧			
特記事項 重複 SB70・78			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

㊦SB77 (第31図)

検出位置	BO-45	覆土	
重複	切れる SB69・83	床面	部分的に堅固な貼床
重複	切られる SB78	住居内施設	主柱穴 なし
規模	プラン 隅丸方形		貯蔵穴 なし
規模・形状	規模 m	入口	不明
	主軸	炉形状	(粘土竈)
	壁高 cm	規模 cm	222 × 105
	状態	竈	特記事項
出土遺物 (第65・66・106 図) 甕・須恵器蓋 不明鉄製品			
特記事項 重複 SB70			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

㊦SB78 (第31図)

検出位置	BP-46	覆土	
重複	切れる SB69・83・95・96	床面	堅固な貼床
重複	切られる SB75・77	住居内施設	主柱穴 不明
規模	プラン (方形)		貯蔵穴 不明
規模・形状	規模 m	入口	不明
	主軸	炉形状	石芯粘土竈
	壁高 cm	規模 cm	— × 110
	状態	竈	特記事項
出土遺物 (第94図) 敲打器			
特記事項			
時期	古墳後期	根拠	住居址形態

㊦ S B 80 (第29図)

検出位置	B M-47	覆土	不明
重複	切る SB65・75-82	床面	不明
	切られる	住居内施設	主柱穴 不明
規模	プラン 不明		貯蔵穴 不明
規模・形状	規模 m 不明		入口 不明
	主軸 不明		炉形状 石芯粘土壘
	壁高 cm 0		規模 cm 78×68
	状態 不明		壘 特記事項
出土遺物 (第66図)			
壘			
特記事項			
重複 SB79			
壘のみ			
時期	古墳後期	根拠	掘住居址形態

㊦ S B 86 (第32図)

検出位置	B K-49	覆土	
重複	切る SB65	床面	堅固な貼床
	切られる	住居内施設	主柱穴 なし
規模	プラン (方形)		貯蔵穴 なし
規模・形状	規模 m 4.5 × -		入口 不明
	主軸 N30° E		炉形状 石芯粘土壘
	壁高 cm 14		規模 cm 125 × 125
	状態 やや緩やか		壘 特記事項
出土遺物 (第66・67・94図)			
坏・鉢・高坏・甕			
有肩扇状形石器			
67-2時期外			
特記事項			
重複 SB92			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

㊦ S B 90 (第32図)

検出位置	B H-46	覆土	不明
重複	切る SB100	床面	スクリーントーン部貼床
	切られる	住居内施設	主柱穴 不明
規模	プラン 不明		貯蔵穴 不明
規模・形状	規模 m 不明		入口 不明
	主軸 不明		炉形状 不明
	壁高 cm 0		規模 cm 不明
	状態 不明		壘 特記事項
出土遺物 (第67図)			
須恵器高坏・甕			
特記事項			
重複 SB91			
一部床を検出したのみ			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

㊸SB91 (第33図)

検出位置	B I-48	覆土	
重複	切る SB82	床面	堅固な貼床
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 P1~P4
規模	プラン 隅丸方形	貯蔵穴	不明
規模	規模 m 4.7×4.7	入口	不明
主軸	N67° W	炉形状	石芯粘土甕
壁高	24	規模	cm 100×125
形状	状態 ほぼ垂直	甕	特記事項
出土遺物 (第67・94図)			
高環・甕・須恵器壺 打製石斧・磨製石斧			
特記事項			
重複 SB90-99			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

㊸SB92 (第34図)

検出位置	B I-02	覆土	
重複	切る SB97	床面	堅固な貼床
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 不明
規模	プラン (隅丸方形)	貯蔵穴	不明
規模	規模 m ~×7.8	入口	不明
主軸	N62° W	炉形状	石芯粘土甕
壁高	50	規模	cm 176×132
形状	状態 ほぼ垂直	甕	特記事項
出土遺物 (第67・68・94図)			
環・甕 紡錘車・環状石器			
特記事項			
重複 SB86			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

㊸SB97 (第32図)

検出位置	B F-01	覆土	
重複	切る	床面	堅固な貼床
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 不明
規模	プラン 不明	貯蔵穴	不明
規模	規模 m 不明	入口	不明
主軸	不明	炉形状	不明
壁高	31	規模	cm 不明
形状	状態 ほぼ垂直	甕	特記事項
出土遺物 (第68図)			
甕			
特記事項			
重複 SB92			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物



㊸ S B 98 (第35図)

検出位置		B F-48	覆土	
重複	切る	SB99	床	面 堅固な貼床
	切られる	SB102	住居	主柱穴 P1・P2
規模・形状	プラン	(隅丸方形)	貯蔵穴	不明
	規模 m	不明	入口	不明
	主軸	N34° E	炉	形状 (粘土燻)
	壁高 cm	52	・	規模 cm 310×140
	状 態	やや緩やか	燻	特記事項
出土遺物 (第68・94・95・106 図) 坏・高坏・甕 挟入打製石葱丁・編物石・石製模造品				
特記事項 重複 SB100				
時期		古墳後期	根拠 出土遺物	

㊸ S B 99 (第35図)

検出位置		B H-47	覆土	
重複	切る		床	面 貼床あり
	切られる	SB91・98・100	住居	主柱穴 不明
規模・形状	プラン	不明	貯蔵穴	不明
	規模 m	不明	入口	不明
	主軸	不明	伊	形状 不明
	壁高 cm	20	・	規模 cm 不明
	状 態	やや緩やか	燻	特記事項
出土遺物 (第68・94 図) 坏・甕 磁石				
特記事項 重複 SB102				
時期		古墳後期	根拠 出土遺物	

㊸ S B 100 (第32図)

検出位置		B H-46	覆土	
重複	切る		床	面 貼床あり
	切られる	SB100	住居	主柱穴 不明
規模・形状	プラン	不明	貯蔵穴	不明
	規模 m	不明	入口	不明
	主軸	不明	炉	形状 不明
	壁高 cm	15	・	規模 cm 不明
	状 態	やや緩やか	燻	特記事項
出土遺物 (第95 図) 打製石斧				
特記事項 重複 SB90・98・99・102				
時期		古墳後期	根拠 住居址形態	

㊦SB102(第35図)

検出位置	B G-46	覆土	
重複	切る SB98	床面	堅固な貼床
	切られる	住居内施設	主柱穴 不明 貯蔵穴 不明 入口 不明
規模	プラン 不明	炉・竈	形状 石芯粘土竈 規模 cm 不明
規模	規模 m 不明		
規模・形状	主軸 不明	竈	特記事項
	壁高 cm 26		
形状	壁 ほぼ垂直		
出土遺物 (第68・95図) 環・甕 打製石斧			
特記事項 重複 SB99・100			
時期	古墳後期	根拠	出土遺物

(4)奈良・平安時代

①SB07 (第36図)

検出位置	B O-20	覆土	なし
重複	切る SB01	床面	スクリーントーン部堅固な貼床
	切られる	住居内施設	主柱穴 不明 貯蔵穴 不明 入口 不明
規模	プラン 不明	炉・竈	形状 不明 規模 cm 不明
規模	規模 m 不明		
規模・形状	主軸 不明	竈	特記事項
	壁高 cm 0		
形状	壁 不明		
出土遺物 (第69図) 須恵器環・甕			
特記事項 重複 SB09			
時期	平安 (8 C 後～9 C 初)	根拠	出土遺物

②SB14 (第36図)

検出位置	B N-29	覆土	なし
重複	切る SB20・27	床面	不明瞭であるが部分的に貼床あり
	切られる	住居内施設	主柱穴 なし 貯蔵穴 なし 入口 不明
規模	プラン 不明	炉・竈	形状 石芯粘土竈 規模 cm 55×70
規模	規模 m 不明		
規模・形状	主軸 N19° E	竈	特記事項
	壁高 cm 0		
形状	壁 不明		
出土遺物 (第69・95・106 図) 環・須恵器環・甕 敲打器・鎌			
特記事項			
時期	平安時代 (9 C 後)	根拠	出土遺物

③ S B 31 (第37図)

検出位置	B S-34	覆土	なし
重複	切れる SB28・38・45・46・47	床面	不明瞭
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 なし
規模	プラン 不明		貯蔵穴 なし
規模	規模 m 不明		入口 不明
主軸	N55° W	炉	形状 石芯粘土層
壁高	0	・	規模 cm 105 × 150
形状	状態 不明	・	特記事項
出土遺物 (第69図) 陶・皿・灰軸陶器皿・甕			
特記事項 重複 SB27・39			
時期	平安時代 (9 C 後)	根拠	出土遺物

④ S B 33 (第37図)

検出位置	B U-36	覆土	なし
重複	切れる SB40	床面	スクリーントーン部堅固な貼床
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 不明
規模	プラン 不明		貯蔵穴 不明
規模	規模 m 不明		入口 不明
主軸	不明	炉	形状 石芯粘土層
壁高	0	・	規模 cm (60) × 126
形状	状態 不明	・	特記事項
出土遺物 (第69図) 灰軸陶器皿・甕			
特記事項			
時期	平安時代 (9 C 後)	根拠	出土遺物

⑤ S B 44 (第38図)

検出位置	B N-33	覆土	なし
重複	切れる SB32	床面	
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 不明
規模	プラン 不明		貯蔵穴 不明
規模	規模 m 不明		入口 不明
主軸	不明	炉	形状 石芯粘土層
壁高	0	・	規模 cm 不明
形状	状態 不明	・	特記事項
出土遺物 (第69図) 坏・甕			
特記事項 甕のみ			
時期	平安時代 (9 C 初)	根拠	出土遺物

## ⑥SB51 (第38図)

検出位置	BW-03	覆土	
重複	切る SB53・56	床面	堅固な貼床
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 P1・P2
規模・形状	プラン (隅丸方形)	貯蔵穴	不明
規模	m 不明	入口	不明
主軸	N44° W	炉形状	石芯粘土甕
壁高	cm 35	規模	cm 不明
形状	状態 ほぼ垂直	特記事項	
出土遺物 (第69図) 須恵器蓋・甕			
特記事項 重複 SB52・58			
時期	奈良時代 (8C中)	根拠	出土遺物

## ⑦SB60 (第38図)

検出位置	BT-44	覆土	
重複	切る	床面	明瞭で堅固な貼床
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 なし
規模・形状	プラン 不明	貯蔵穴	なし
規模	m 不明	入口	不明
主軸	不明	炉形状	不明
壁高	cm 0	規模	cm 不明
形状	状態 不明	特記事項	中央部に焼土あり
出土遺物 (第69・70図) 環・甕			
特記事項 重複 SB62・68			
時期	平安時代 (9C中)	根拠	出土遺物

## ⑧SB62 (第38図)

検出位置	BT-45	覆土	
重複	切る	床面	明瞭な貼床
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 不明
規模・形状	プラン 不明	貯蔵穴	不明
規模	m 不明	入口	不明
主軸	不明	炉形状	不明
壁高	cm 0	規模	cm 不明
形状	状態 不明	特記事項	
出土遺物 (第70図) 甕			
特記事項 重複 SB60			
時期	平安時代	根拠	出土遺物

⑨ S B 65 (第36図)

検出位置	B L-00	覆土		
重複	切れる SB75・82・86	床面	堅固な貼床	
	切られる SB80	住居内施設	主柱穴	なし
規模・形状	プラン (隅丸方形)		貯蔵穴	不明
	規模 m 3.8 × -		入口	不明
	主軸 N24° E		炉形状	石芯粘土竈
	壁高 cm 13		規模 cm	52 × (120)
出土遺物 (第70図)	須恵器環・須恵器甕	特記事項		
特記事項				
時期	奈良時代 (8 C 中)	根拠	出土遺物	

⑩ S B 66 (第39図)

検出位置	B L-48	覆土		
重複	切れる	床面	明瞭な貼床	
	切られる	住居内施設	主柱穴	なし
規模・形状	プラン 隅丸方形		貯蔵穴	なし
	規模 m 3.3 × 4.1		入口	P1か
	主軸 N108° E		炉形状	石芯粘土竈
	壁高 cm 30		規模 cm	70 × 120
出土遺物 (第70図)	環・須恵器環・甕	特記事項		
特記事項	重複 SB67・71			
時期	平安時代 (9 C 後)	根拠	出土遺物	

⑪ S B 67 (第39図)

検出位置	B U-47	覆土		
重複	切れる	床面	スクリーン・トーン部堅固な貼床	
	切られる	住居内施設	主柱穴	なし
規模・形状	プラン 不明		貯蔵穴	不明
	規模 m 不明		入口	不明
	主軸 不明		炉形状	不明
	壁高 cm 17		規模 cm	不明
出土遺物 (第70図)	須恵器環・甕	特記事項	中央部やや北西部に鏡土あり	
特記事項	重複 SB66			
時期	平安時代 (9 C 後)	根拠	出土遺物	

⑫SB73 (第40図)

検出位置		BR-03	覆土	
重複	切る	SB74	床面	スクリーントーン部堅固な貼床
	切られる		主柱穴	なし
規模・形状	プラン	不明	貯蔵穴	不明
	規模 m	不明	入口	不明
	主軸	不明	炉形状	不明
	壁高 cm	0	規模 cm	不明
	状態	不明	特記事項	北側壁そばに焼土あり
出土遺物 (第70・71図) 皿・甕				
特記事項 重複 SB88				
時期		平安時代 (9C後)	根拠 出土遺物	

⑬SB74 (第40図)

検出位置		BR-02	覆土	
重複	切る		床面	堅固な貼床
	切られる	SB73・88	主柱穴	なし
規模・形状	プラン	方形	貯蔵穴	なし
	規模 m	5.0 × -	入口	不明
	主軸	N20° W	炉形状	石芯粘土甕
	壁高 cm	22	規模 cm	74 × 72
	状態	やや緩やか	特記事項	
出土遺物 (第71図) 坏・須恵器坏・甕				
特記事項 墨書「東」のある坏が出土				
時期		平安時代 (9C後)	根拠 出土遺物	

⑭SB79 (第29図)

検出位置		BL-47	覆土	
重複	切る	SB75・82	床面	スクリーントーン部貼床
	切られる		主柱穴	不明
規模・形状	プラン	不明	貯蔵穴	不明
	規模 m	不明	入口	不明
	主軸	不明	炉形状	不明
	壁高 cm	0	規模 cm	不明
	状態	不明	特記事項	焼土あり
出土遺物 (第71図) 坏・須恵器坏・灰軸陶器段皿・甕				
特記事項 重複 SB80・81・85				
時期		平安時代 (9C後)	根拠 出土遺物	

⑮ S B 81 (第29図)

検出位置		BK-46	覆土	
重複	切る	SB72・75・82	床面	不明瞭
	切られる		主柱穴	不明
規模・形状	プラン	不明	貯蔵穴	不明
	規模 m	不明	入口	不明
	主軸	不明	炉形状	不明
	壁高 cm	10	規模 cm	不明
状況	やや緩やか		竈	特記事項
出土遺物 (第71図)				
環・甕				
特記事項				
重複 SB79・85				
時期	平安時代 (9C後)		根拠	出土遺物

⑯ S B 85 (第40図)

検出位置		BL-46	覆土	
重複	切る	SB72・75・81・83	床面	部分的に堅固な貼床
	切られる		主柱穴	なし
規模・形状	プラン	隅丸方形	貯蔵穴	なし
	規模 m	2.8 × 2.6	入口	不明
	主軸	N119° E	炉形状	石芯粘土竈
	壁高 cm	39	規模 cm	100 × 95
状況	ほぼ垂直		竈	特記事項
出土遺物 (第71・106 図)				
環・須恵器環・甕				
管玉				
特記事項				
重複 SB79				
時期	平安時代 (9C後)		根拠	出土遺物

⑰ S B 87 (第41図)

検出位置		BO-02	覆土	
重複	切る	SB94	床面	部分的に堅固な貼床
	切られる		主柱穴	なし
規模・形状	プラン	(隅丸方形)	貯蔵穴	なし
	規模 m	(3.9) × 4.3	入口	不明
	主軸	N51° E	炉形状	粘土竈
	壁高 cm	21	規模 cm	122 × 135
状況	やや緩やか		竈	特記事項
出土遺物 (第71・72・95・106 図)				
須恵器環・甕・須恵器竈				
麻打器・編物石・不明鉄製品				
特記事項				
重複 SB89・94				
時期	平安時代 (8C中)		根拠	出土遺物

⑬ S B 88 (第41図)

検出位置	BQ-02	覆土	
重複	切れる	床面	スクリーントーン部貼床
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 不明
規模・形状	プラン 不明	住居内施設	貯蔵穴 不明
規模	規模 m 不明	住居内施設	入口 不明
主軸	不明	住居内施設	炉形状 不明
壁高	11	住居内施設	規模 cm 不明
形状	状態 やや緩やか	住居内施設	特記事項
出土遺物 (第72図) 須恵器環・甕			
特記事項 重複 SB73			
時期	奈良時代(8C中)	根拠	出土遺物

⑭ S B 89 (第41図)

検出位置	BO-03	覆土	
重複	切れる	床面	明瞭な貼床
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 不明
規模・形状	プラン (方形)	住居内施設	貯蔵穴 不明
規模	規模 m 2.8 × -	住居内施設	入口 不明
主軸	不明	住居内施設	炉形状 不明
壁高	22	住居内施設	規模 cm 不明
形状	状態 ほぼ垂直	住居内施設	特記事項
出土遺物 (第72図) 須恵器環・甕			
特記事項 重複 SB87			
時期	奈良～平安時代(8C中～9C初)	根拠	

(6) 不明

① S B 08 (第36図)

検出位置	BN-22	覆土	なし
重複	切れる	床面	スクリーントーン部貼床
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 不明
規模・形状	プラン 不明	住居内施設	貯蔵穴 不明
規模	規模 m 不明	住居内施設	入口 不明
主軸	不明	住居内施設	炉形状 不明
壁高	0	住居内施設	規模 cm 不明
形状	状態 不明	住居内施設	特記事項
出土遺物			
特記事項 重複 SB02・09			
時期	古墳後期以前か	根拠	重複関係



②SB09 (第36図)

検出位置		BN-20	覆土	なし
重複	切る		床面	堅固な貼床
	切られる	SB01	住居内施設	主柱穴 不明
規模・形状	プラン	不明	貯蔵穴	不明
	規模 m	不明	入口	不明
	主軸	不明	炉形状	不明
	壁高 cm	0	規模 cm	不明
	状 態	不明	礎	特記事項
出土遺物				
特記事項 重複 SB07・08				
時期 古墳後期以前か			根拠 重複関係	

③SB11 (第42図)

検出位置		BJ-29	覆土	
重複	切る	SB10・12・13	床面	不明瞭で軟弱
	切られる		住居内施設	主柱穴 不明
規模・形状	プラン	不明	貯蔵穴	不明
	規模 m	不明	入口	不明
	主軸	N62° W	伊形	粘土甕
	壁高 cm	0	礎	規模 cm 74×86
	状 態	不明	礎	特記事項
出土遺物 (第77・102 図)				
甕 磨製石庵丁・石鏃				
特記事項 重複 SB16				
時期 古墳後期以降か			根拠 重複関係	

④SB16 (第42図)

検出位置		BI-27	覆土	
重複	切る		床面	不明瞭で軟弱
	切られる		住居内施設	主柱穴 P1か
規模・形状	プラン	不明	貯蔵穴	不明
	規模 m	不明	入口	不明
	主軸	不明	炉形状	不明
	壁高 cm	13	礎	規模 cm 不明
	状 態	やや緩やか	礎	特記事項
出土遺物				
特記事項 重複 SB11・12・13				
時期 不明			根拠 重複関係	

⑤S B 22 (第23図)

検出位置		BN-27	覆土		
重複	切れる	SB21	床面	不明瞭	
	切られる		住居内施設	主柱穴	不明
規模・形状	プラン			貯蔵穴	不明
	規模 m	不明	入口	不明	
	主軸	不明	炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	0		規模 cm	不明
形状	壁	不明	竈	特記事項	
出土遺物					
特記事項 重複 SB20					
時期 古墳後期以降か			根拠 重複関係		

⑥S B 27 (第42図)

検出位置		BT-33	覆土		
重複	切れる		床面	スクリーントーン部堅固な貼床	
	切られる		住居内施設	主柱穴	なし
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	なし
	規模 m	不明	入口	不明	
	主軸	不明	炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	0		規模 cm	不明
形状	壁	不明	竈	特記事項	
出土遺物 (第77・102 図) 鉢・高坏 打製石斧					
特記事項 重複 SB29・31・45・47					
時期 古墳後期以前か			根拠 重複関係		

⑦S B 29 (第42図)

検出位置		BU-31	覆土		
重複	切れる		床面	貼床あり	
	切られる		住居内施設	主柱穴	不明
規模・形状	プラン	不明		貯蔵穴	不明
	規模 m	不明	入口	不明	
	主軸	不明	炉・竈	形状	不明
	壁高 cm	0		規模 cm	不明
形状	壁	不明	竈	特記事項	
出土遺物					
特記事項 重複 SB19・27・47					
時期 古墳後期以前か			根拠 重複関係		

⑧ S B 39 (第43図)

検出位置		BS-33	覆土	
重複	切る		床面	不明瞭
	切られる		主柱穴	不明
規模・形状	プラン	不明	貯蔵穴	不明
	規模 m	不明	入口	不明
	主軸	不明	炉形状	不明
	壁高 cm	0	規模 cm	168 × 88
	状態	不明	壙	特記事項
出土遺物 (第102図)				
石鏡				
特記事項				
重複 SB28・31・32・38・46・49				
時期	古墳後期以降か		根拠	重複関係

⑨ S B 41 (第43図)

検出位置		BT-40	覆土	
重複	切る		床面	不明瞭
	切られる		主柱穴	不明
規模・形状	プラン	不明	貯蔵穴	不明
	規模 m	不明	入口	不明
	主軸	不明	炉形状	石芯粘土壙
	壁高 cm	26	規模 cm	104 × 84
	状態	やや緩やか	壙	特記事項
出土遺物 (第77・102図)				
坏・甕				
打製石斧・粗製石器・挟入打製石瓶丁・石鏃				
特記事項				
重複 SB61・76				
時期	不明		根拠	

⑩ S B 52 (第43図)

検出位置		BU-04	覆土	
重複	切る		床面	不明瞭
	切られる		主柱穴	P1
規模・形状	プラン	不明	貯蔵穴	不明
	規模 m	不明	入口	不明
	主軸	N57° W	炉形状	粘土壙
	壁高 cm	32	規模 cm	不明
	状態	ほぼ垂直	壙	特記事項
出土遺物 (第102図)				
坏・高坏				
打製石斧・横刃型石器・磨製石斧				
特記事項				
重複 SB51・58				
時期	奈良時代以前か		根拠	重複関係

⑪ S B 54 (第44図)

検出位置	B U-48	覆土	
重複	切る	床面	明瞭
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 不明
規模・形状	プラン 不明		貯蔵穴 不明
	規模 m 不明		入口 不明
	主軸 不明		炉形状 不明
	壁高 cm 0		規模 cm 不明
	状態 不明		特記事項
出土遺物			
特記事項			
重複 SB50			
時期	弥生後期以前か	根拠	重複関係

⑫ S B 58 (第38図)

検出位置	B V-03	覆土	
重複	切る SB51・53・63	床面	明瞭な貼床
重複	切られる SB59	住居内施設	主柱穴 不明
規模・形状	プラン 不明		貯蔵穴 不明
	規模 m 不明		入口 不明
	主軸 不明		炉形状 不明
	壁高 cm 0		規模 cm 不明
	状態 不明		特記事項
出土遺物			
特記事項			
時期	奈良時代以前か	根拠	重複関係

⑬ S B 64 (第44図)

検出位置	B S-00	覆土	
重複	切る	床面	明瞭
重複	切られる	住居内施設	主柱穴 不明
規模・形状	プラン 不明		貯蔵穴 不明
	規模 m 不明		入口 不明
	主軸 不明		炉形状 不明
	壁高 cm 0		規模 cm 不明
	状態 不明		特記事項
出土遺物			
特記事項			
重複 SB71・84			
時期	不明	根拠	

⑭ S B 70 (第15図)

検出位置	B N-45		覆土	
重切る			床面	堅固な貼床
重切られる			主柱穴	P1・P2か
規プラン	不明	住居内施設	貯蔵穴	不明
規模m	不明		入口	不明
主軸	不明		炉形状	不明
壁高cm	9		規模cm	不明
形状	壁緩やか		礎	特記事項
出土遺物				
特記事項				
重複 SB72・75・77・83				
時期	弥生後期以前か		根拠	重複関係

⑮ S B 71 (第44図)

検出位置	B S-49		覆土	
重切る			床面	明瞭
重切られる			主柱穴	不明
規プラン	不明	住居内施設	貯蔵穴	不明
規模m	不明		入口	不明
主軸	不明		炉形状	不明
壁高cm	0		規模cm	不明
形状	壁不明		礎	特記事項
出土遺物				
特記事項				
重複 SB64・66・84				
時期	平安時代以前		根拠	重複関係

⑯ S B 94 (第41図)

検出位置	B P-00		覆土	
重切る			床面	明瞭な貼床
重切られる			主柱穴	なし
規プラン	不明	住居内施設	貯蔵穴	なし
規模m	不明		入口	不明
主軸	不明		炉形状	不明
壁高cm	9		規模cm	不明
形状	壁やや緩やか		礎	特記事項
出土遺物				
特記事項				
重複 SB87・93				
時期	奈良時代以前か		根拠	重複関係

⑰ S B 103(第44図)

検出位置	B R-37		覆土	なし
重複	切られる		床面	スクリーン・トーン部貼床
規模・形状	プラン	不明	住居内施設	主柱穴 貯蔵穴 入口 伊形 規模cm 礎
	規模m	不明		不明
	主軸	不明		不明
	壁高cm	0		不明
	形状	不明		特記事項
出土遺物				
特記事項				
重複 SB28・30・37・43				
時期	古墳時代以前か		根拠	重複関係

3. 掘立柱建物址 (S T)

No	図No	検出位置	重複	規模 (桁行×梁行) 桁行方向	柱間m 上断下業	覆土	時代・時期	出土遺物	備考
01	45	B N-44	SB70	3.0 × 不明	1.4 ~ 1.6		弥生時代 後期か	弥生土 ・壘	出土遺物より時期決定

4. 溝址 (S D)

No	図No	検出位置	重複	規模 (長×大幅×大深) (小幅×小深)	主軸	覆土	時代・時期	出土遺物	備考
02	45	B Y-45		(2.0)×0.8×0.2 0.7×0.2	N15°E				
03	45	B Q-43	SB68・42	(7.6)×2.0×0.2 0.4×0.2	N32°E N66°E				

5. 集石 (S I)

No	図No	検出位置	規模(長軸×短軸)	形態	時代・時期	出土遺物	備考
01	45	B M-01	304 × 140 × 36	不定形		深鉢 磨斧 磨斧未成品	

6. 土坑 (S K)

No	図No	検出位置	規模(長×短×深)cm	形態	覆土	重複	時代・時期	出土遺物	備考
01	46	B K-22	118×104×89	楕円形			古墳・混	ミニチュア土器 打斧	
02	46	B I-26	64×59×38	円形			縄文?	打斧	
03	46	B I-26	70×66×26	楕円形			縄文中期後	深鉢片	
04	46	B L-26	102×84×66	不整形			縄文中期後・混	深鉢片 横刃	

No	図No	検出位置	規模(長×短×深)cm	形態	覆土重箱	時代・時期	出土遺物	備考
05	46	B M-25	68 × 66 × 35	楕円形			打斧	
06	46	B N-25	142 × 100 × 41	楕円形			横刃	
07	46	B M-24	71 × 68 × 49	円形		縄文中期・混	深鉢片	
08		欠番						
09	46	B O-31	64 × 56 × 40	円形		縄文中期	横刃	
10	46	B O-31	50 × 48 × 28	円形		縄文中期後	深鉢片	
11	46	B N-31	80 × 70 × 20	楕円形		縄文中期		
12	46	B O-30	84 × 70 × 72	楕円形		縄文中期?・混	打斧	
13	46	B O-30	53 × 48 × 32	楕円形		縄文中期?・混		
14	46	B O-30	36 × 36 × 30	円形		弥生後期?		
15	46	B O-30	108 × 75 × 40	橢圓形		混	深鉢片 打斧	
16	46	B O-29	62 × 47 × 22	楕円形		混	深鉢片 打斧	
17	46	B O-29	66 × 62 × 28	円形		混		
18	47	B R-29	66 × 52 × 12	楕円形		混		
19	47	B R-30	59 × 54 × 27	円形		混		
20	47	B S-29	(57) × 70 × 32	楕円形			打斧	
21	47	B S-29	43 × 41 × 43	円形		混		
22		欠番						
23	47	B N-24	82 × 75 × 50	円形		混		
24	47	B N-24	48 × 45 × 45	円形		混	深鉢片	
25	47	B P-27	70 × 56 × 41	楕円形				
26	47	B P-30	84 × 82 × 37	円形		混	深鉢片 打斧	
27	47	B T-31	85 × 78 × 49	円形		縄文中期初頭	深鉢	
28	47	B O-31	83 × 70 × 41	楕円形		弥生	打斧 敲打器	
29	47	B P-37	70 × 64 × 35	楕円形		弥生後期		
30	47	B P-37	58 × 55 × 27	円形		弥生後期		
31	47	B T-39	43 × 40 × 44	円形		弥生後期		
32	47	B S-39	50 × 48 × 30	円形		弥生後期		
33	47	B S-39	(62) × 60 × 40	楕円形			打斧	
34	47	B O-32	152 × (84) × 41	不整形				
35	48	B T-36	(96) × 103 × 40	楕円形		混	深鉢 打斧	
36	48	B Q-36	282 × 123 × 68	楕円形		混	深鉢片 打斧 横刃	
37	48	B R-35	72 × 55 × 20	楕円形		弥生~古墳	深鉢片 打斧	
38	48	B R-34	75 × 60 × 30	楕円形		混		
39	48	B R-34	65 × 62 × 36	円形		混		
40	48	B T-37	75 × 62 × 50	楕円形		縄文中期後	深鉢片	
41	48	B T-36	75 × 64 × 46	楕円形		縄文中期後		
42	48	B U-35	57 × 53 × 38	楕円形		縄文中期後	打斧	
43	48	B T-31	60 × 55 × 24	楕円形		古墳後期	須惠器壺 甕	
44	48	B S-36	75 × 64 × 47	楕円形		縄文中期後		
45	48	B R-36	57 × 53 × 38	円形		縄文中期後		
46	48	B R-37	60 × 55 × 24	円形		縄文中期後	深鉢 打斧	
47	48	B P-33	138 × 98 × 66	不整形		混	打斧 横刃	
48	48	B S-39	78 × 52 × 79	楕円形		縄文中期後	深鉢	
49	48	B R-39	38 × 38 × 36	円形		古墳		
50	48	B Y-45	(120) × (50) × 40	(長方形)		縄文・古墳		
51	49	B Q-49	65 × 58 × 65	楕円形			打斧	
52	49	B W-46	150 × (105) × 64	楕円形		縄文中期後	深鉢片	
53	49	B W-49	220 × 160 × 147	楕円形		縄文中期後	深鉢片 打斧 石鐮	
54	49	B S-47	324 × 260 × 99	不整形		縄文中期後	深鉢	
55	49	B O-01	74 × 56 × 55	楕円形				
56	49	B Q-48	(88) × 78 × 46	楕円形				

No. 図No.	検出位置	規模(長×短×深)cm	形態	覆土重複	時代・時期	出土遺物	備考
57	49 B I-46	(150)×(80)×32	不整形		混	深鉢片 スクレイパー	
58	50 B P-49	158×115×61	楕円形				
59	50 B M-01	74×(44)×24	楕円形				
60	50 B M-02	120×90×68	不整形		混	深鉢片	
61	50 B M-02	(78)×80×49	不整形		混		
62	50 B G-01	40×37×48	円形		古墳		
63	50 B F-49	73×60×32	楕円形		古墳後期	打斧	
64	50 B G-49	36×35×45	円形		縄文中期中葉	磨石	
65	50 B G-01	45×42×53	円形				
66	50 B Q-47	117×100×40	楕円形				
67	50 B Q-47	110×90×48	楕円形				
68	50 B G-01	45×37×49	楕円形		古墳後期		
69	50 B G-01	73×70×55	円形				
70		欠番					
71	50 B E-01	74×38×26	楕円形		古墳後期	甕	
72	50 B E-01	(55)×42×16	楕円形		縄文・古墳		
73	50 B F-00	120×104×39	楕円形		古墳後期		
74	50 B F-00	48×44×64	円形		古墳後期		
75	51 B F-00	66×55×66	楕円形		縄文・弥生		
76	51 B G-00	85×(72)×48	不整形		?	深鉢片	
77	51 B G-00	(84)×93×38	不整形		縄文・古墳		
78	51 B G-00	(75)×62×49	不整形		縄文中期後半		
79	51 B F-00	81×76×67	楕円形		古墳後期		
80	51 B H-49	223×115×57	不整形		縄文・平安	深鉢片 須恵器環	
81	51 B G-49	94×86×32	円形				

## 7. ビット

各遺構についての説明は省略する。

## 8. 土層観察表

遺構名	層	JIS標準色票	土 壌 色	土 性	しまり	粘性	備 考
SB-26 埋壘	1	10Y R5/6	黄褐色土	S C L	○	×	4層が1%混じる
	2	10Y R5/4	鈍い黄褐色土	S C L	○	×	
	3	10Y R5/6	黄褐色土	S C L	○	×	4層が2%混じる
	4	10Y R4/4	褐色土	S C L	○	×	
SB-40 埋壘	1	10Y R3/3	暗褐色土	S i C	△	×	
	2	10Y R4/3	鈍い黄褐色土	L S	△	×	
SB-43 埋壘	1	10Y R4/3	鈍い黄褐色土	S i C L	△	×	
	2	10Y R3/3	暗褐色土	L S	△	×	
	3	10Y R4/3	鈍い黄褐色土	L S	△	×	
SB-47 埋壘	1	10Y R3/3	暗褐色土	S i C	△	×	
	2	10Y R4/3	鈍い黄褐色土	L S	○	×	
SB-49 埋壘	1	10Y R3/3	暗褐色土	S i C	△	×	
	2	10Y R4/4	褐色土	L S	△	×	
SB-101 埋壘	1	10Y R3/2	黒褐色土	S i C	△	×	
	2	10Y R3/2	黒褐色土	S i C	△	×	2.5Y5/4(黄褐色土) Sが20%混じる
SB-18 埋壘	1	10Y R3/1	黒褐色土	S i C L	○	△	
	2	5 Y R4/4	鈍い赤褐色土	S	△	×	砂土



造構名	層	JIS標準色票	土 壌 色	土 性	し び り 粘 性	備 考
SB-35	炉	1 7.5 YR3/2	黒褐色土	SiCL	○ ×	
SB-37	炉	1 7.5 YR3/2	黒褐色土	SiCL	○ ×	
		2 10Y R3/2	黒褐色土	SiCL	○ ×	
SB-45	炉 1・2	1 10Y R2/1	黒褐色土	S i C	× ×	
		2 7.5 YR4/2	灰褐色土	L S	× ×	
SB-45	炉 3・4	1 10Y R3/1	黒褐色土	S i C	× ×	焼土40% 混じる
		2 10Y R3/1	黒褐色土	S i C	× ×	
		3 2.5 Y7/6	明黄褐色土	S	× ×	2層が10% 混じる
SB-46	炉	1 10Y R3/2	黒褐色土	S i C	× ×	
		2 2.5 Y3/3	暗オリーブ褐色土	L S	△ ×	
SB-50	炉	1 10Y R4/2	灰黄褐色土	L S	○ ×	10YR2/1 (黒色土) が30% 混じる
SB-82	炉	1 10Y R3/1	黒褐色土	S i C	△ ×	
		2 5Y R3/4	暗赤褐色土	L S	○ ×	
SB-84	炉	1 7.5 YR2/1	黒色土	L S	× ×	炭化物微量に含む
		2 5Y R5/6	明赤褐色土(火床)	L S	△ △	
		3 7.5 YR2/2	黒褐色土	SiCL	△ ×	
		4 7.5 YR4/6	褐色土	S L	○ ×	
		5 10Y R4/3	鈍い黄褐色土	L S	△ ×	
SB-95	炉	1 10Y R2/3	黒褐色土	L S	△ ×	焼土が50% 混じる 貼り床
		2 10Y R6/4	鈍い黄褐色土	L S	△ ×	
		3 10Y R3/3	暗褐色土	L S	○ ×	
SB-01	窠	1 2.5 Y6/4	鈍い黄色土	H C	○ △	電機築材の粘土
		2 10Y R3/1	黒褐色土	SiCL	○ △	焼土粒、炭化物が5% 混じる
		3 10Y R3/1	黒褐色土	SiCL	○ △	焼土粒、炭化物が20% 混じる
SB-05	窠	1 10Y R3/2	黒褐色土	S i C	○ ○	焼土が5% 混じる
		2	焼土			
		3 10Y R3/2	黒褐色土	S i C	○ ○	
		4 10Y R3/1	黒褐色土	SiCL	○ △	
SB-12	窠	1	焼土			鉄分沈殿 10YR3/1 が20% 混じる 掘り方、貼り床下の土
		2 10Y R4/1	灰褐色土	S i C	○ △	
		3 10Y R5/4	鈍い黄褐色土	SiCL	△ ×	
		4 10Y R3/1	黒褐色土	S i C	○ △	
SB-20	窠	1 10Y R6/6	明黄褐色土	S i C	○ ○	◎ 電機築材の粘土、焼土が50% 混じる
		2 10Y R6/6	明黄褐色土	S i C	○ ○	◎ 焼土が30% 混じる
SB-30	窠	1 2.5 Y7/4	浅黄色土	L i C	△ ○	電機築材、焼土が20% 混じる
SB-34	窠	1 2.5 Y7/4	浅黄色土	S i C	○ △	10YR3/1 が50% 混じる
		2 10Y R3/1	黒褐色土	SiCL	○ ×	焼土粒が30%、1層が5% 混じる
		3	焼土			2層15% 混じる
		4 10Y R3/1	黒褐色土	SiCL	○ ×	
SB-38	窠?	1 10Y R3/1	黒褐色土	S i C	× △	焼土ブロック状に40% 混じる
SB-48	窠	1 10Y R1/6	明黄褐色土	H C	○ ○	10YR2/1(黒色土)が30% 混じり 焼土が10% 混じる
		2 10Y R2/1	黒色土	S C	○ ○	10YR4/4 (褐色土) が15% 混じる
		3 10Y R4/3	鈍い黄褐色土	L S	○ △	
		4	焼土			
SB-61	窠	1 10Y R6/6	明黄褐色土	S i C	○ △	10YR7/6(明黄褐色土) が15% 混じる 10YR7/6(明黄褐色土) が15% 混じる 焼土が40%、炭化物が10% 混じる
		2 10Y R3/2	黒褐色土	SiCL	△ ×	
		3 10Y R4/2	灰黄褐色土	SiCL	△ ×	
		4 10Y R4/2	灰黄褐色土	SiCL	△ ×	
SB-75	窠	1 10Y R3/3	暗褐色土	SiCL	○ ×	粘土ブロック状に混じる
		2	焼土混じり粘土			
		3 10Y R2/3	黒褐色土	SiCL	○ ×	

建構名	層	JIS標準色票	土 壌 色	土 性	し り	粘 性	備 考
SB-77 窠	1	10YR3/1	黒褐色土	S i C	○	△	
	2	10YR7/6	明黄褐色土	S i C	○	○	
	3		焼土(火床)				
SB-78 窠	1	10YR3/2	黒褐色土	S C	○	×	焼土10%混じる
SB-86 窠	1	10YR6/6	明黄褐色土	S i C	○	○	
	2	10YR4/2	灰黄褐色土	S C L	○	△	
	3		焼土(火床)				
SB-91 窠	1	10YR3/3	暗褐色土	S i C	△	○	10YR6/6(明黄褐色土、SiC)の窠構築材と焼土がそれぞれ15%混じる
	2		焼土				
SB-92 窠	1	10YR4/4	褐色土	SiC L	○	×	粘土、焼土が混じる
	2	10YR3/4	暗褐色土	SiC L	○	×	
	3	10YR5/6	黄褐色土	SiC L	○	×	焼土が混じる
	4	10YR3/4	暗褐色土	SiC L	○	×	焼土が混じる
	5	10YR3/2	黒褐色土	砂質	×	×	
SB-98 窠	1	10YR3/2	黒褐色土	S i C	○	△	10YR6/6(明黄褐色土)、焼土がそれぞれ20%混じる
	2		焼土				
	3	10YR5/4	鈍い黄褐色土	S C	○	○	焼土が50%混じる
SB-102 窠	1	10YR2/3	黒褐色土	S i C	○	△	10YR5/6(黄褐色土)の窠構築粘土が30%、焼土が5%混じる
	2	10YR2/3	黒褐色土	S i C	○	△	
SB-06 窠	1	10YR6/6 + 焼土	明黄褐色土	S C	○		窠構築材、10YR6/6は粘土
	2		焼土				
	3	10YR4/2	灰黄褐色土	S C L	○		焼土粒、粘土が粒子状に混じる
	4			鉄(フ)			
	5	10YR6/6	明黄褐色土	S C	○		焼土粒がわずかに混じる
	6	10YR6/6	明黄褐色土	S C	○		炭化物がわずかに混じる
SB-65 窠	1	10YR4/2	灰黄褐色土	S i C	○	×	
	2	10YR6/4	鈍い黄褐色土	S i C	○	△	
	3	10YR6/4	鈍い黄褐色土	S i C	○	△	1層が20%、焼土が30%混じる
	4		焼土				
SB-14 窠	1	10YR4/2	灰黄褐色土	S i C	○	×	炭化物が3%混じる
	2	10YR4/2	灰黄褐色土	S i C	○	×	焼土粒が40%混じる
	3		焼土				
	4	10YR3/1	黒褐色土	S i C	○	×	
SB-31 窠	1	2.5 Y7/4	浅黄色土	S C	○	○	窠構築材、焼土がマーブル状に30%混じる
	2	2.5 Y7/4	浅黄色土	S C	○	○	窠構築材
SB-33 窠	1	2.5 Y6/6	明黄褐色土	L i C	○	△	焼土が30%混じる
	2	10YR3/1	黒褐色土	SiC L	○	×	焼土が粒子状に1%混じる
	3	10YR3/1	黒褐色土	SiC L	○	×	10YR5/6(黄褐色土)が25%混じる
	4	2.5 Y6/6	明黄褐色土	L i C	○	△	焼土40%、10YR3/1(黒褐色土)が20%混じる
SB-36 窠	1	10YR3/1	黒褐色土	S i C	○	○	2.5Y6/6(明黄褐色土)の粘土と焼土がそれぞれ5%混じる
	2		焼土				
	3	10YR4/2	灰黄褐色土	S L	×	×	5層がマーブル状に50%混じる
	4	10YR4/2	灰黄褐色土	S L	×	×	5層がマーブル状に30%混じる
	5	10YR3/1	黒褐色土	SiC L	○	×	
SB-44 窠	1	7.5 YR2/2	黒褐色土	S i C	○	△	
	2	7.5 YR2/2	黒褐色土	S i C	○	△	焼土が40%混じる
	3	7.5 YR2/2	黒褐色土	S i C	○	△	焼土が25%混じる
SB-66 窠	1	10YR5/4	鈍い黄褐色土	S i C	○	○	窠構築材粘土
	2	10YR2/2	黒褐色土	L i C	○	○	10YR6/4(鈍い黄褐色土)が10%混じる
	3	10YR2/2	黒褐色土	L i C	○	○	焼土が15%混じる
	4		焼土				

遺構名	層	JIS標準色票	土 壌 色	土 性	し ば り	粘 性	備 考						
SB-74 竈	1	7.5Y R3/3	暗褐色土	S L	○	×	粗砂多い、焼土若干含む						
	2		火床										
SB-80 竈	1	10Y R3/3	黒褐色土	粘土	×	×	炭、焼土混じる						
	2		SiCL										
SB-85 竈	1	10Y R3/4	暗褐色土	SiCL	○	×							
	2		焼土混じり粘土										
	3		10Y R2/3					黒褐色土	SiCL	○	×		
SB-87 竈	1	7.5 Y R4/6	褐色土	S L	○	△	焼土混じり、炭化物微量に混じる、遺物(土器片)を含む						
	2	7.5 Y R3/2	黒褐色土	L	○	△	焼土が混じる						
	3	5Y R4/8	赤褐色土	S L	○	×	よく焼けている						
	4	10Y R3/4	暗褐色土	S L	○	×	遺物(土器片)を含む						
SB-11 竈	1	3層+4層	焼土				焼土が粒子状に10%混じる						
	2												
	3							2.5 Y6/4	鈍い黄色土	H C	○	○	竈構築材の粘土
	4							10Y R3/1	黒褐色土	SiCL	×	×	
SB-39 竈?	1	10Y R3/1	黒褐色土	S i C	×	△	2.5Y7/4(浅黄色土)の竈構築材と焼土粒がそれぞれ10%混じる						
	2												
SB-52 竈	1	10Y R3/2	黒褐色土	H C	×	×	10Y R3/1(黒褐色土)が20%混じる						
	2	10Y R3/2	黒褐色土	H C	×	×	焼土が40%混じる						



## VI ま と め

今次調査に於ける結果は以上のとおりである。発掘調査・整理作業共に限られた時間内でのものであったので十分なものであったとはいえない。今章では各時代毎気付いた点を述べ、まとめとしたい。

### 1. 縄文時代

当地域で確認された、沖積地に於ける縄文中期集落は非常に少ない。低位段丘Ⅱa<sub>3</sub>に位置する飯田市上郷の飯沼丹保遺跡では中期後葉期の住居址が2軒と土坑が確認されている(上郷町教委 1993)。本遺跡はこの飯沼丹保遺跡と比較してみると非常に興味深い。段丘面が2段ほど違うが、広義的に立地条件は類似している。本遺跡の該期の住居址は10軒確認されたが、編年の内訳は中期中葉末からⅠ期SB24で1軒、Ⅱ期SB23・26・40・47・49・63・101で7軒、Ⅲb期SB43で1軒、Ⅳb期SB69で1軒となる(編年は飯田市教委 1999 「三尋石遺跡Ⅳ」に準拠する)。今次調査区の面積及び調査区南側に集落の展開が予想されることから(平成11年度民間住宅開発に伴う立会調査時に確認)、未確認の多くの住居址の存在が考えられる。とすれば、一時期に7軒以上の住居址が存在していたとなれば、当地方でも屈指の中期集落と思われる。過去の概念では、当地方に於ける縄文中期集落は洪積地の台地上に展開すると考えられていたが、このことは改めなければならないといえるであろう。

前述した飯沼丹保遺跡の報告書に於いて「大集落を構成するとは想定しにくい」としているが、発掘調査時、時間的制約及び担当者間の見解の相違があり、当該期の調査は十分にできなかった。それは「沖積段丘面において該期の遺構が検出されるのは少ないだけに、調査前には予想できなかった。」とあるように、無いだろう、という先入観がもたらした結果であるともいえる。本遺跡の結果を鑑みるに飯沼丹保遺跡の調査結果調査は担当した者として誠に恥ずかしく、遺憾である。今となっては詳細は不明であるが、未調査部分を含めて本遺跡と同様な様相であった可能性が非常に高い。今後の類例の増加と研究成果に期待したい。

他時期に於ける遺構は、時期が明確なものについては中期初頭の土坑がある。当地方に於いて、該期の遺構は土坑が圧倒的に多く、住居址は数軒ほどもしか確認されていない。これらの様相から極めて小規模な集落形態だったことが想像できる。

縄文時代の遺物については、前述した中期後葉及び中期初頭がある。中期初頭については近年遺構と共に報告例が増加してきており、今後の検討が必要となろう。中期後葉については特筆すべきものは特になが、SB26・49の埋壘は、同型式(東海中富・咲畑系)で同規格のものであり、両者の関係が興味深い。他では押型文土器・中期中葉の土器・後期初頭の土器が出土している。それぞれ断片的な資料のため詳細は不明であるが、押型文土器についてはⅡ-2「歴史環境」で前述したように、隣接した寺所遺跡では、それに伴う遺構は確認されていないが、比較的まとまって出土している。

## 2. 弥生時代

該期の遺構は住居址が22軒と古墳時代に続いて多く、本遺跡の中心になる時代のひとつである。土器様相から後期後半から終末期の2時期と考えられる。当地域では中期に沖積地に集落が営まれ、時間と共に洪積地の山麓（標高600 m以上）まで拡散されるとされている。沖積地の集落は、後期に於いては大規模で、長期間継続されるようである。このことは弥生経済が稲作と密接な関係を持つため、常に生産域である湿地帯が必要であったためといわれている。今次調査のみで本遺跡の当該期の集落様相を語るのは非常に危険であるが、今次調査区に限れば、後期のある時期のみに居住域として利用されていたようである。出土遺物も後期以外はほとんど確認されていない。しかし、隣接した寺所遺跡では中期の集落が確認されており、本遺跡の該期は、周辺の多くの遺跡を含めて巨視的に検討する必要がある。

弥生時代の遺物については前述した後期後半から終末にかけての土器及び石器が出土している。後期後半から終末にかけての当地域の特徴であるが、大量の東海系土器が出土している。今次調査資料の詳細な分析、他遺跡の出土比率など整理するに至っておらず、具体的には述べることはできないが、他遺跡に比べ在地の土器に対する比率が非常に高いと感じられる。本遺跡が当地域において、重要な位置付けを成すべきことを示す材料といえるかもしれない。

## 3. 古墳時代

当該期が今次調査の中心となる時代である。確認された住居址35軒は5世紀後半から7世紀にかけてのものである。

調査範囲内はすでに記したとおり、縄文時代中期から平安時代に至る各時代の住居址が重複し、その全体を把握し得ないものが多い。出土遺物も重複遺構との混在があり、詳細な検討を加える事により修正を要するが、それぞれの所属時期を整理すると、5世紀後半S B01・13・28・59・90の5軒、6世紀代S B05・17・21・25・30・32・38・48・56・57・61・68・75・86・91・98・99・100の18軒、7世紀代S B06・19・20・34・36・77・80・92・97・102の10軒、詳細時期不明S B12・78の2軒と捉えられる。

遺構の分布状況を見ると、5世紀代の住居址は調査範囲内に散在し、相互の切り合いは認められず、当時の住居分布をある程度示しているものと考えられる。6・7世紀代の住居址はその数も多く、調査範囲内全体に広がり、当該時期同士が重複しており、いくつかに時期細分される。なお、調査範囲内北東部に当該時期の確認されなかった部分があるが、他時代遺構との重複等により、本来所在したものが把握できなかった可能性があり、総体の住居数はさらに多かったと推定される。

以上から、本集落跡は5世紀後半に始まり、以後古墳時代全体を通じ多数の住居で構成された集落を形成していたといえる。

また、今次調査は約1,300 m<sup>2</sup>の限られた範囲であるが、遺構の検出状況から集落は四囲に広がっている事は確実といえる。その範囲については、微地形の変化及び古墳分布から、西側はほぼ限界に近いが、南側へ約100 m、北東側へ約50 mの広がりがあり、40,000～50,000 m<sup>2</sup>におよぶといえる。しかし、今次

調査の北側50mの位置で平成11年に実施した民間開発に伴う試掘調査箇所（第3図参照）からは、遺構等の存在はなく、集落範囲を特定するには今後の継続した周辺部の確認作業による他は術がないといえる。

集落範囲の特定は今後の課題であるが、地形等で捉えられる44,000㎡のうち、仮に半分の22,000㎡に集落が展開すると、その面積比で今次調査1,300㎡で確認した34軒に対し、17倍約600軒の住居分布が考えられる。もちろん同一時期の存在数を示すものではなく、5世紀後半から7世紀まで連続したもので、仮に5時期に分割すると、同一時期は120軒程度の家で集落形成されていたと考えられる。

集落規模は当地方でも屈指の一つとして注目すべきは言うまでもないが、本集落についてはさらに、妙前古墳群との関連が注目される。妙前古墳群は、同一段丘上、同一遺跡内の北縁に位置している。妙前古墳群からの既出資料は、妙前3号（大塚）古墳出土の長野県宝の眉庇付甕に代表される5世紀中頃の遺物群があるのみで、それ以外は実体不明である。当地方に多い横穴式石室のないことから、古墳群の大半が5世紀代に属すると考えられている。

本集落の居住者は、古墳群形成に関わりをもつといえるが、今次調査の5世紀代住居址は、古墳群の盟主と推定される妙前3号古墳の築造時期よりは若干後出するもので、直接関わった住居群は今次調査地点外に分布するといえる。

さらにまた、本集落のもう一つの特徴として古墳時代全体にわたり、継続した人々の営みをたどれることがある。今次調査による弥生時代の終末から5世紀後半まで途切れる実態は、隣接する寺所遺跡の例などからしても、空白の期間を埋める住居群が本遺跡内別地点に存在する可能性が高く、弥生時代後期以降は律令期までの間、連綿と続く集落としての姿を保ち、かつ大規模であり、古墳群と直結することなどから、本遺跡が当地方における古代史解明にとって極めて重要な意味を有しているといえる。

#### 4. 奈良・平安時代

19軒の住居址を確認した。各時期別に見ると、8世紀中頃S B51・65、8世紀中～9世紀初頭S B89、9世紀初頭S B07、9世紀前半S B44・60、9世紀中頃S B44・60、9世紀後半S B14・31・33・60・67・73・74・79・81となっている。

当地方に於いて確認されている奈良時代の遺構は非常に少なく、座光寺地区の恒川遺跡群・金井原瓦窯址・上郷地区堂垣外遺跡・同矢崎遺跡・松尾地区毛賀御射山遺跡・同久井遺跡・同田圃遺跡・竜丘地区安宅遺跡・下久堅地区内御堂遺跡がある。この中で注目すべき遺跡は久井遺跡で、奈良・平安時代と考えられる掘立柱建物2棟が確認されている。この遺構は時期及び性格の詳細が不明であり、官衙関係若しくは東山道駅関係の施設とされている。この掘立柱建物址と本遺跡の関係は詳細に言及できないが、S B82時期外出土の円面硯と関連付けて考えると興味深い。また、地区全体で見た場合、座光寺地区は恒川遺跡群が伊那郡雫田地であるため論外であるが、本遺跡のある松尾地区は当該期の遺構が多く確認されている地区である。このことは如何なる意味を持つのであろうか。前時代の古墳時代との関連、東山道ルートの関係等、多方面から考察すべき問題であると考えられる。

平安時代は9世紀後半が主体となる。当地方に於いて当該期は全般的に遺構が多く、隣接する水城遺

跡でも竪穴住居址が2軒確認されている。同じ松尾地区の清水遺跡に於いても8軒ほど確認されている。他地区では座光寺地区の恒川遺跡群・上郷地区堂垣外遺跡・同矢崎遺跡・鼎地区天伯B遺跡・同日向田遺跡・同猿小場遺跡・伊賀良地区小垣内・辻垣内遺跡・山本地区高野遺跡・竜丘地区小池遺跡・龍江地区細新遺跡がある。また、この前段階である9世紀中頃も比較的多くの遺構が検出されており、9世紀中～後半が当地方の平安時代のピークと考えられる。

現在飯田市で進めている飯田市誌編纂委員会の原始古代史部奈良・平安時代班に於いて当該期の土器編年及び集落変遷等、詳細に研究している。そこでの成果に期待したい。

以上、各時代毎に気付いた点の概略を述べてきた。本遺跡調査区は重複していない遺構が1つもないほどの縄文から平安時代までの大規模な複合遺跡であり、調査面積の割に100軒以上の住居址を確認した。当地方屈指の遺構密集遺跡といっても過言ではない。調査期間等、物理的な問題もあったが、担当者の努力不足が大きく、十分な成果が得られなかったことは誠に遺憾である。今後は前述した問題点等、一つでも解明していきたいと考えている。最後になりましたが、古墳時代遺物に対して國學院大学大学院片山祐介氏に、奈良・平安時代の遺物に対して駒ヶ根市立赤穂東小学校教諭小平和夫氏を中心に、飯田市誌編纂委員会原始古代史部奈良・平安時代班の皆様それぞれ御教示賜りました。記して感謝致します。

#### 〔引用・参考文献〕

- 飯田市教育委員会 1971 『妙前大塚（3）号古墳』  
飯田市教育委員会 1972・1974 『南の原遺跡』  
飯田市教育委員会 1976 『清水遺跡』  
飯田市教育委員会 1978 『毛賀御射山遺跡』  
飯田市教育委員会 1980 『猿小場遺跡』  
飯田市教育委員会 1986 『恒川遺跡群』  
飯田市教育委員会 1991 『恒川遺跡 田中・倉垣内地籍』  
飯田市教育委員会 1991 『清水遺跡』  
飯田市教育委員会 1991 『城遺跡』  
飯田市教育委員会 1992 『猿小場遺跡』  
飯田市教育委員会 1992 『八幡原遺跡 物見塚古墳』  
飯田市教育委員会 1992 『八幡原遺跡』  
飯田市教育委員会 1993 『田圃遺跡』  
飯田市教育委員会 1993 『久井遺跡』  
飯田市教育委員会 1994 『長野県飯田市代田山狐塚古墳の測量調査』



飯田市教育委員会 1995 『安宅遺跡』

飯田市教育委員会 1999 『田圃遺跡Ⅱ』

上郷町教育委員会 1993 『丹保遺跡』

下伊那地質誌編集委員会編 1976 『下伊那の地質解説』

(財)長野県史刊行会 1988 『長野県史』考古資料編全1巻(4)遺構・遺物

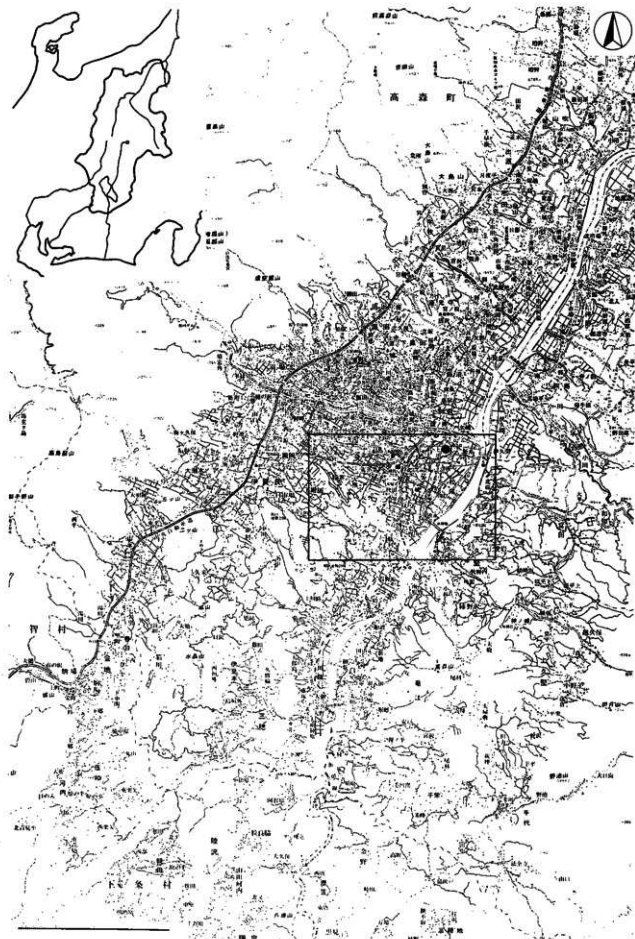
(財)長野県埋蔵文化財センター 1990 『総論編』中央自動車道長野線埋蔵文化財発掘調査報告書4

松尾村誌編纂委員会 1982 『松尾村誌』



## 图 版





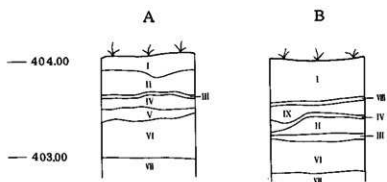
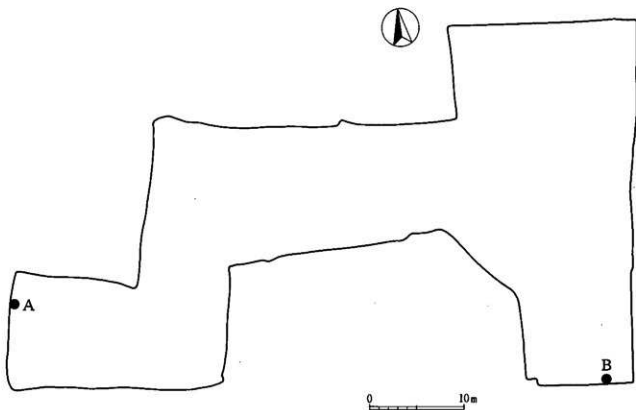
第1図 妙前遺跡位置図



第2図 周辺道跡位置図



第3図 調査位置図及び周辺地図

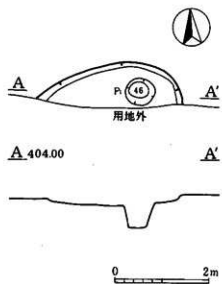


- |      |   |                 |        |     |     |
|------|---|-----------------|--------|-----|-----|
| I    | — | 造成土             |        |     |     |
| II   | — | 旧水田             |        |     |     |
| III  | — | 旧水田鉄分沈殿土        |        |     |     |
| IV   | — | 7.5YR4/2 (灰褐)   | SiCL   | 粘性△ | しまり |
| V    | — | 2.5Y7/3 (浅黄)    | S      | 粘性× | しまり |
| VI   | — | 10YR3/1 (黒褐)    | SiC    | 粘性△ | しまり |
| VII  | — | 10YR6/6 (明黄褐)   | S      | 粘性× | しまり |
| VIII | — | 7.5YR5/6 (明褐)   | S(鉄分量) | 粘性○ | しまり |
| IX   | — | 10YR5/4 (C.赤黄褐) | CL     | 粘性○ | しまり |

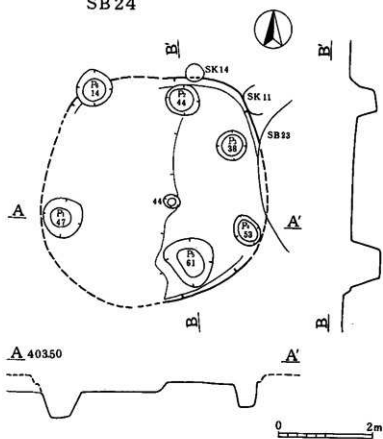
第4図 基本層序



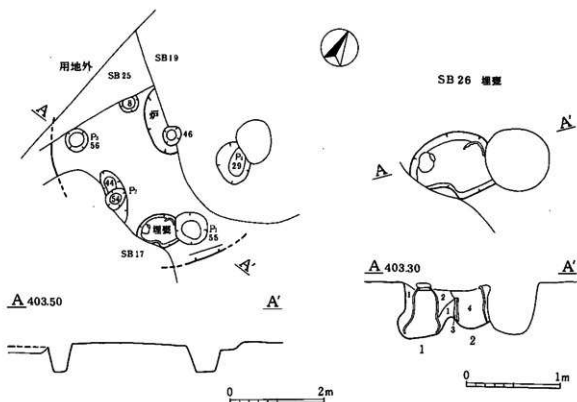
SB 23



SB 24

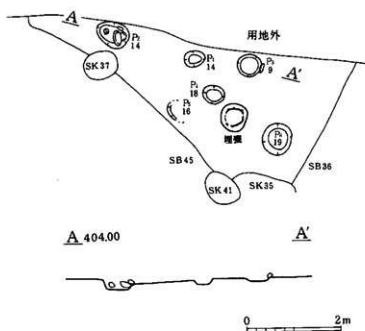


SB 26



第 5 图 SB23・24・26

SB 40

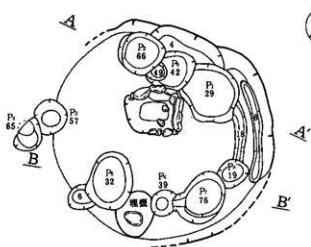


SB 40 埋藏

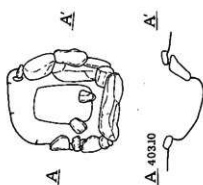


0 1m

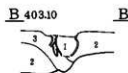
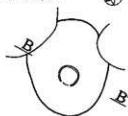
SB 43



SB 43 跡



SB 43 埋藏

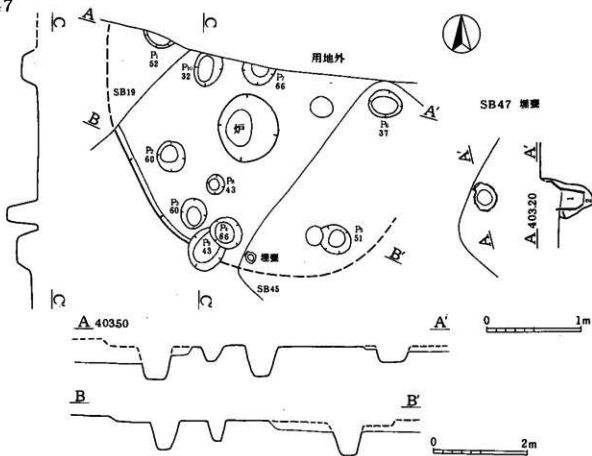


0 2m

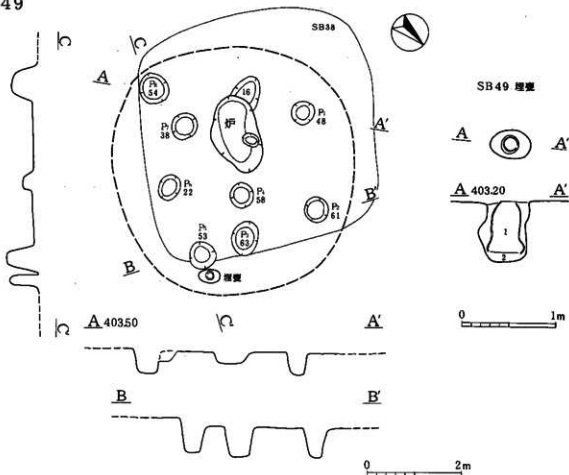
0 1m

第 6 図 SB40・43

SB47

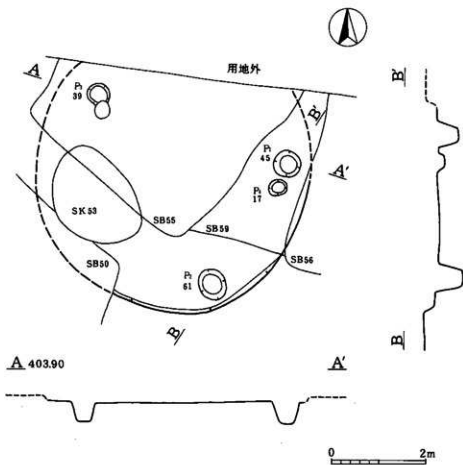


SB49

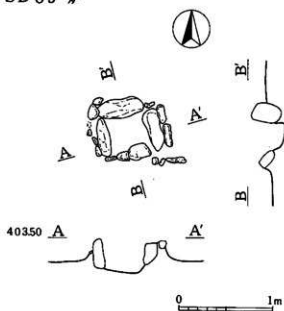


第7圖 SB47・49

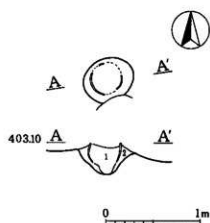
SB 63



SB 69 炉

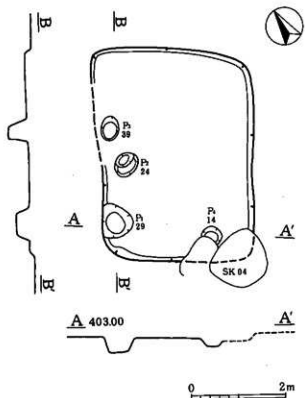


SB 101 埋甕

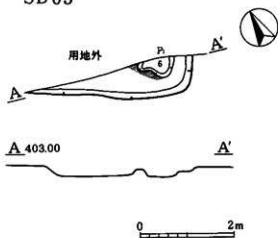


第 8 图 SB63・69・101

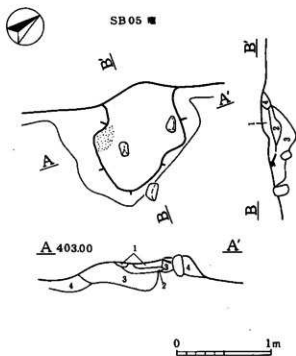
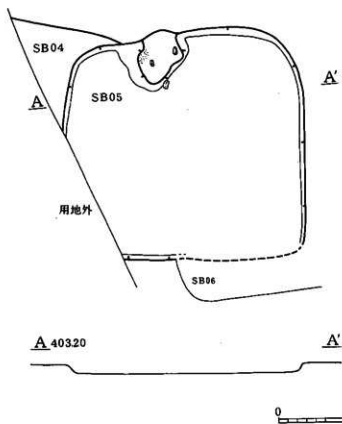
SB 02



SB 03

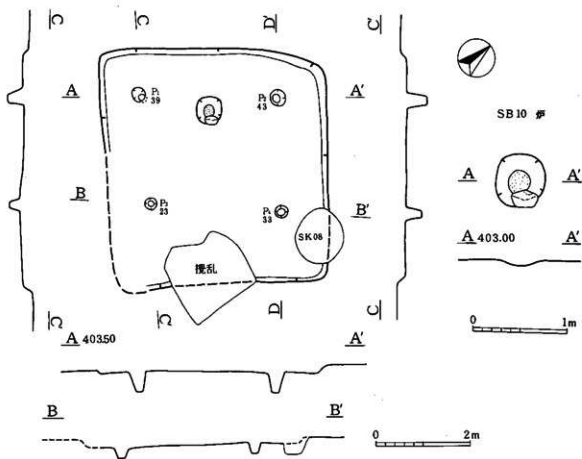


SB 04·05

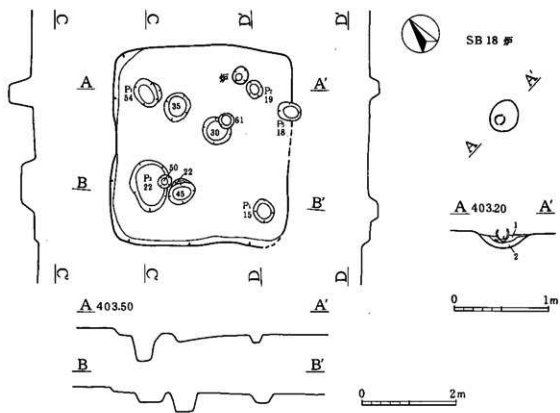


第9圖 SB02・03・04・05

SB 10

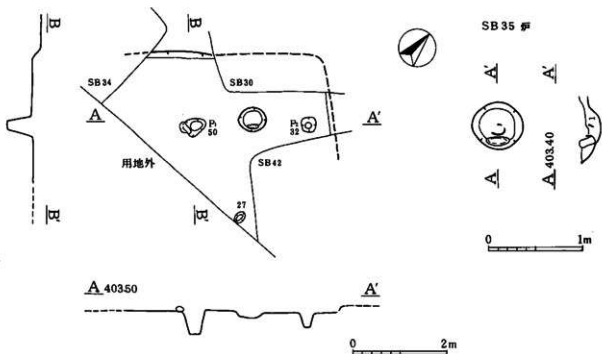


SB 18

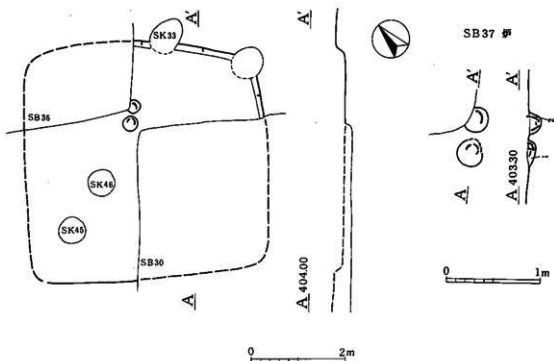


第10圖 SB10・18

SB 35

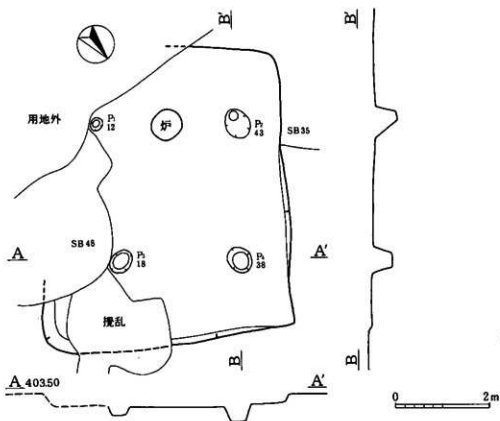


SB 37

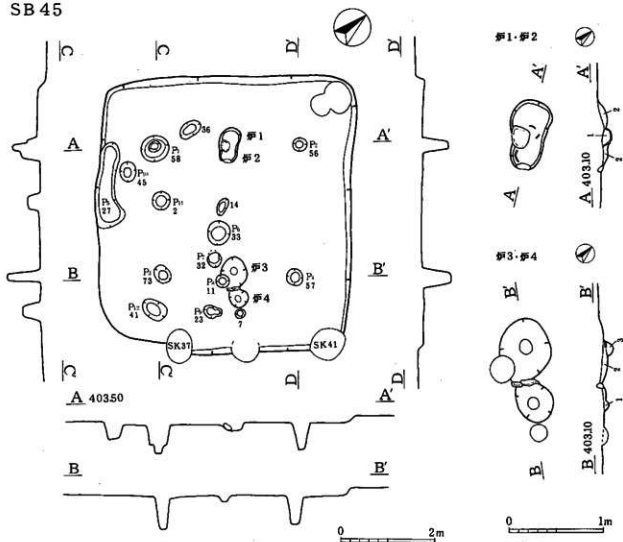


第11圖 SB35・37

SB 42



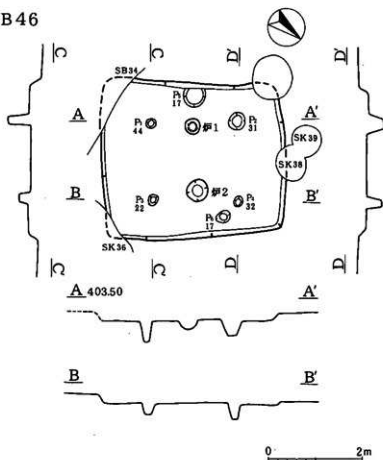
SB 45



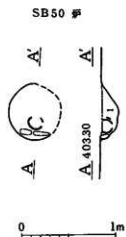
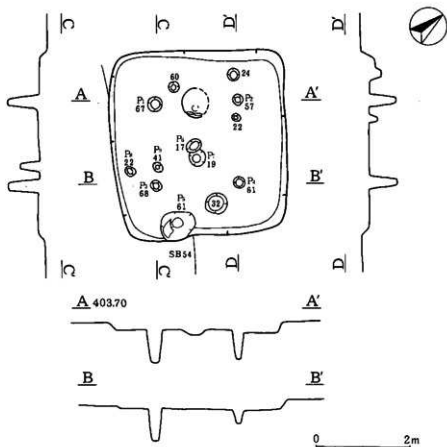
第12図 SB42・45



SB46

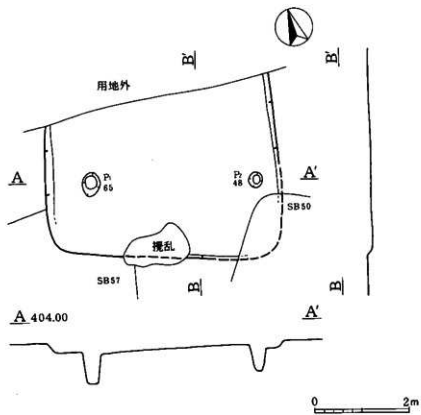


SB50

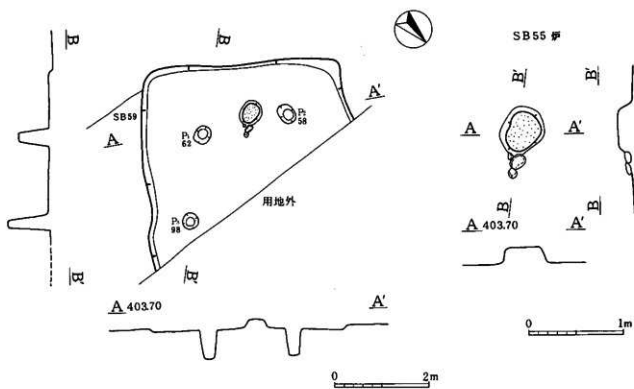


第13圖 SB46・50

SB 53

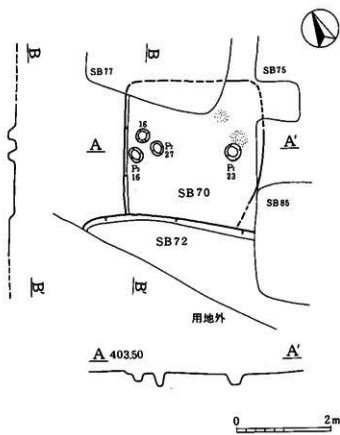


SB 55

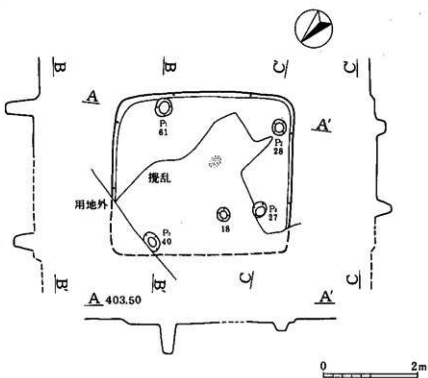


第14図 SB53・55

SB70-72

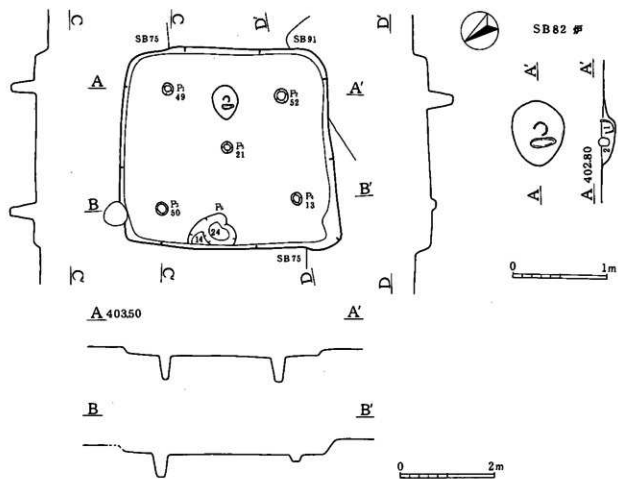


SB 76

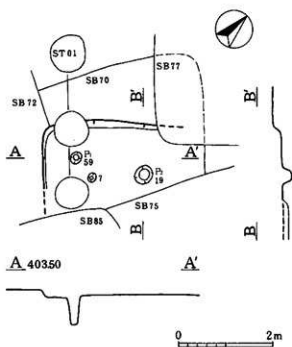


第15图 SB70・72・76

SB 82

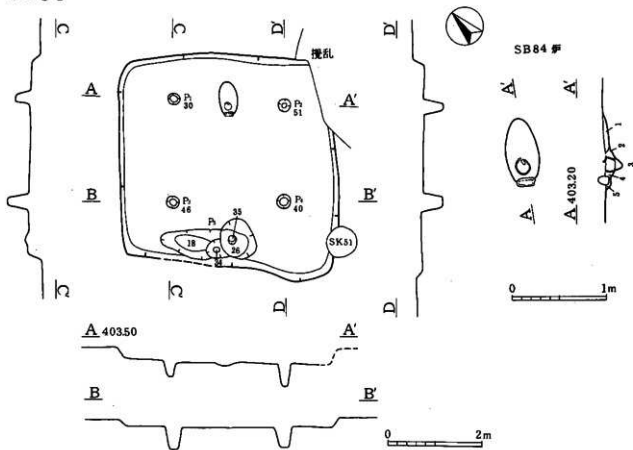


SB 83

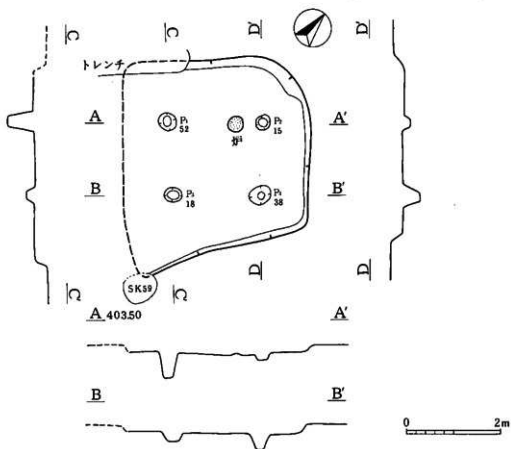


第16图 SB82・83

SB 84

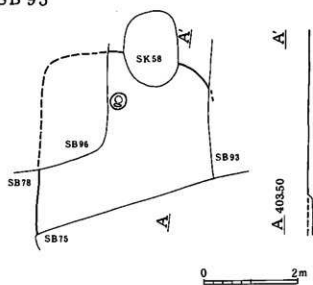


SB 93

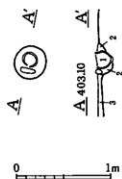


第17図 SB84・93

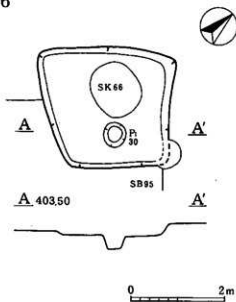
SB 95

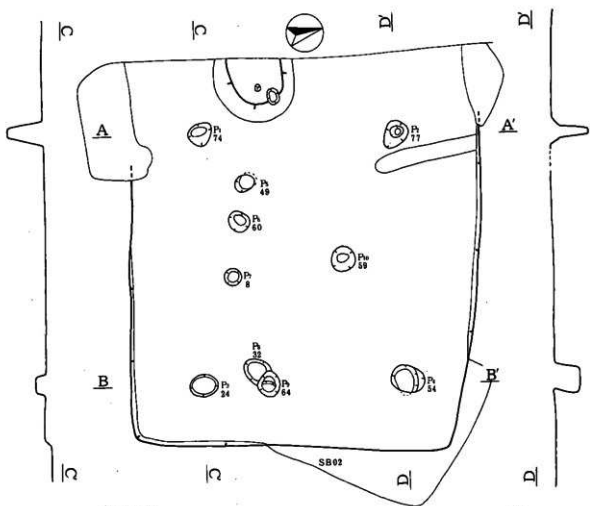


SB 95 詳



SB 96

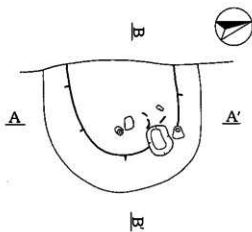




A 403.20



0 2m



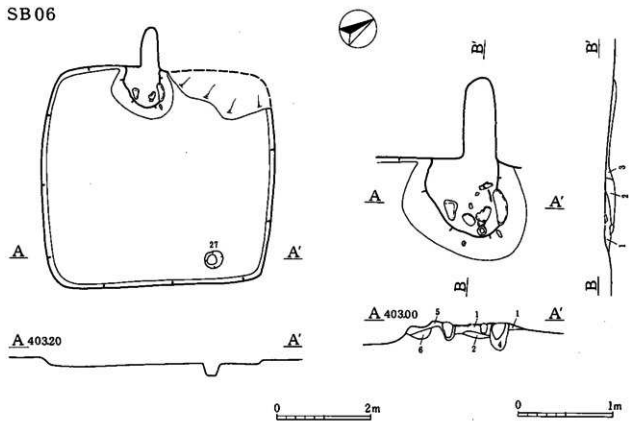
A 403.00



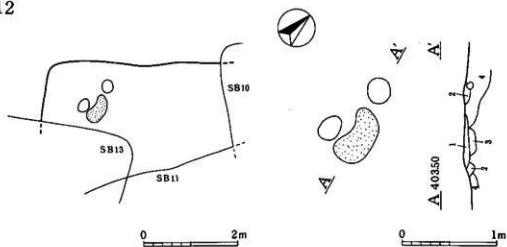
0 1m

第19圖 SB01

SB06

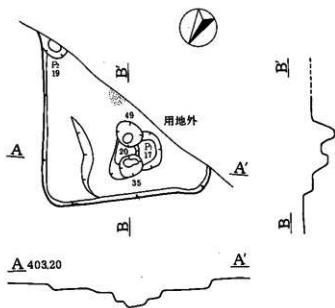


SB12

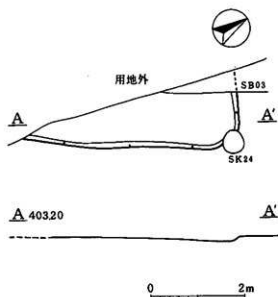




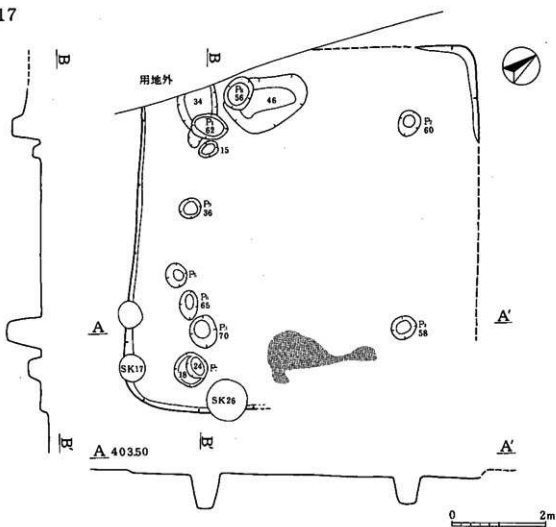
SB13



SB15

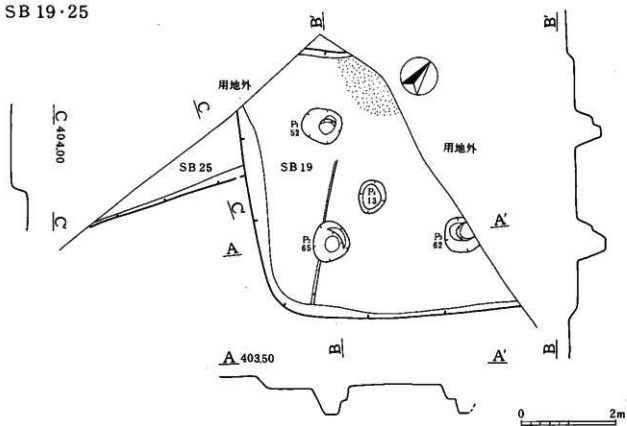


SB17

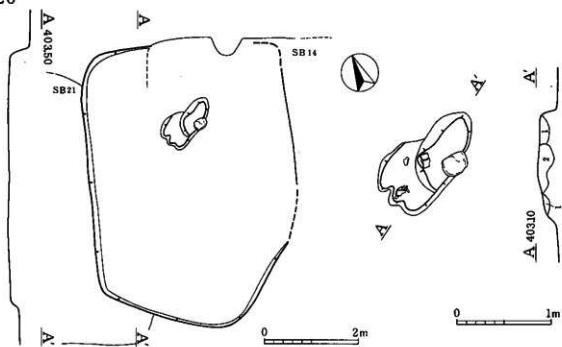


第21図 SB13・15・17

SB 19・25

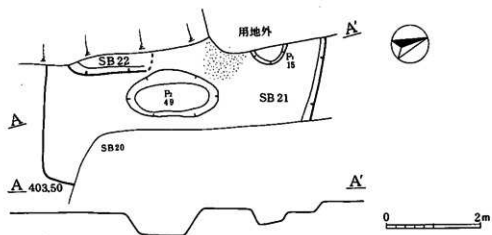


SB 20

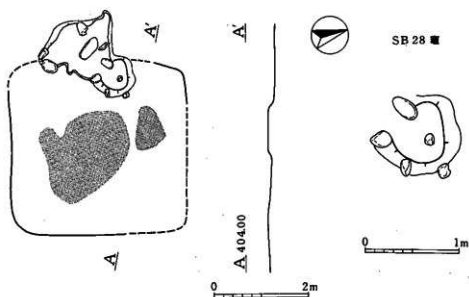


第22図 SB19・20・25

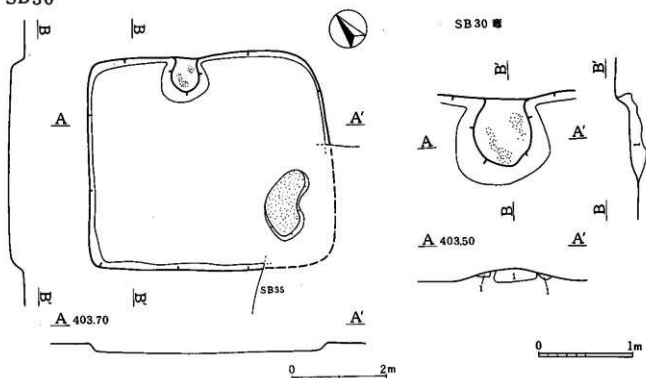
SB 21·22



SB 28

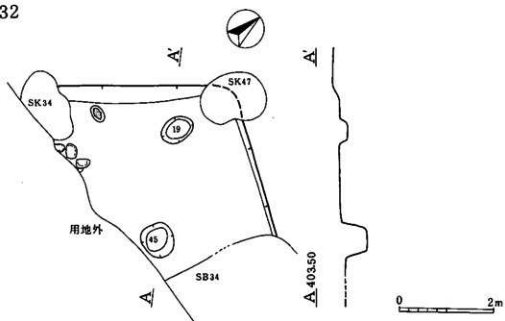


SB 30

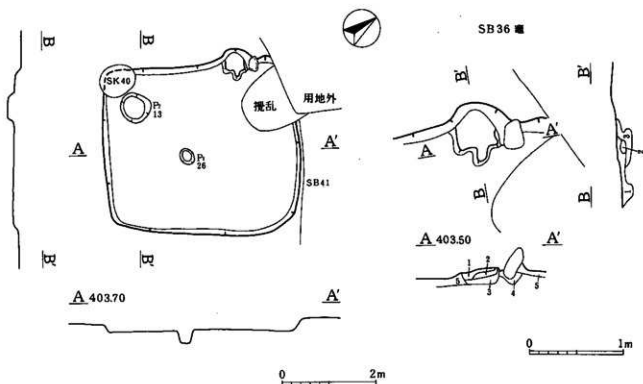


第23圖 SB21・22・28・30

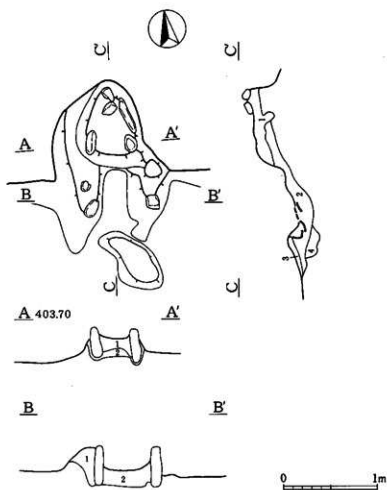
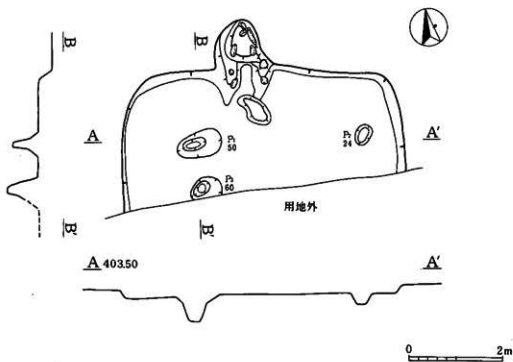
SB 32



SB 36

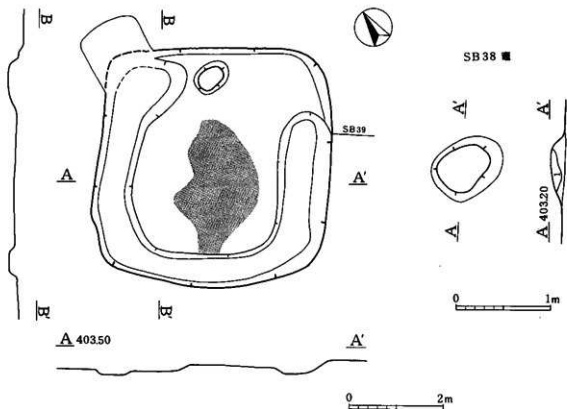


第24図 SB32・36

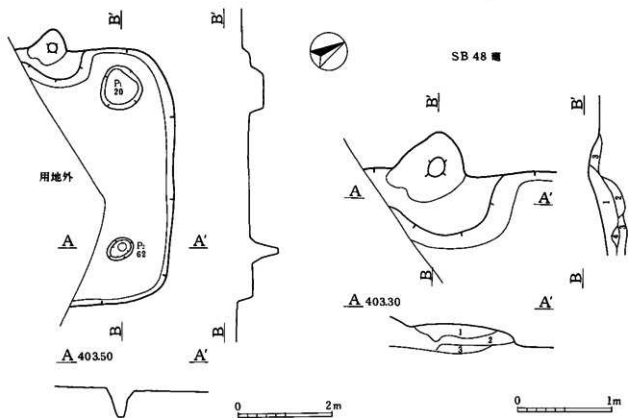


第25回 SB34

SB 38

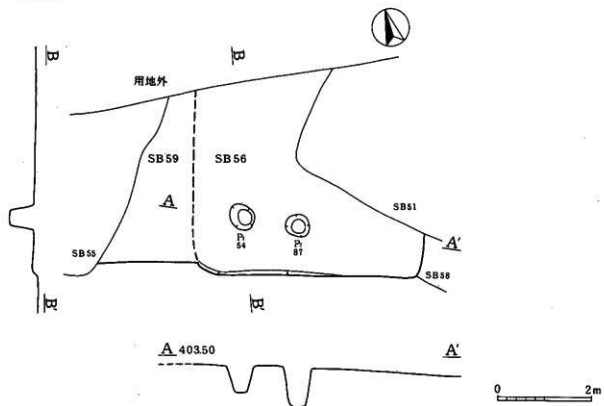


SB 48

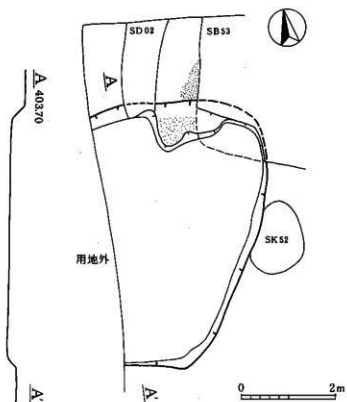


第26図 SB38・48

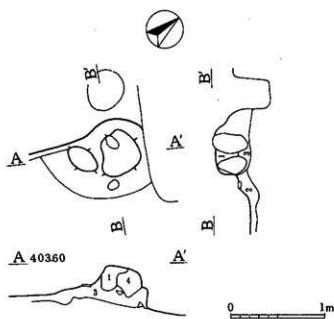
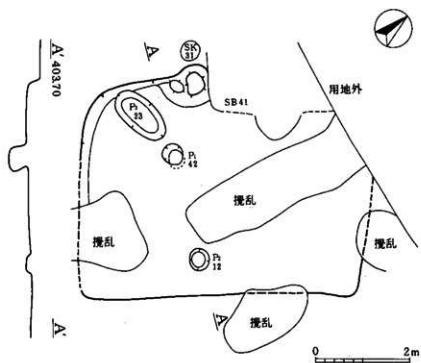
SB56-59



SB57



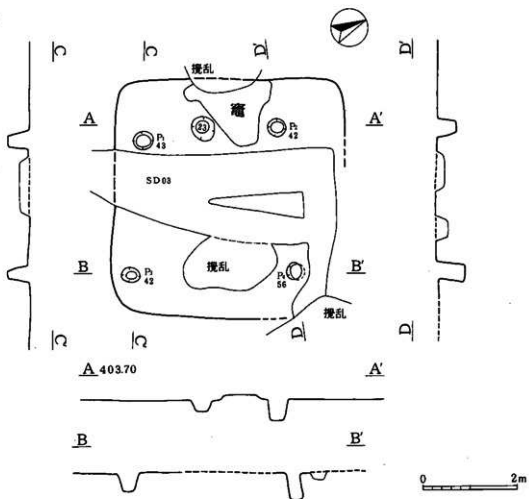
第27図 SB56・57・59



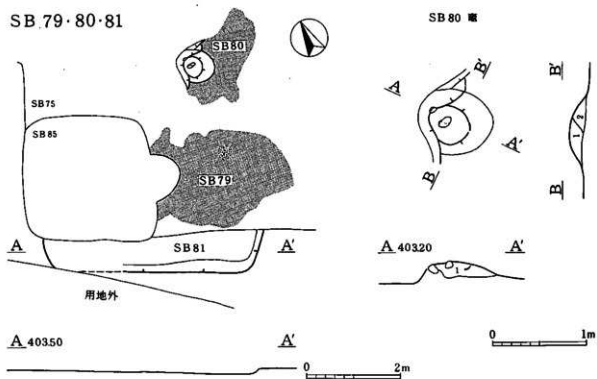
第28図 SB61



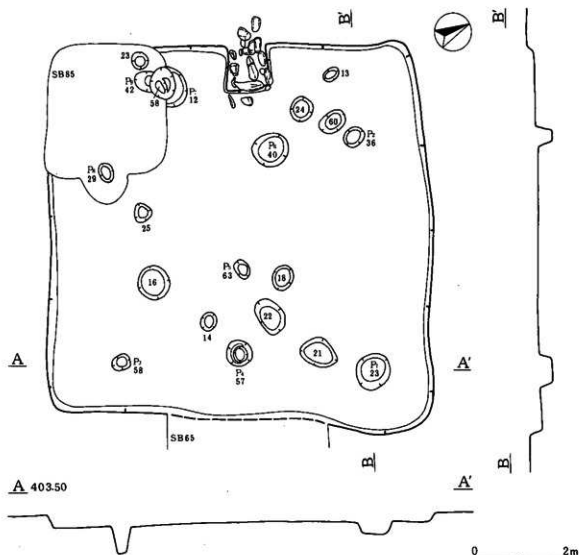
SB 68



SB 79·80·81

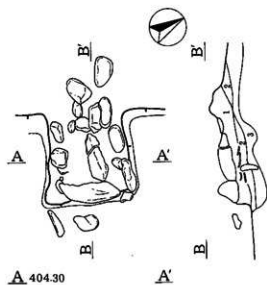


第29圖 SB68・79・80・81



A 403.50

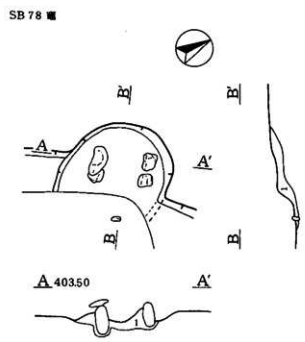
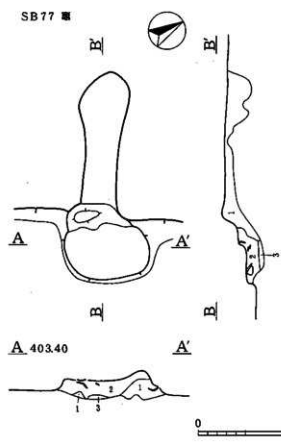
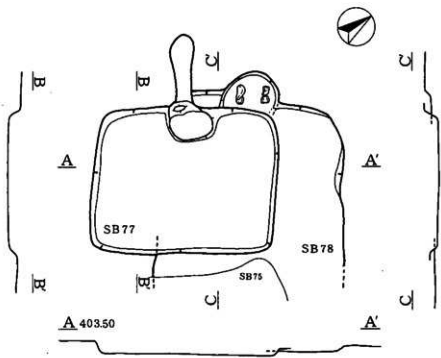
0 2m



A 404.30

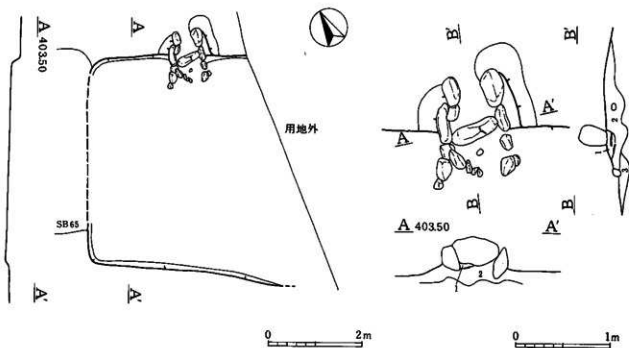
0 1m

第30图 SB75

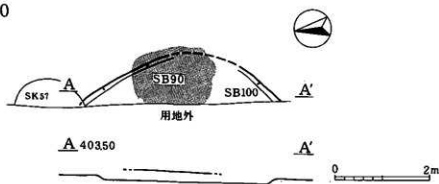


第31圖 SB77・78

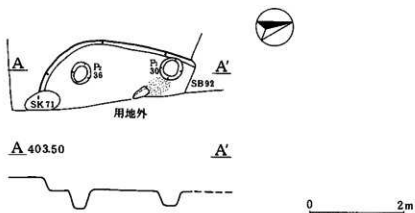
SB 86



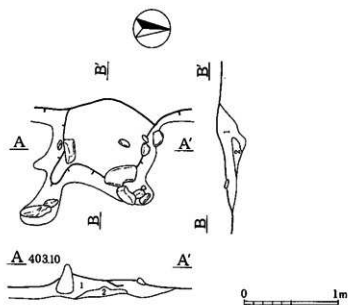
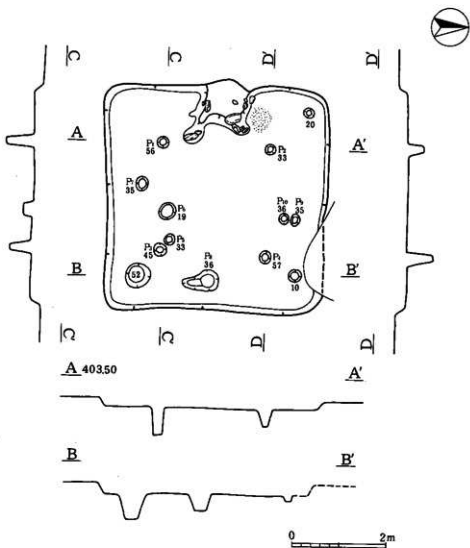
SB 90·100



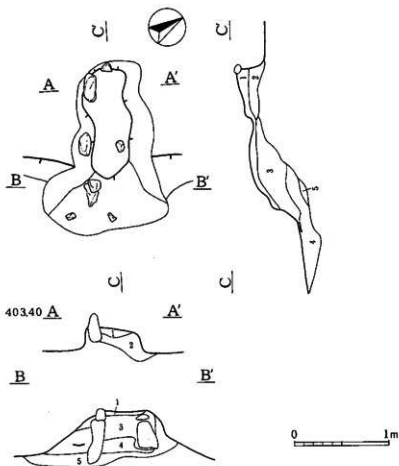
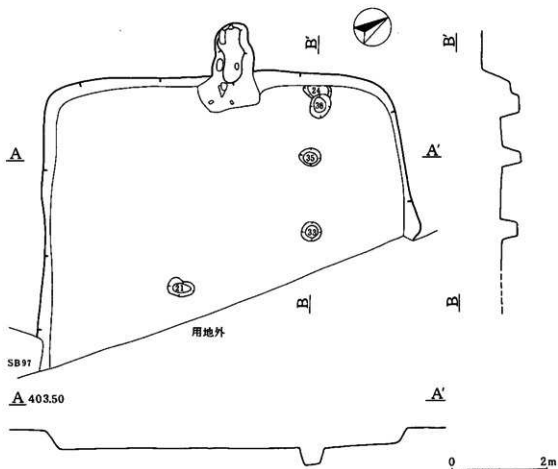
SB 97



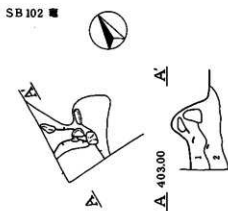
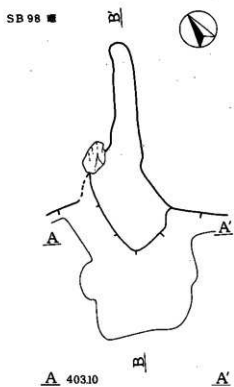
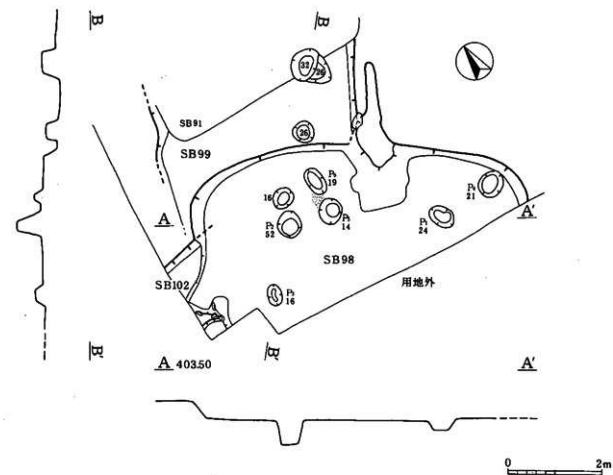
第32図 SB86・90・97・100



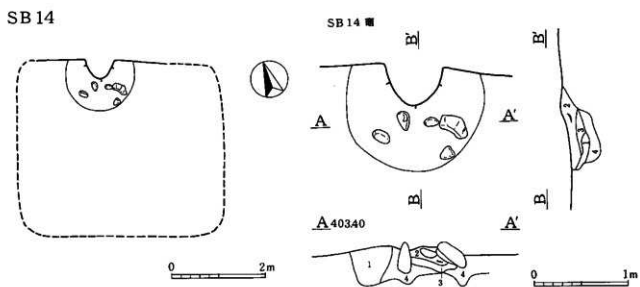
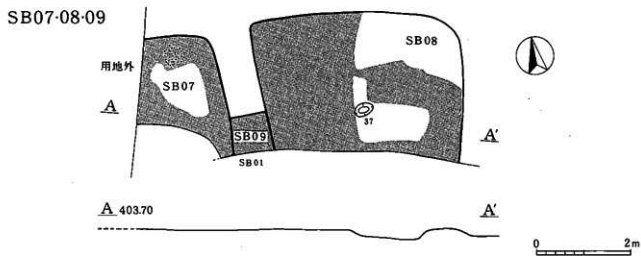
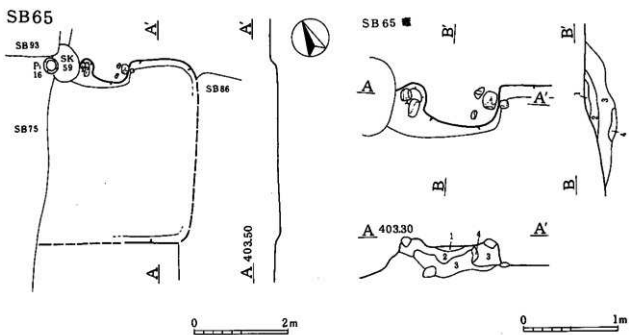
第33图 SB91



第34图 SB92



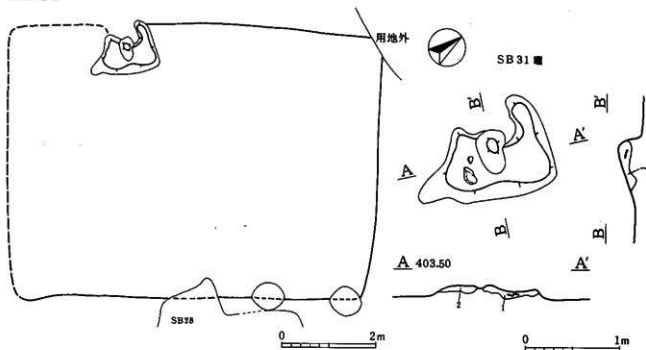
第35图 SB98・99・102



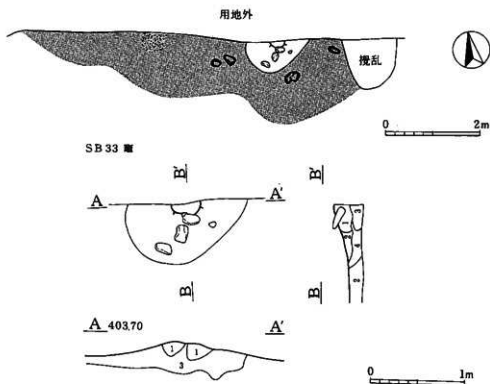
第36図 SB07・08・09・14・65



SB31

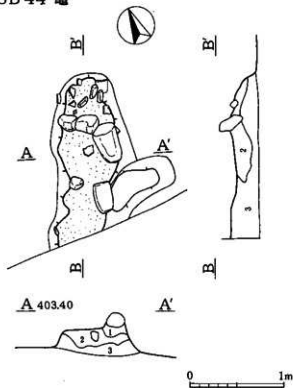


SB33

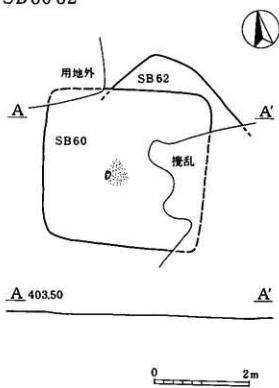


第37圖 SB31・33

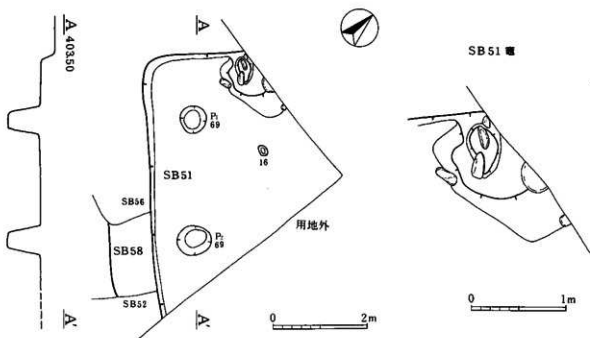
SB44 竈



SB60-62

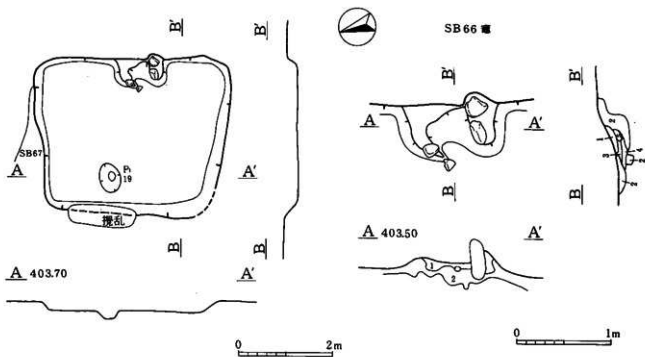


SB51-58

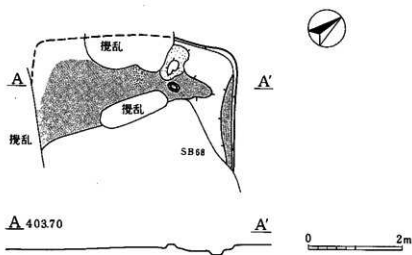


第38图 SB44・51・58・60・62

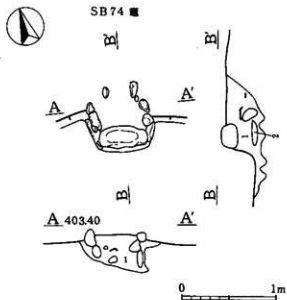
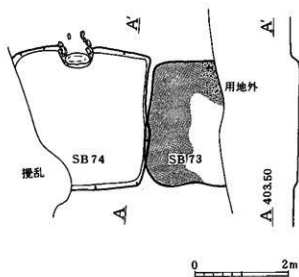
SB 66



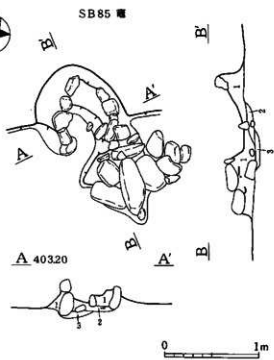
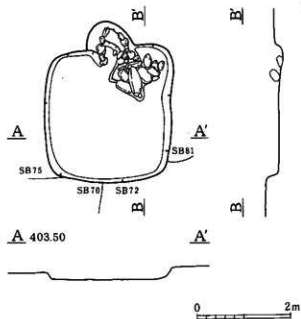
SB 67



SB 73·74

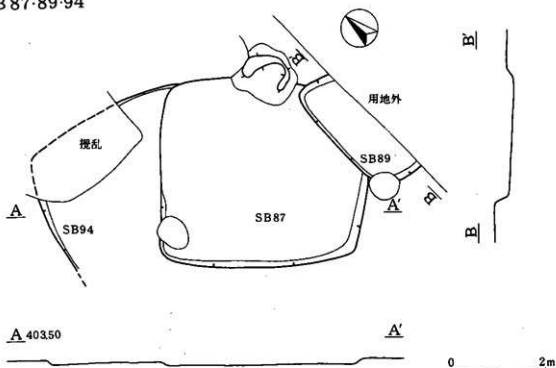


SB 85

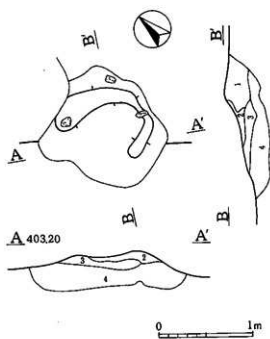


第40图 SB73·74·85

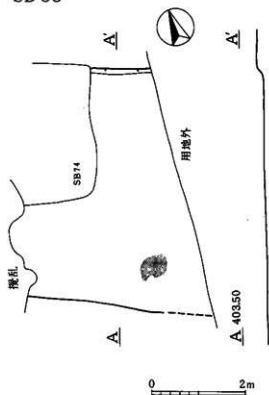
SB 87-89-94



SB87 竈

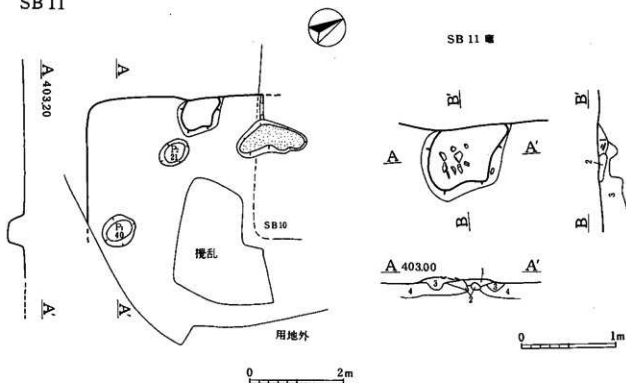


SB88

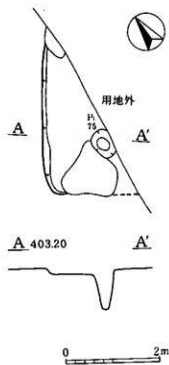


第41図 SB87・88・89・94

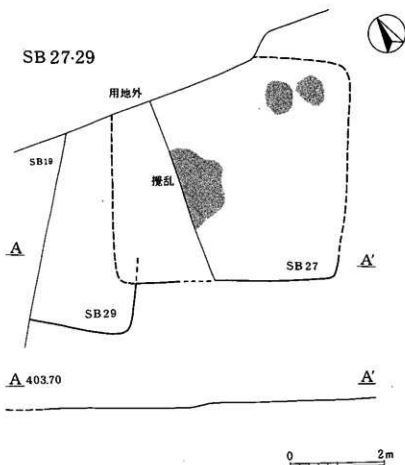
SB 11



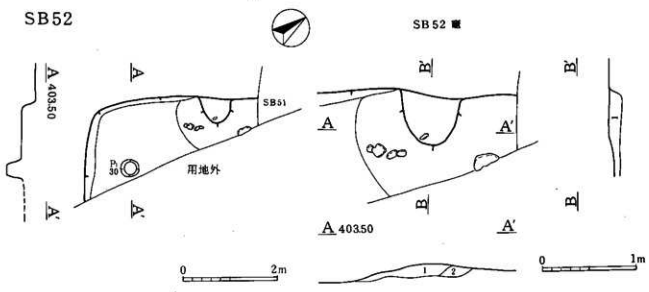
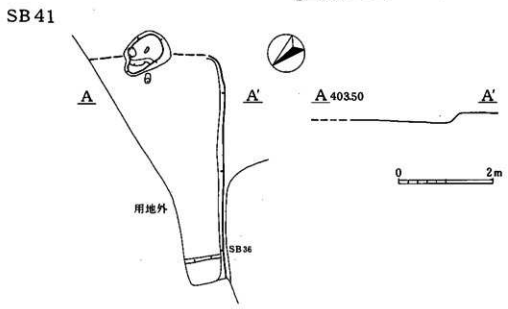
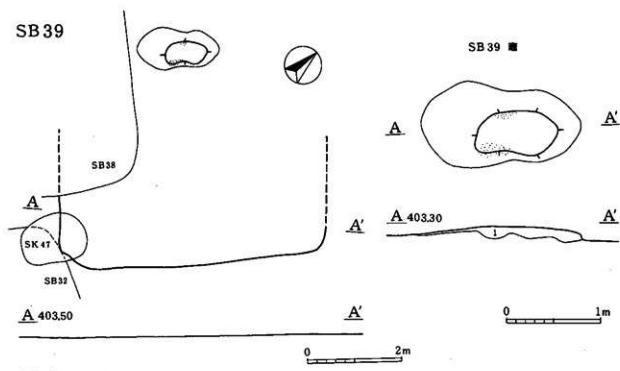
SB 16



SB 27-29

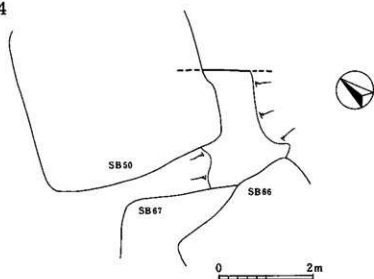


第42圖 SB11・16・27・29

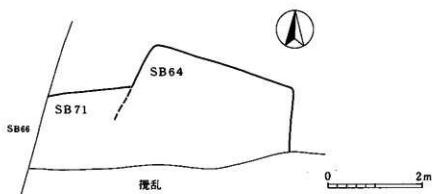


第43图 SB39・41・52

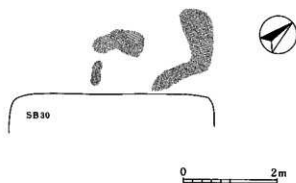
SB54



SB 64・71



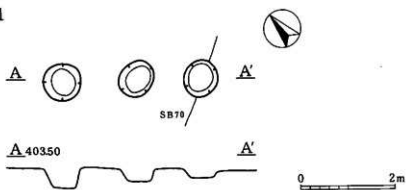
SB103



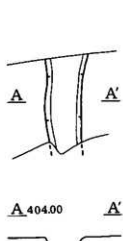
第44図 SB54・64・71・103



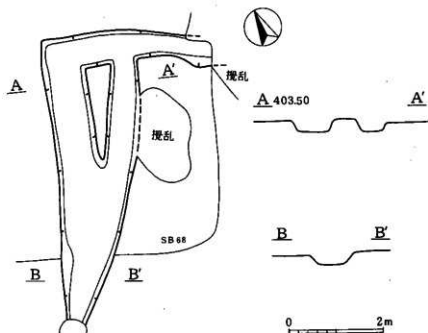
ST 01



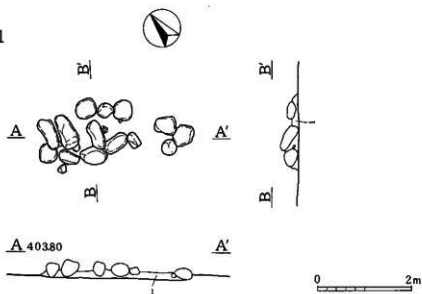
SD 02



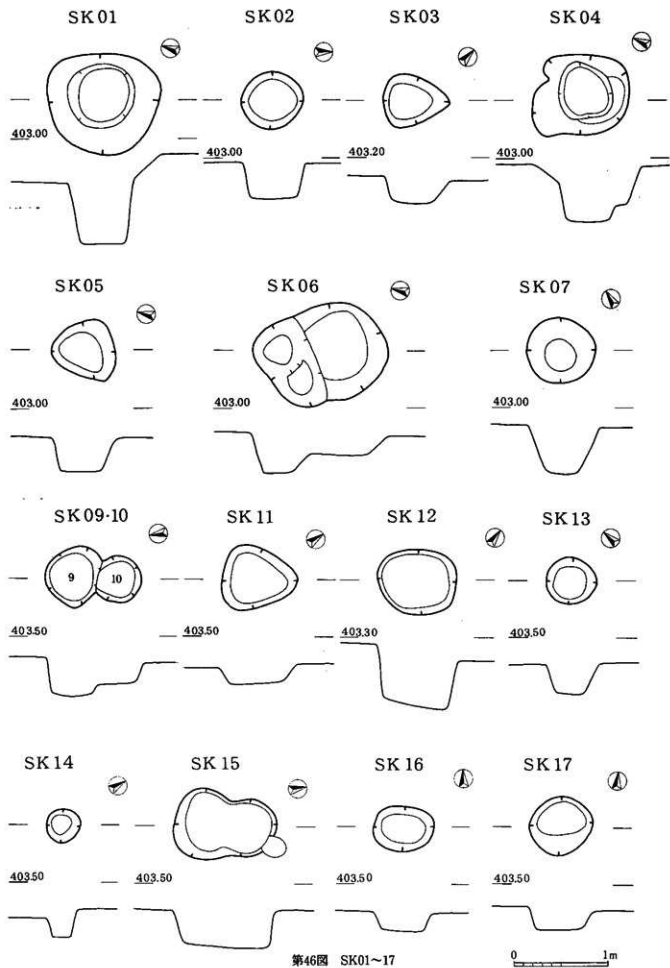
SD 03



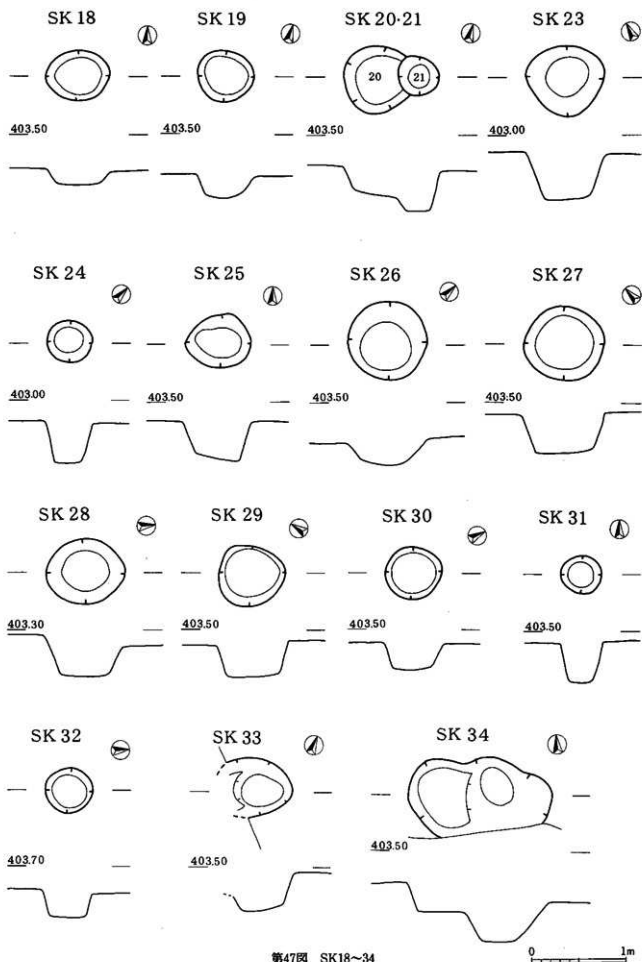
SI 01



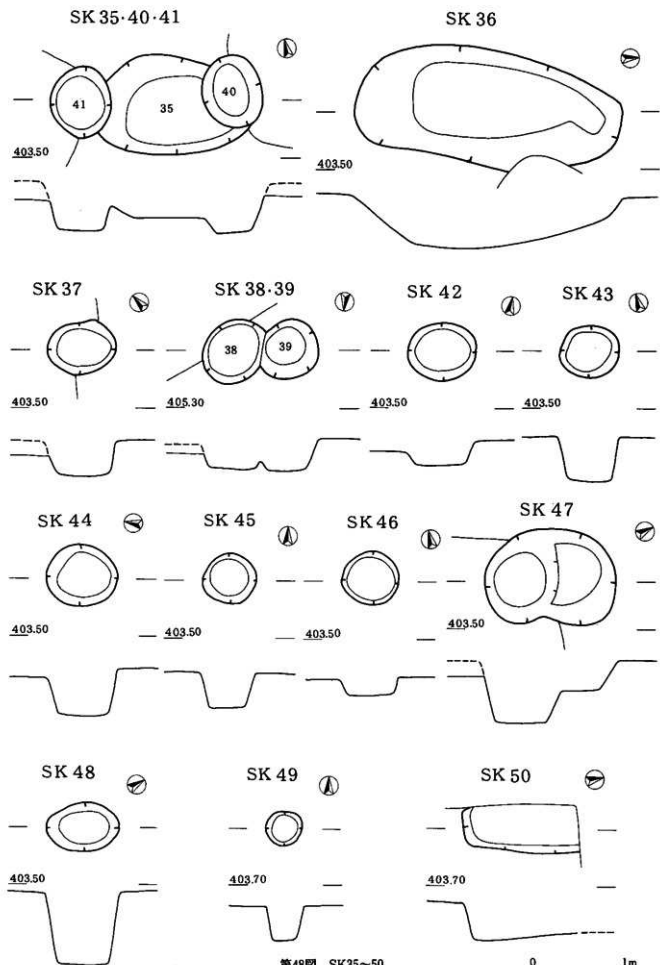
第45圖 ST01, SD02・03, SI01



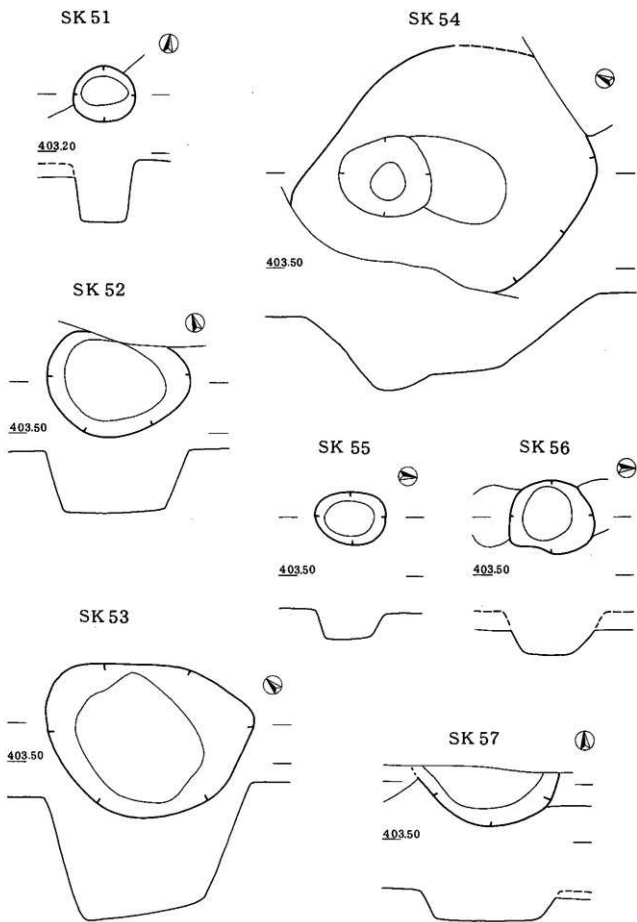
第46図 SK01~17



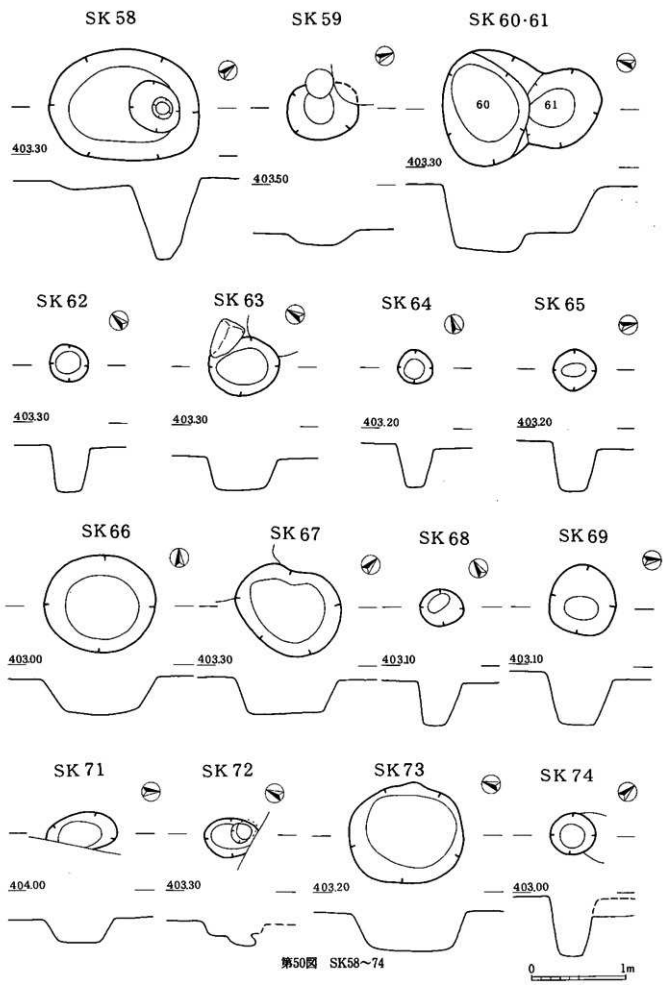
第47図 SK18~34



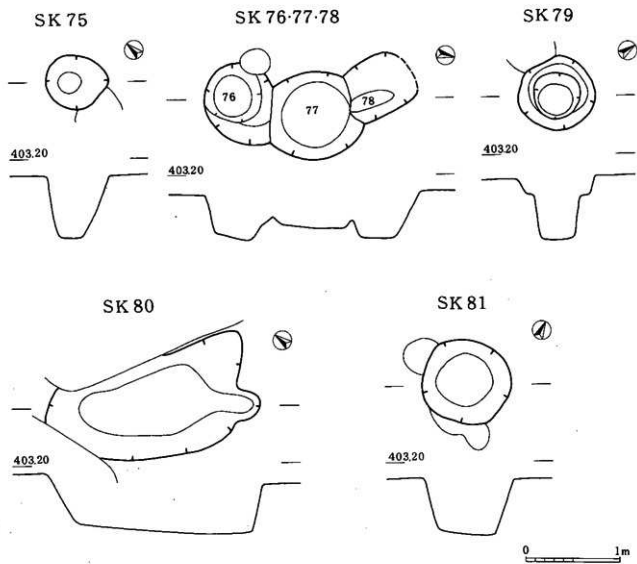
第48圖 SK35~50



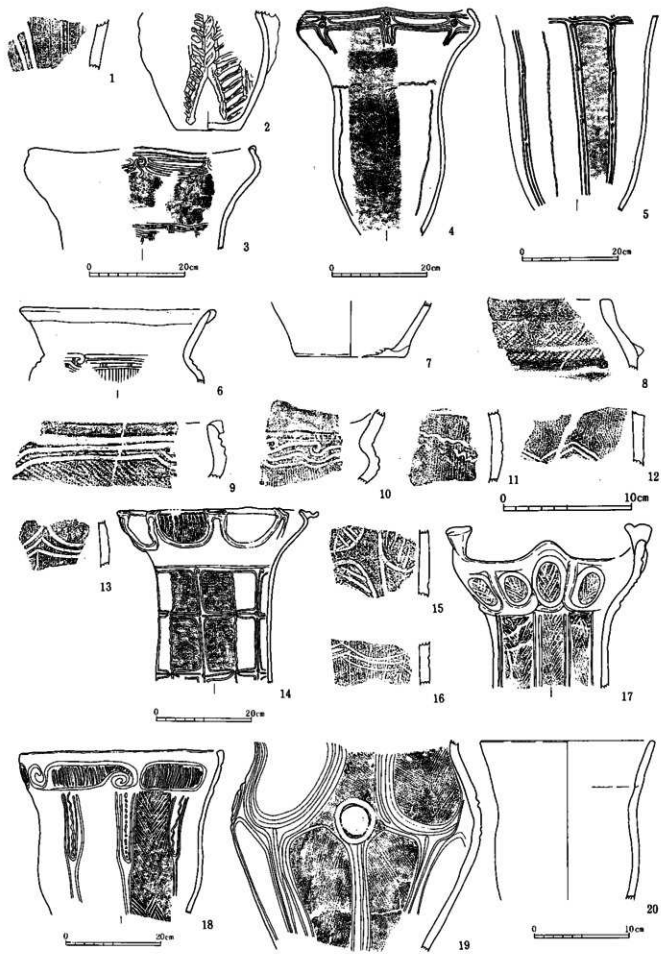
第49图 SK51~57



第50图 SK58~74



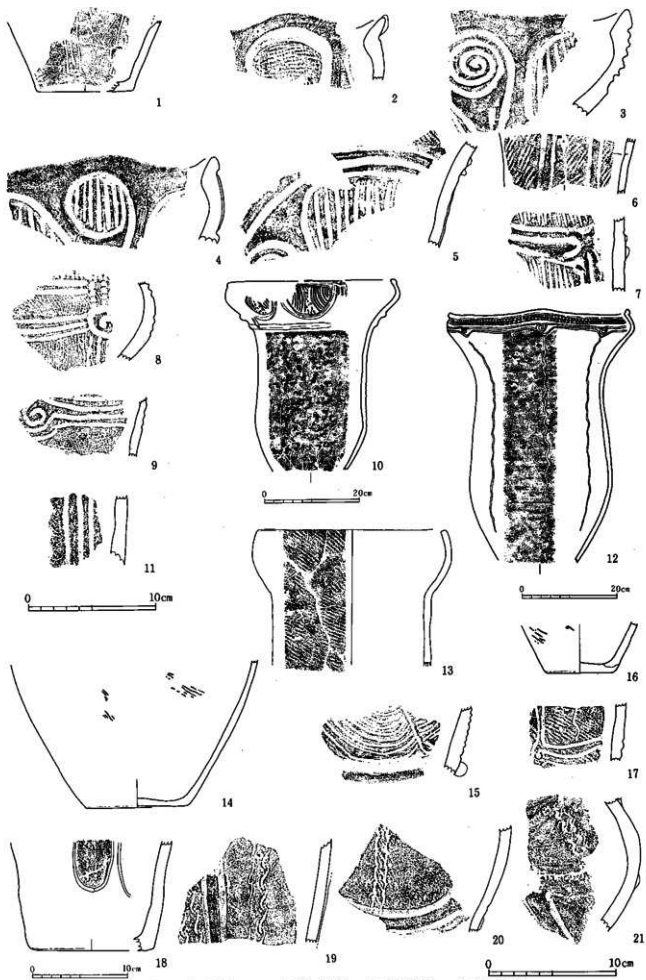
第51図 SK75~81



第52图 SB出土器物

1 SB23      3~13 SB26      17~20 SB43  
 2 SB24      14~16 SB40



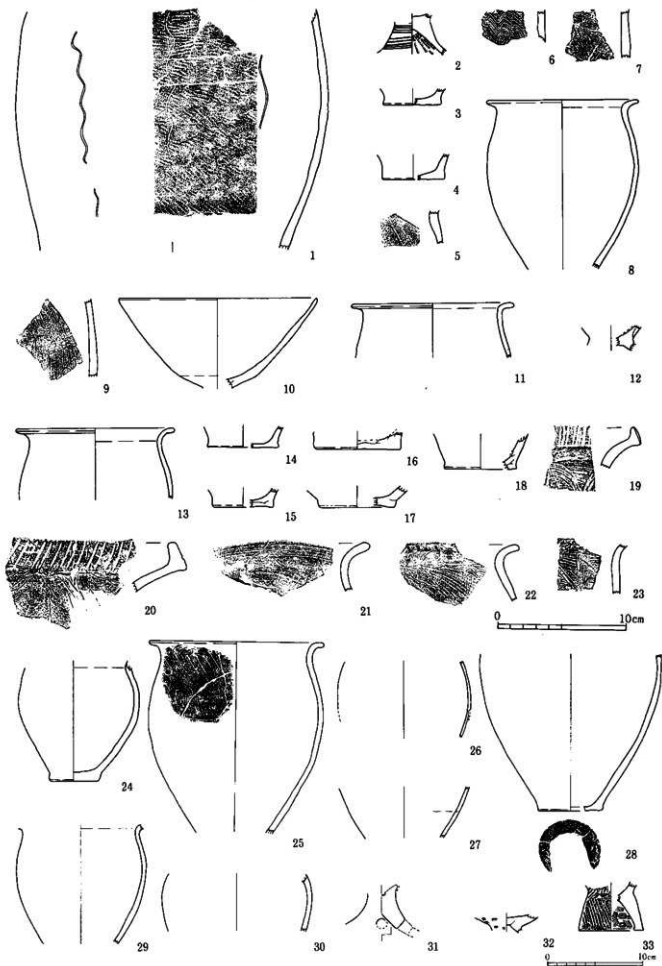


第53图 SB出土遺物

1~8 SB43  
9~10 SB47

11~12 SB49  
13~17 SB63

8~21 SB69



第54図 SB出土遺物

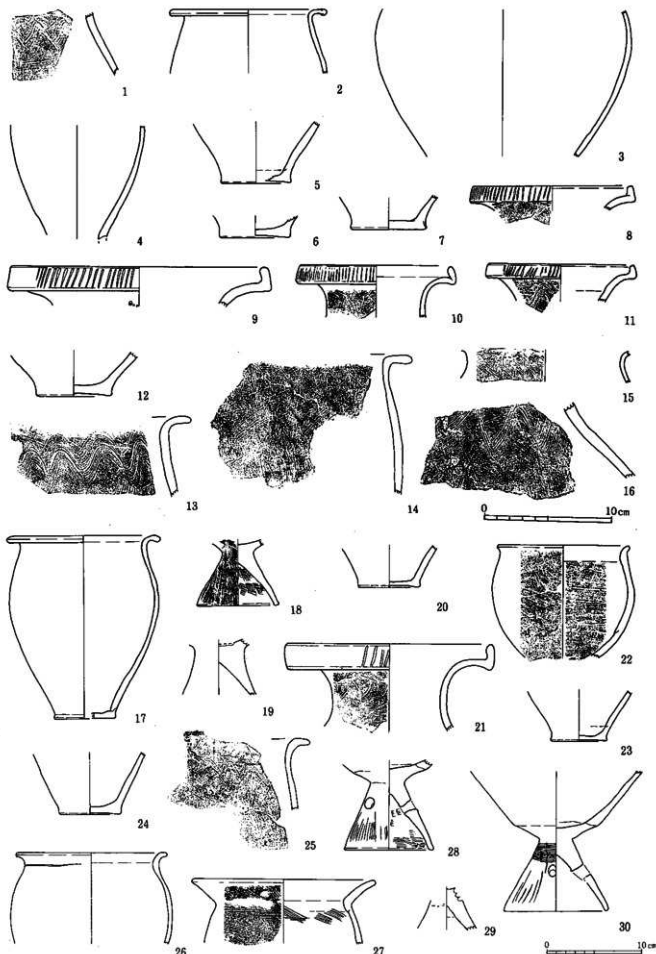
1 SB101  
2・3 SB02

4~6 SB03  
7~9 SB04

10~23 SB10  
24 SB18

25~27 SB35  
28~30 SB37

31~33 SB42

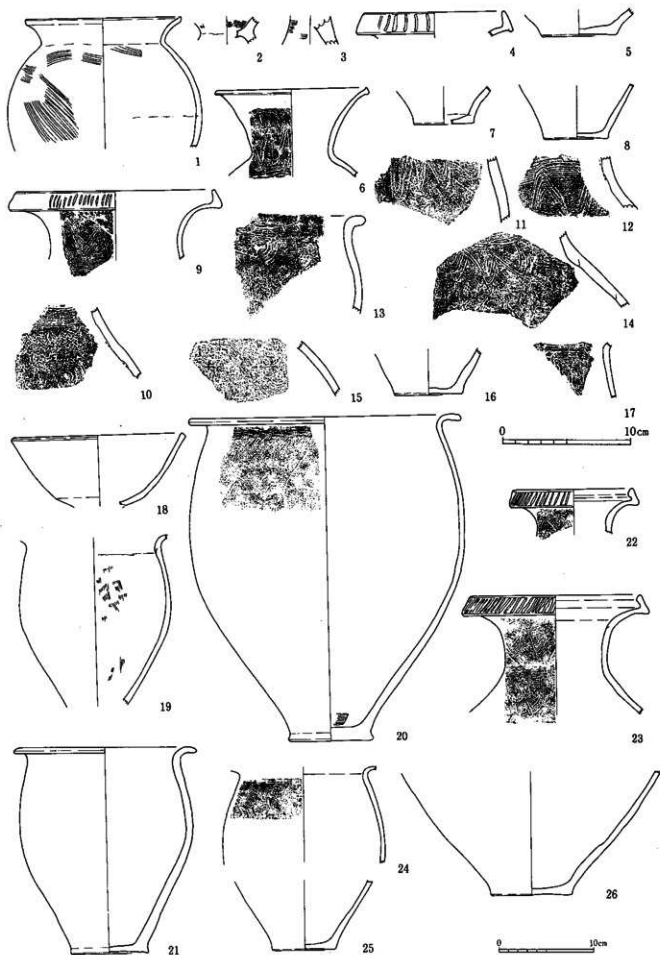


第55图 SB出土遺物

1 SB42  
2~16 SB45

17~21 SB46  
22~25 SB50

26~30 SB53

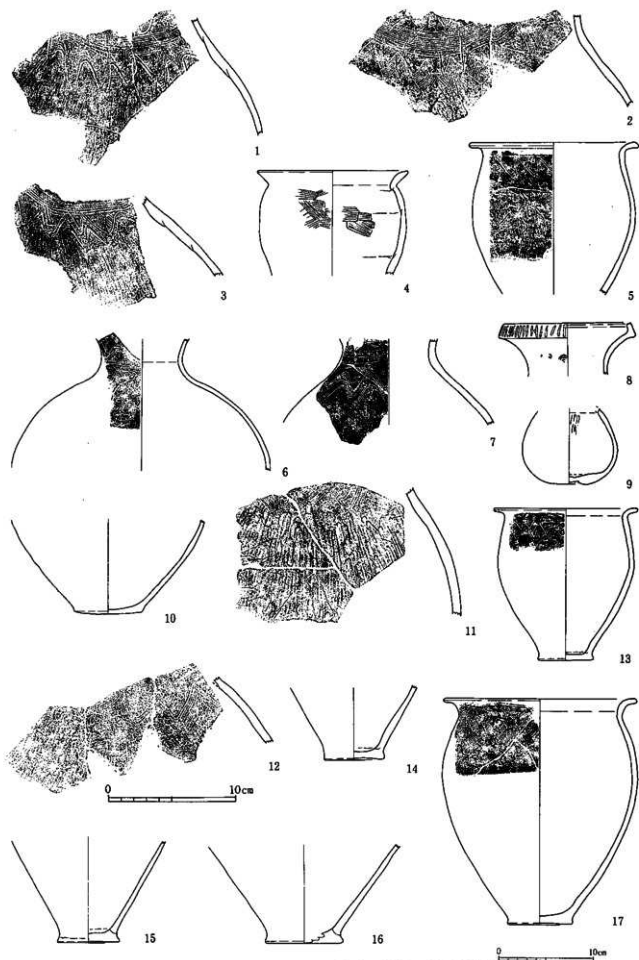


第56圖 SB出土遺物

1~7 SB53  
8~14 SB55

15・16 SB72  
17 SB76

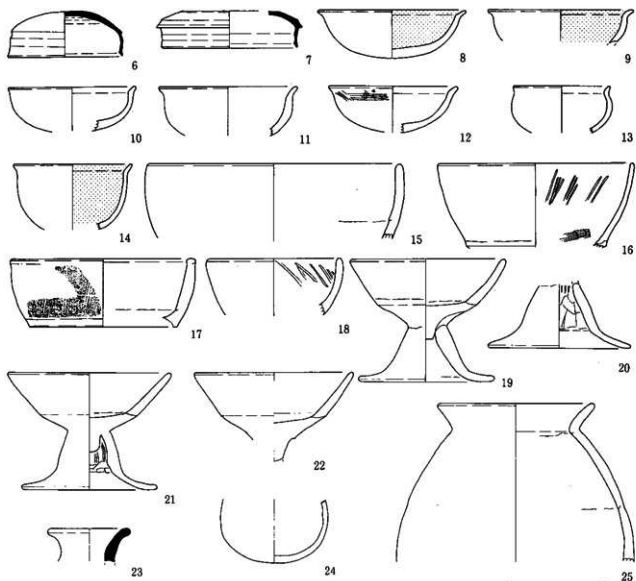
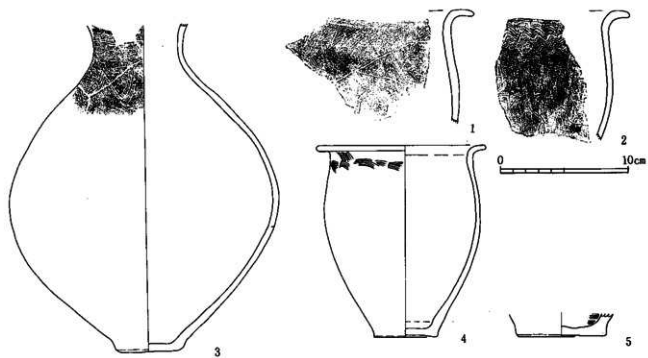
18~21 SB82  
22~26 SB83



第57図 SB出土遺物

1~3 SB83  
4~12 SB84

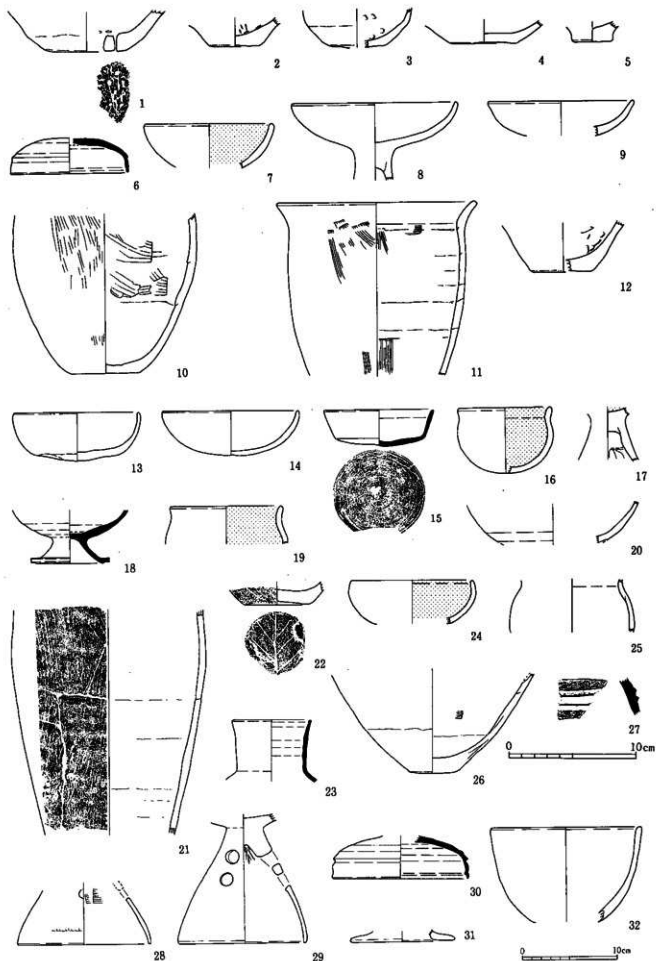
13~17 SB93



第58図 SB出土遺物

1~3 SB93  
4 SB95 5 SB96  
6~25 SB01

0 10cm

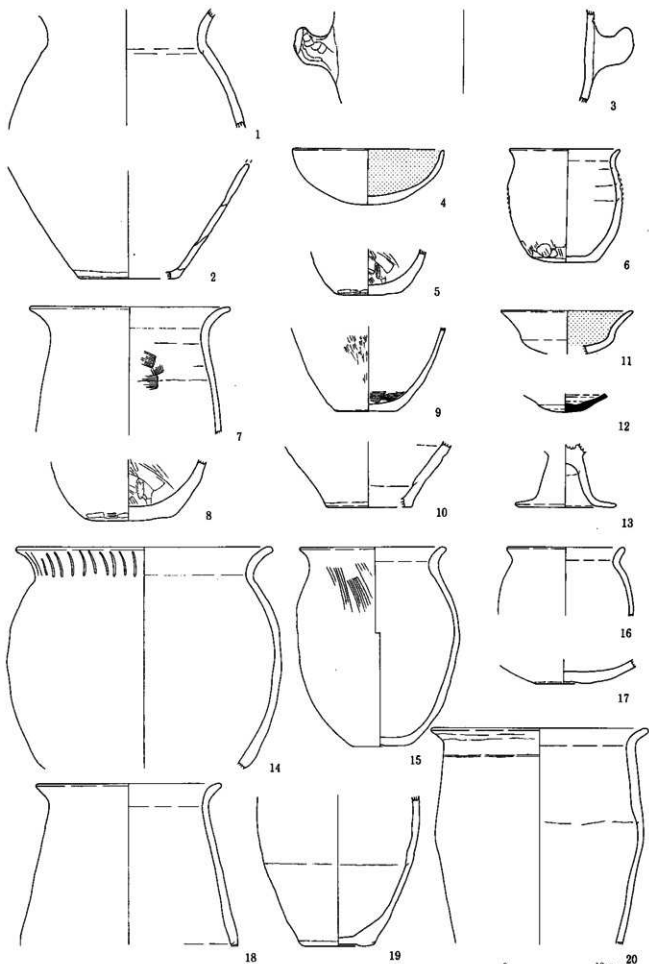


第59圖 SB出土遺物

1 ~ 5 SB01  
6 ~ 12 SB05

13 ~ 23 SB06  
24 ~ 27 SB13

28 ~ 29 SB15  
30 ~ 32 SB17



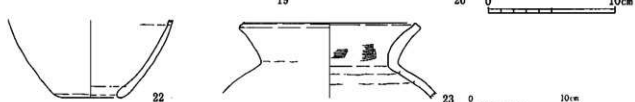
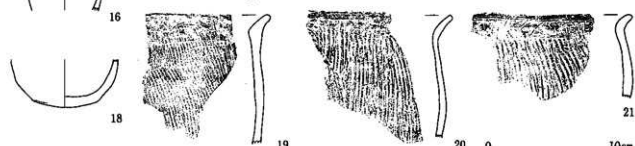
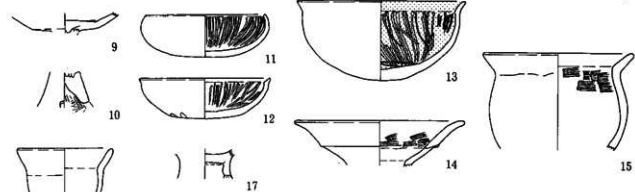
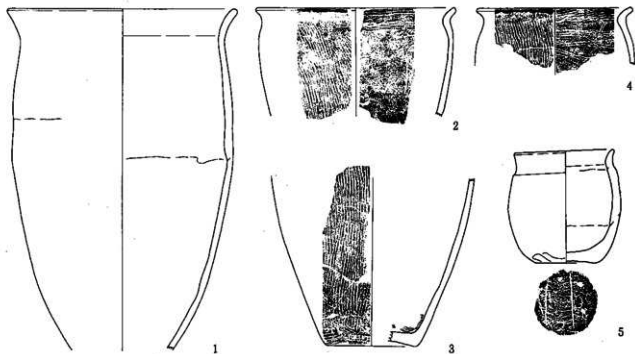
第60图 SB出土遺物

1~3 SB17  
4~10 SB19

11~20 SB20

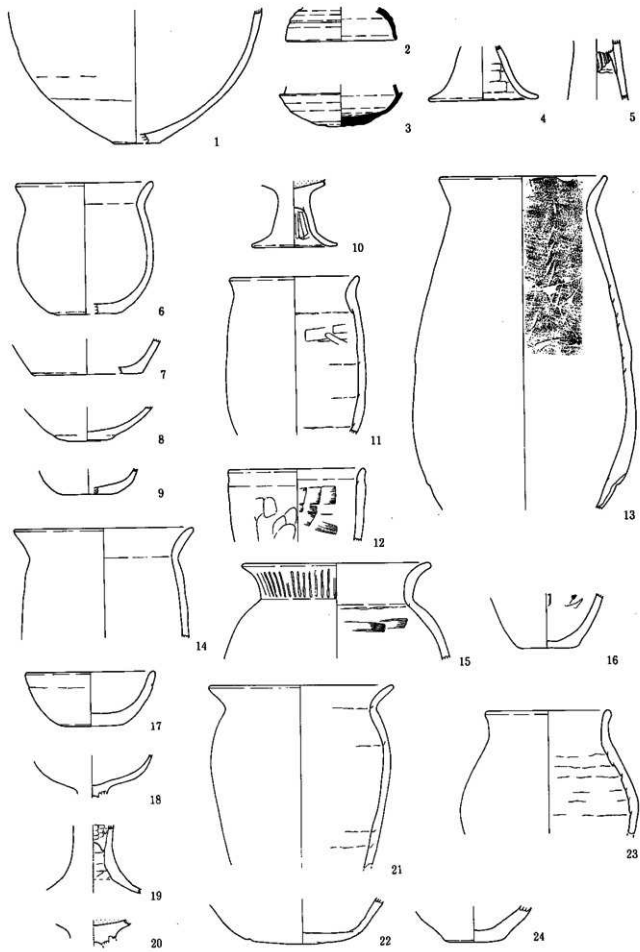
0 10cm





第61圖 SB出土遺物

1~4 SB20 9・10 SB25  
5~8 SB21 11~23 SB28

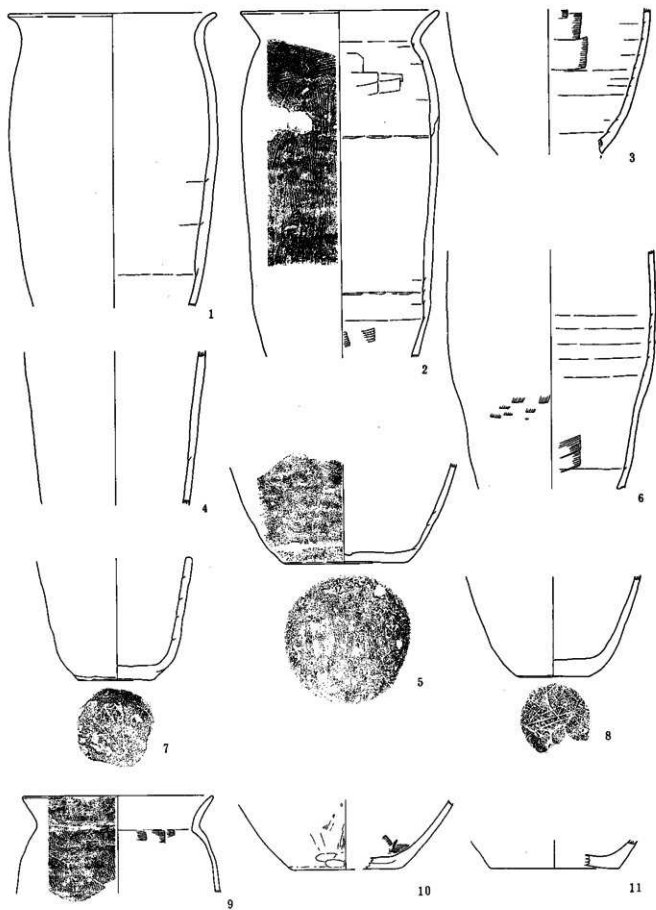


第62図 SB出土遺物

1 SB28  
2~9 SB30

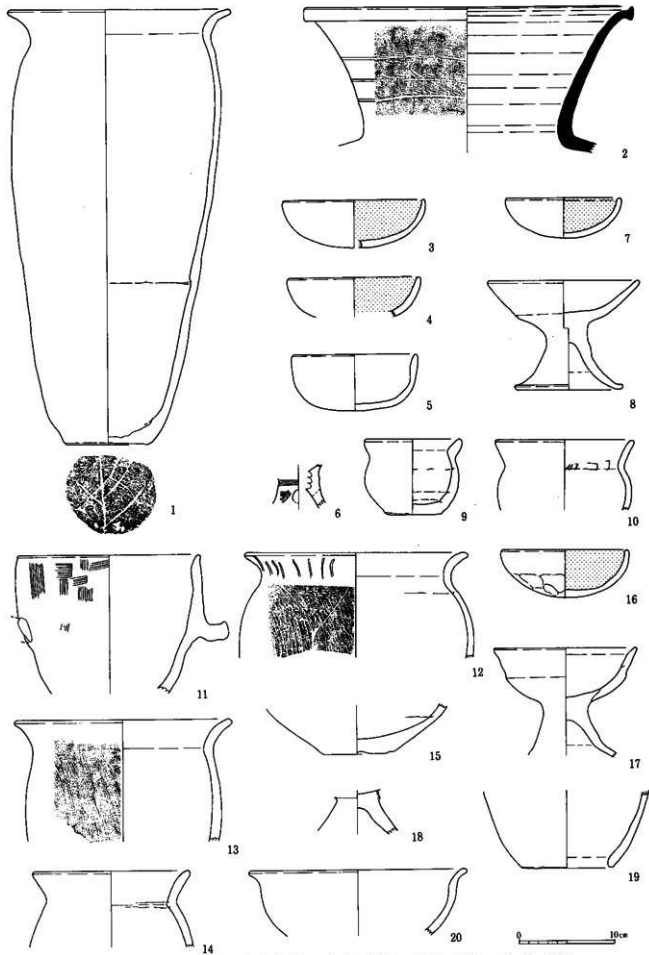
10~16 SB32  
17~24 SB34





第63圖 SB出土遺物

1 ~ 8 SB34  
9 ~ 11 SB36



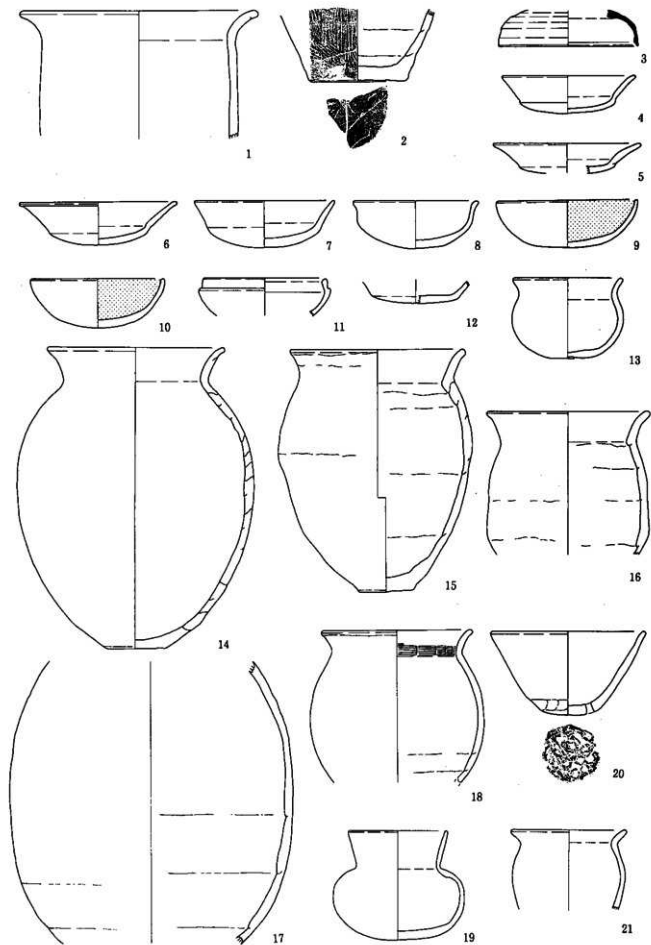
第64図 SB出土遺物

1・2 SB36  
3 SB38

4～6 SB48  
7～11 SB56

12・13 SB57  
14・15 SB59

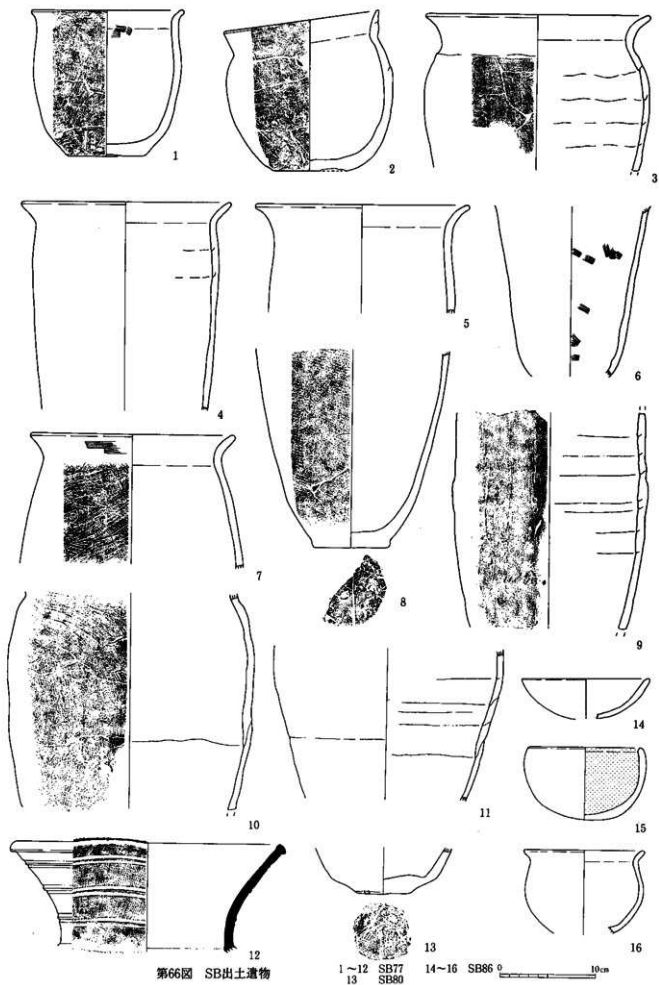
16～19 SB61  
20 SB68



第65圖 SB出土遺物

1・2 SB68  
3~20 SB75

21 SB77 0 10cm

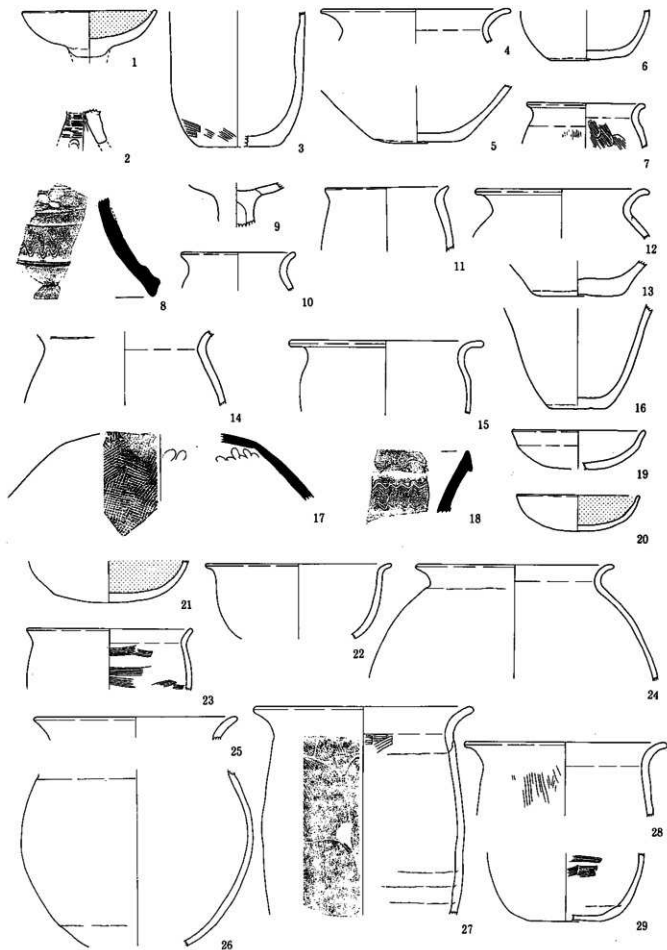


第66図 SB出土遺物

1~12 SB77  
13 SB80

14~16 SB86<sup>0</sup>

10cm

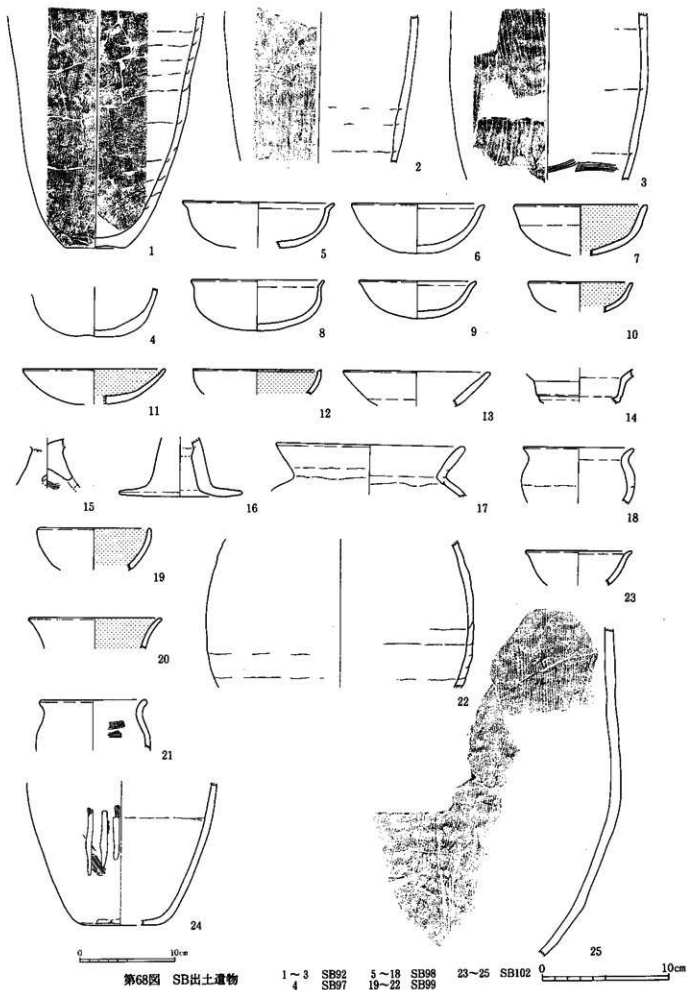


第67图 SB出土遺物

1~6 SB86  
7~8 SB90

9~18 SB91  
19~29 SB92

0 10cm



第68図 SB出土遺物

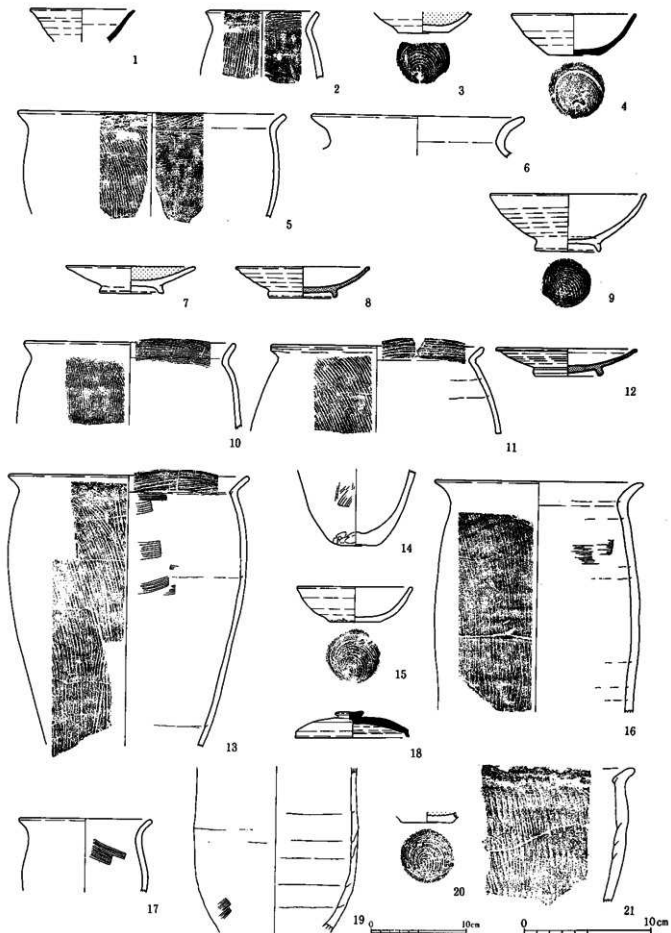
1~3 SB92  
4 SB97

5~18 SB98  
19~22 SB99

23~25 SB102

0 10cm





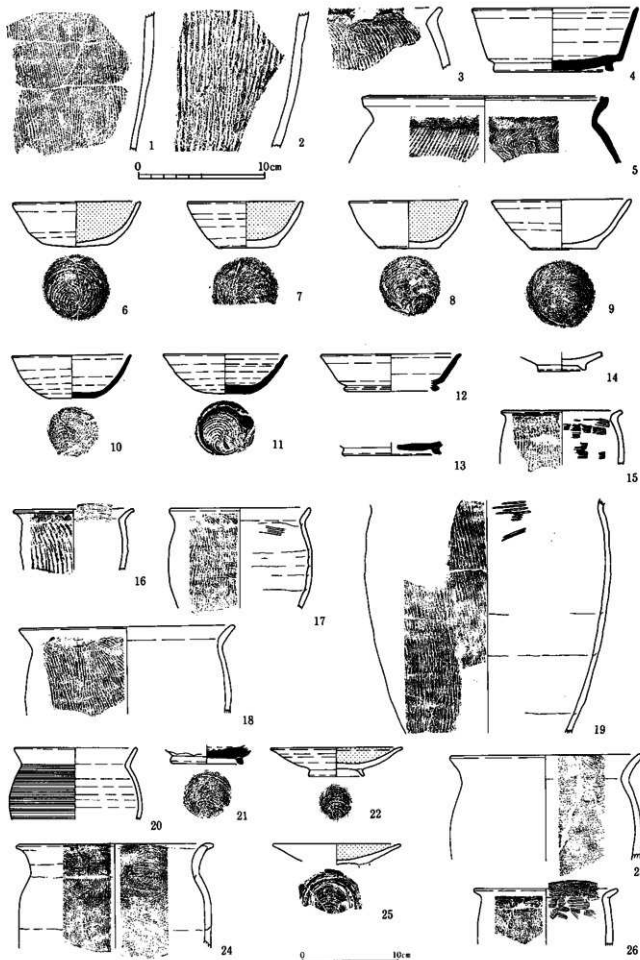
第69圖 SB出土遺物

1・2 SB07  
3~6 SB14

7~11 SB31  
12~14 SB33

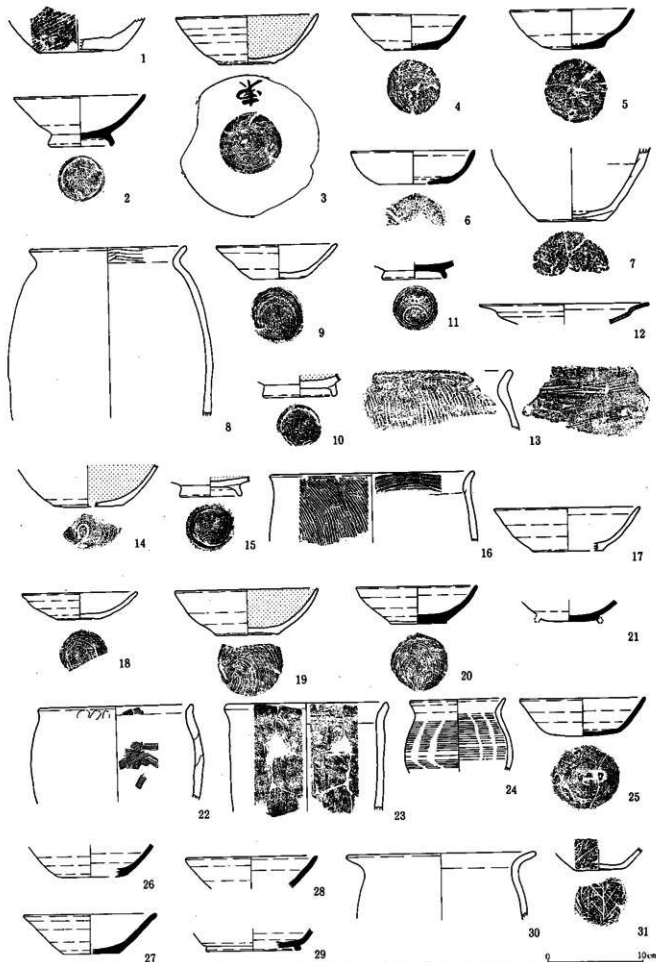
15~17 SB44  
18・19 SB51

20・21 SB60



第70図 SB出土遺物

1 SB60 4・5 SB65 21~24 SB67  
 2・3 SB62 6~20 SB66 25・26 SB73



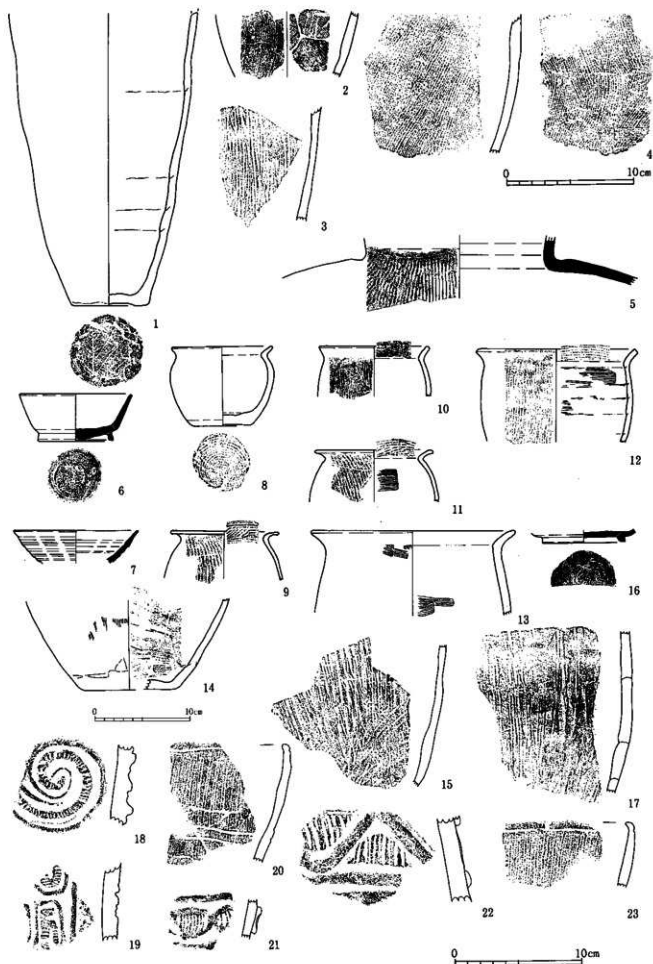
第71图 SB出土遺物

1 SB73  
2~8 SB74

9~13 SB79  
14~16 SB81

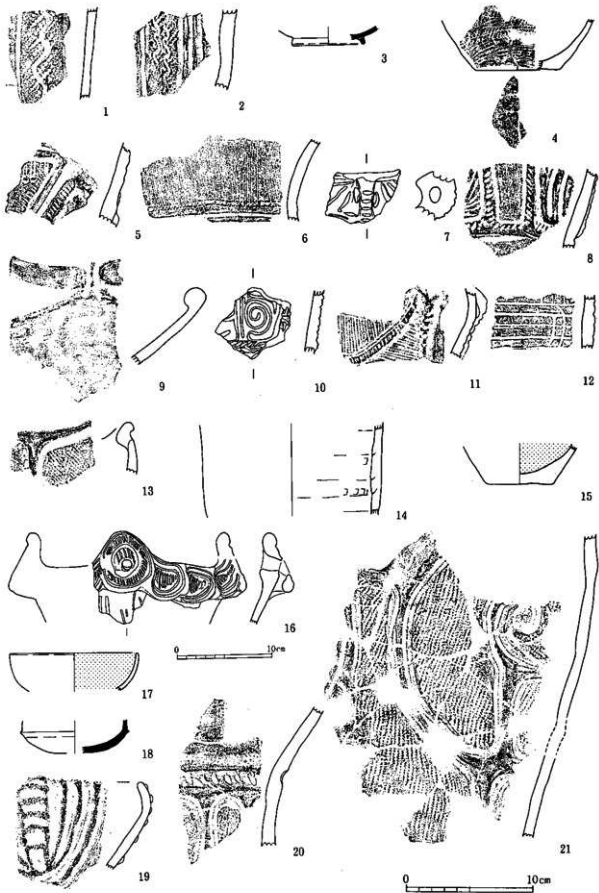
17~24 SB85  
25~31 SB87

0 10cm



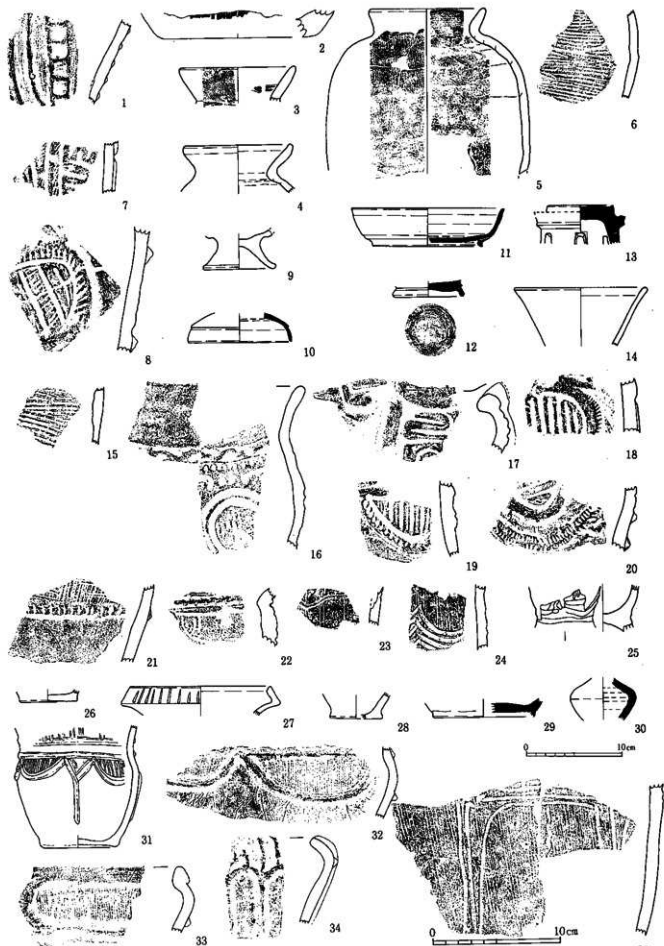
第72図 SB・SB時期外出土遺物

1~5 SB87 16・17 SB89  
 6~15 SB88 18~23 SB24 (時期外)



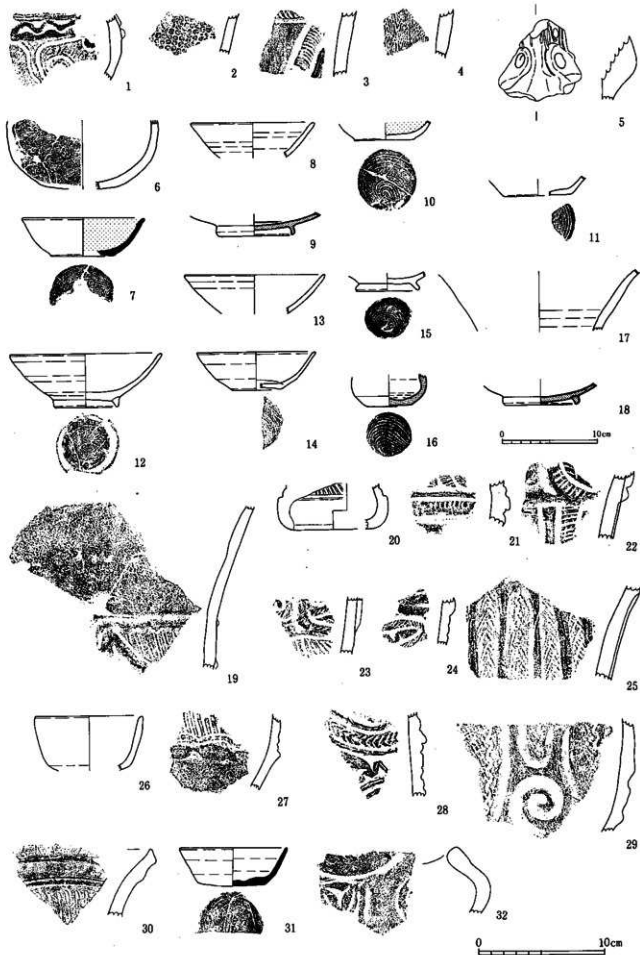
第73图 SB时期外出土遺物

1-4 SB24 10-13 SB49 15 SB02 19-21 SB18  
 5-9 SB43 14 SB69 16-18 SB10



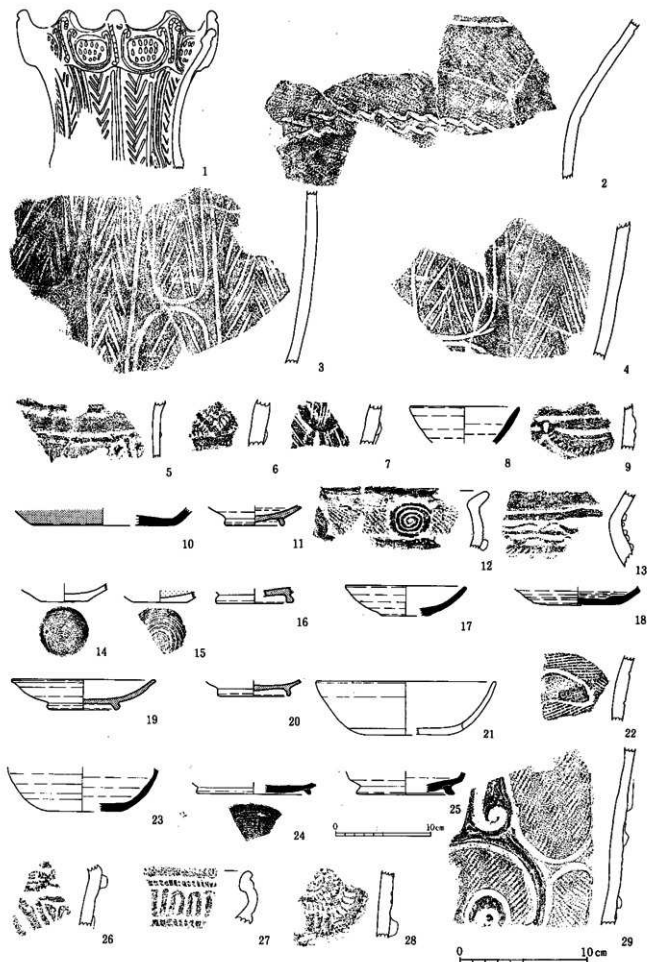
第74图 SB时期外出土遺物

1	SB18	6	SB42	11・12	SB76	15	SB93	31~35	SB17	35
2	SB35	7~9	SB46	13	SB82	16	SB96			
3~5	SB37	10	SB55	14	SB84	17~30	SB01			



第75圖 SB時期外出土遺物

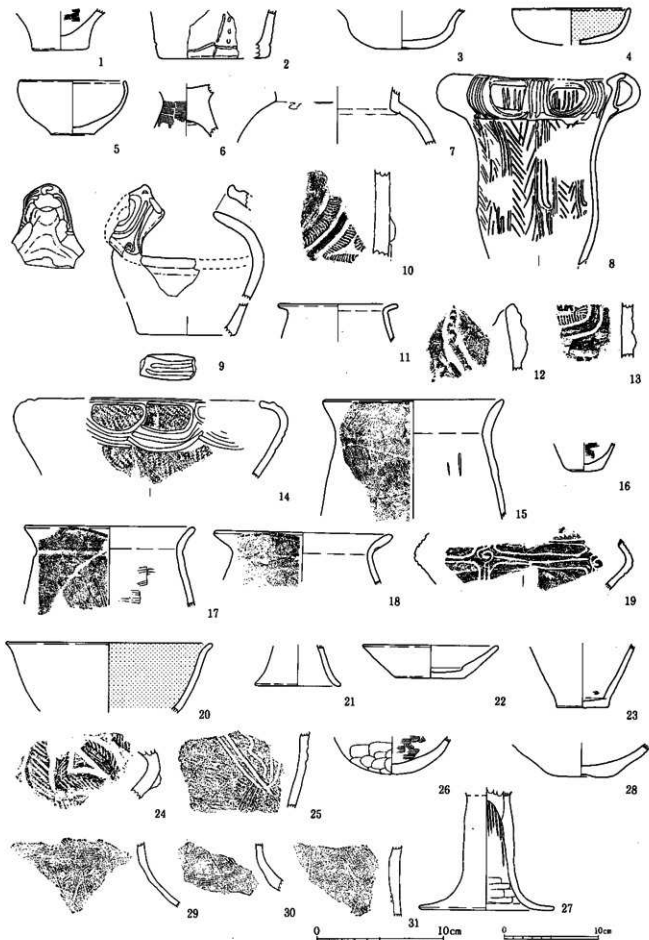
1 SB17 12~18 SB28 27~31 SB34  
 2~11 SB20 19~26 SB32 32 SB36



第76图 SB时期外出土遺物

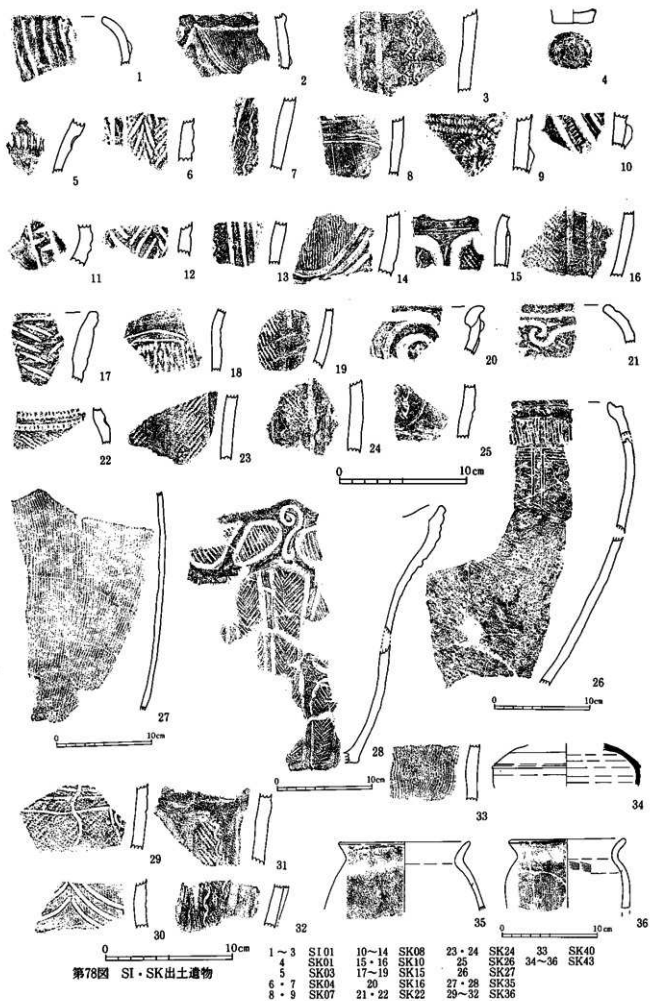
1~4	SB36	9~11	SB48	14~20	SB75	22~25	SB91
5~8	SB38	12~13	SB61	21	SB86	26~29	SB92



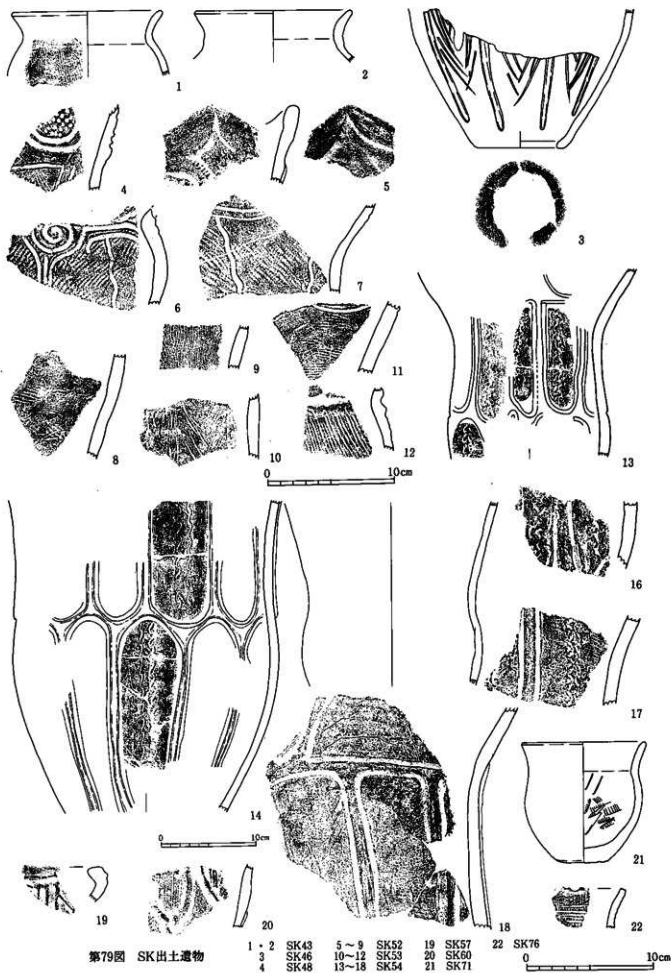


第77図 SB・SB時期外・ST出土遺物

- |               |                 |            |
|---------------|-----------------|------------|
| 1 SB92(時期外)   | 10 SB66(時期外)    | 19~21 SB27 |
| 2 SB99(時期外)   | 11 SB85(時期外)    | 22・23 SB41 |
| 3~7 SB31(時期外) | 12・13 SB88(時期外) | 24~27 SB52 |
| 8・9 SB33(時期外) | 14~18 SB11      | 28 SB54    |
|               |                 | 29~31 ST01 |



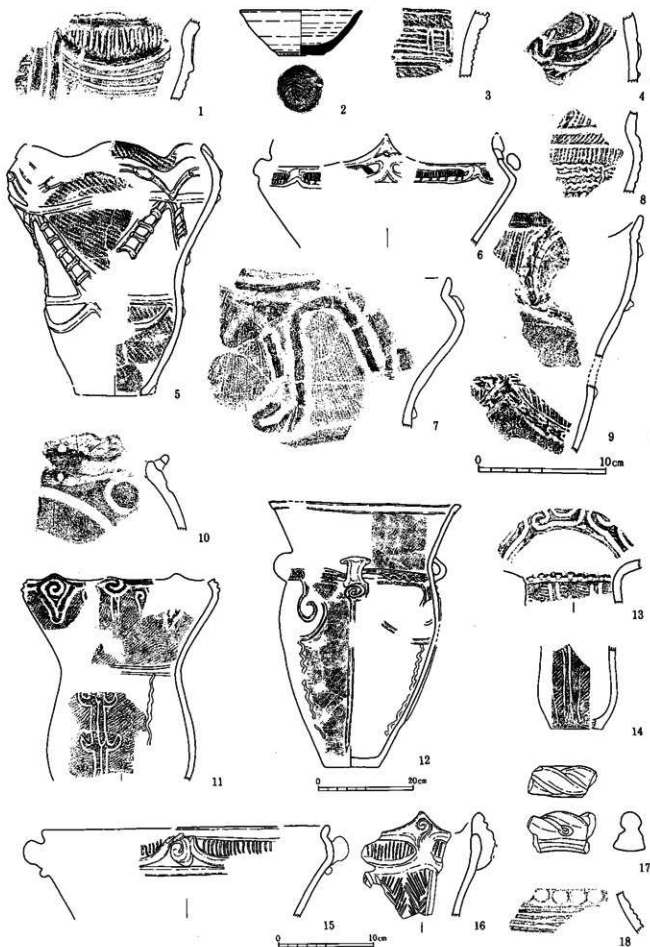
第78図 SI・SK出土遺物



第79圖 SK出土遺物

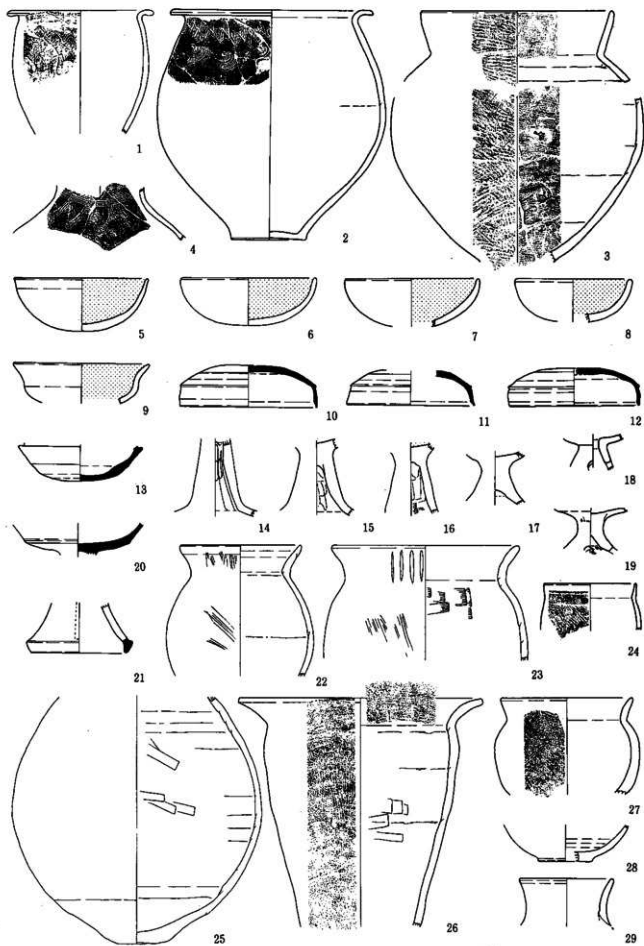
1・2	SK43	5~9	SK52	19	SK57	22	SK76
3	SK46	10~12	SK53	20	SK60		
4	SK48	13~18	SK54	21	SK71		

0 10cm



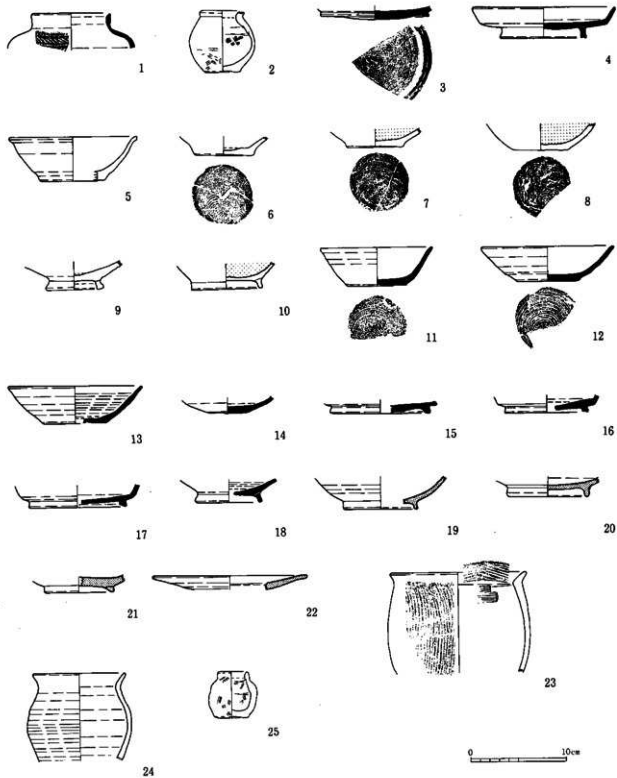
第80図 SK・遺構外出土遺物

1・2 SK90  
3~18 遺構外

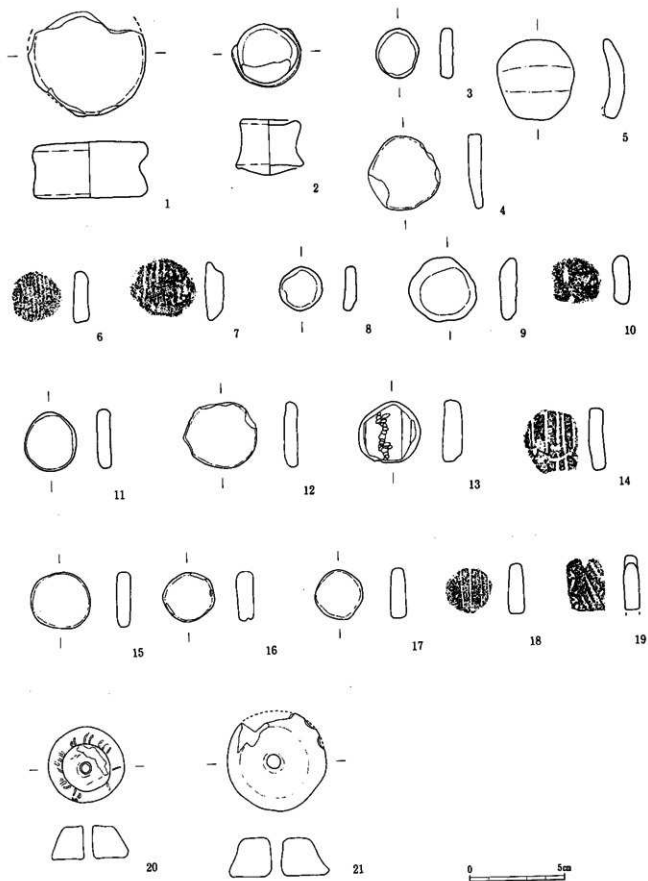


第81圖 遺構外出土遺物

0 10cm



第82図 遺構外出土遺物



第83圖 土製品

- |     |      |      |            |       |            |
|-----|------|------|------------|-------|------------|
| 1・2 | 遺構外  | 8~11 | 遺構外        | 16    | SB56 (時期外) |
| 3   | SB40 | 12   | SB42 (時期外) | 17・18 | SD01 (時期外) |
| 4・5 | SB76 | 13   | SB45 (時期外) | 19    | SB83 (時期外) |
| 6・7 | SB32 | 14   | SB05 (時期外) | 20    | SB01       |
|     |      | 15   | SB48 (時期外) | 21    | SB68       |



第84図 土偶

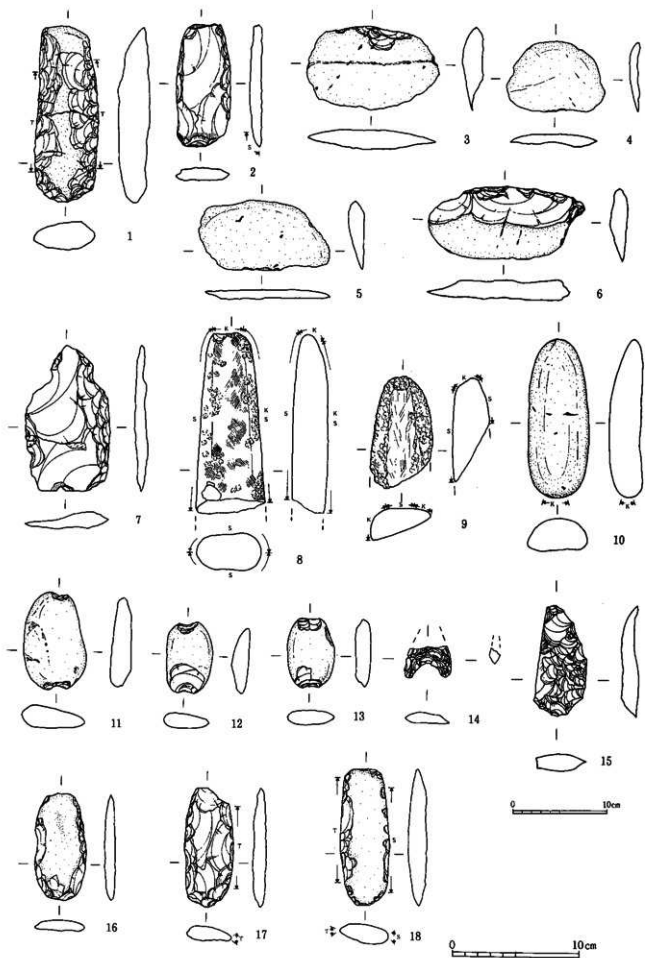
1 SB24  
 2~4 SB40  
 5 SB43  
 6 SB31 (時期外)

7  
 8~10 造構外

SB99 (時期外)

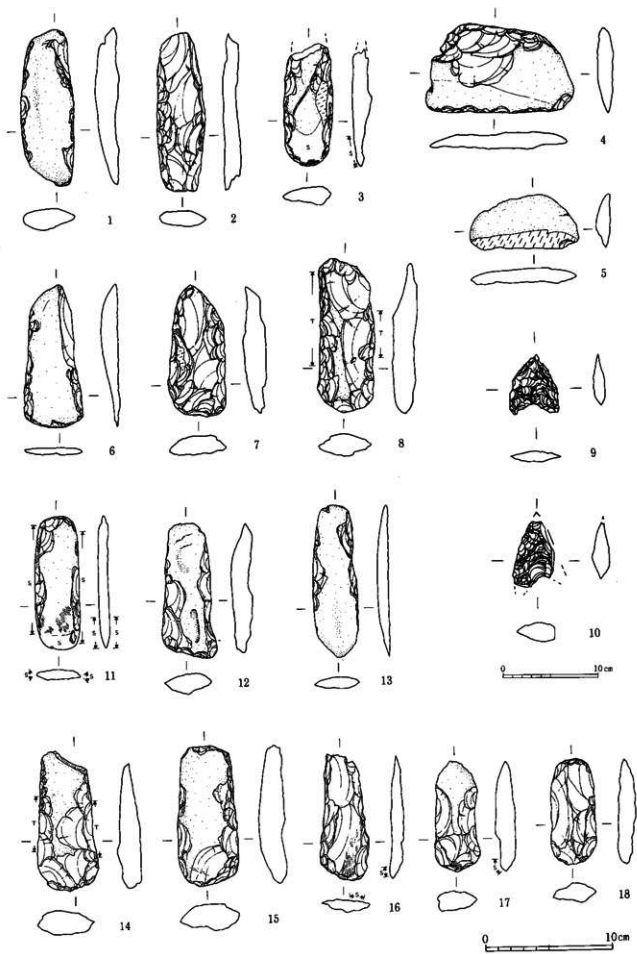
0 5cm





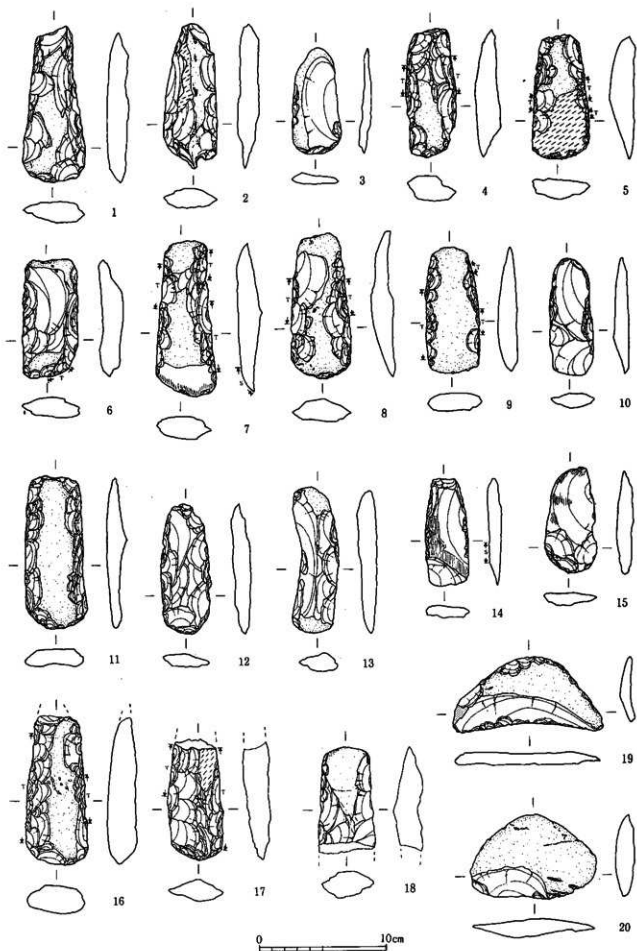
第85圖 SB出土遺物

1~15 SB24  
16~18 SB26



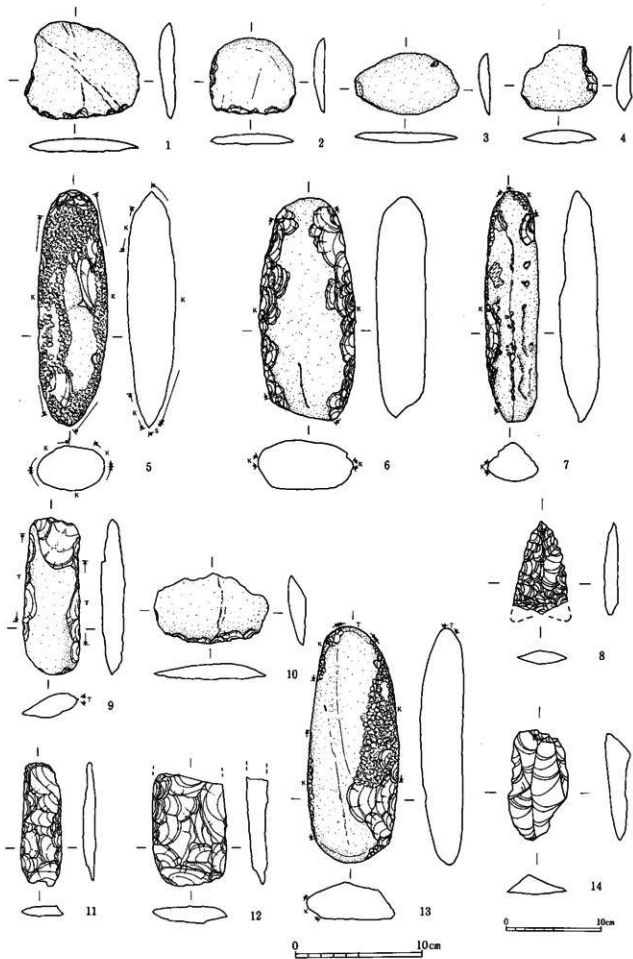
第86図 SB出土遺物

1 ~ 5 SB26  
 6 ~ 10 SB40  
 11 ~ 18 SB43



第87图 SB出土遺物

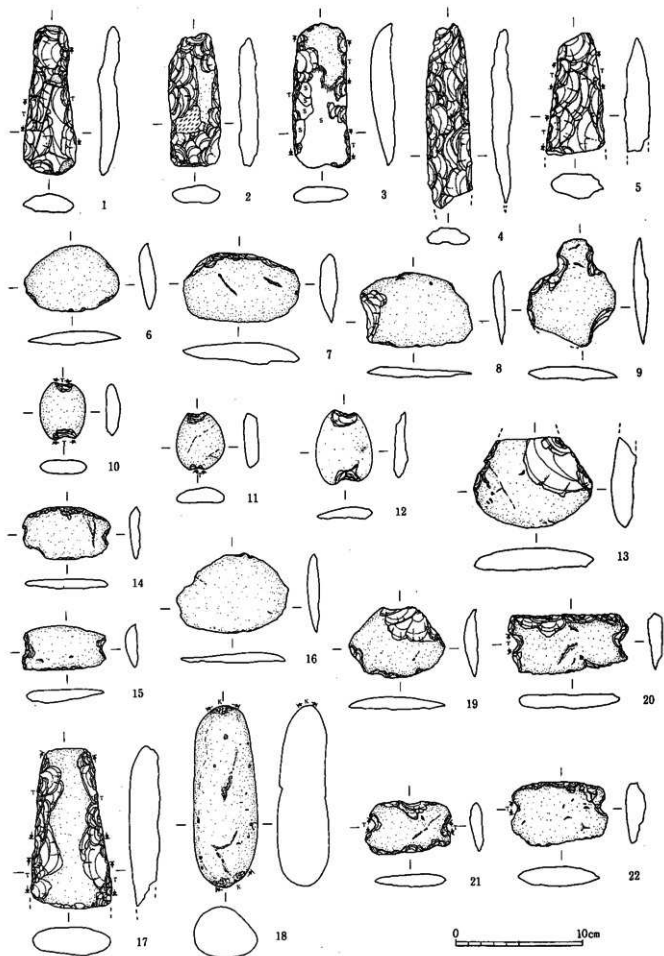
SB43



第88圖 SB出土遺物

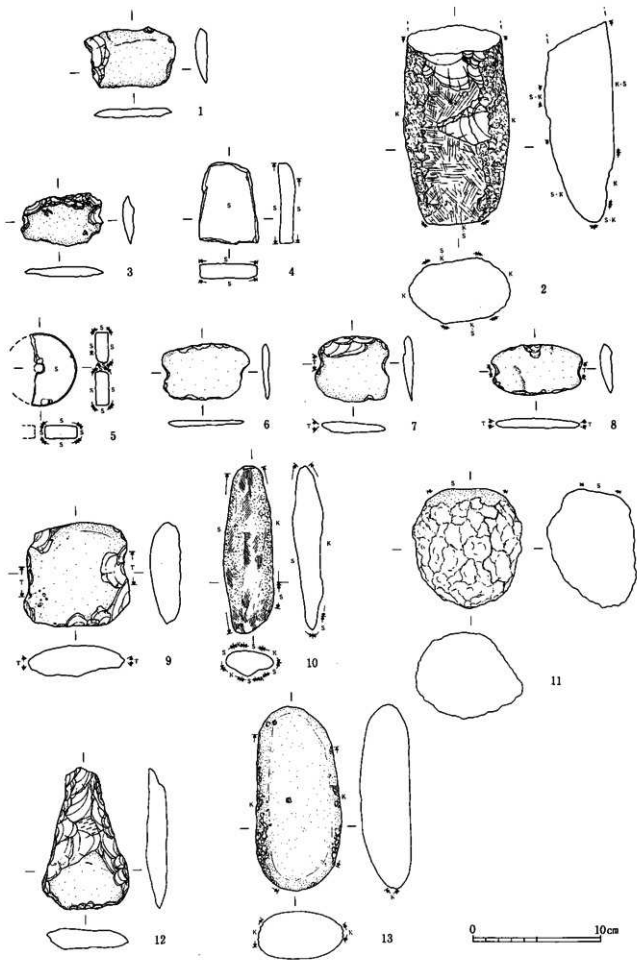
1~8 SB43  
9・10 SB47

11~14 SB49



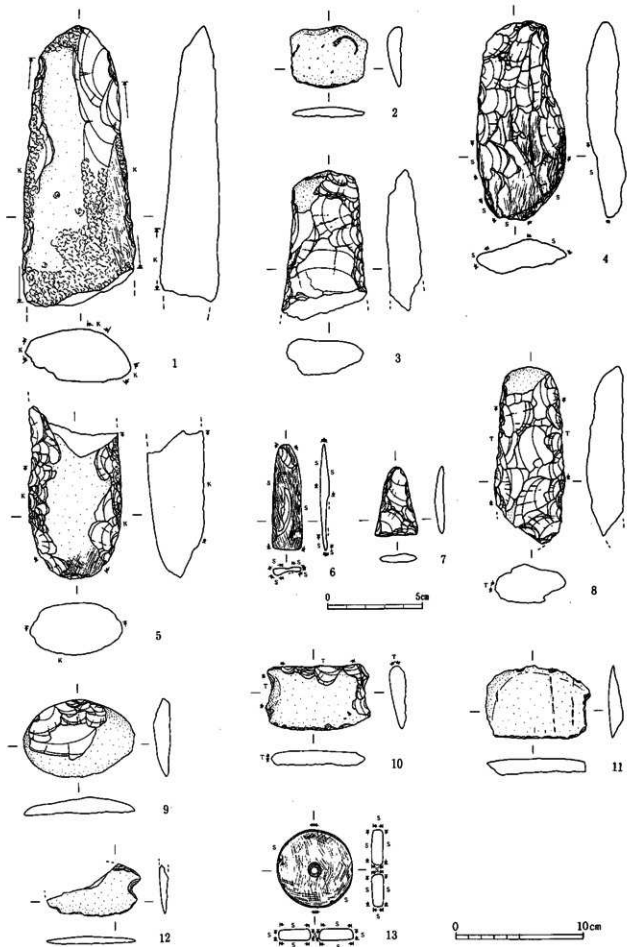
第89圖 SB出土遺物

1~13 SB101 17~18 SB18  
 14~16 SB10 19~22 SB35



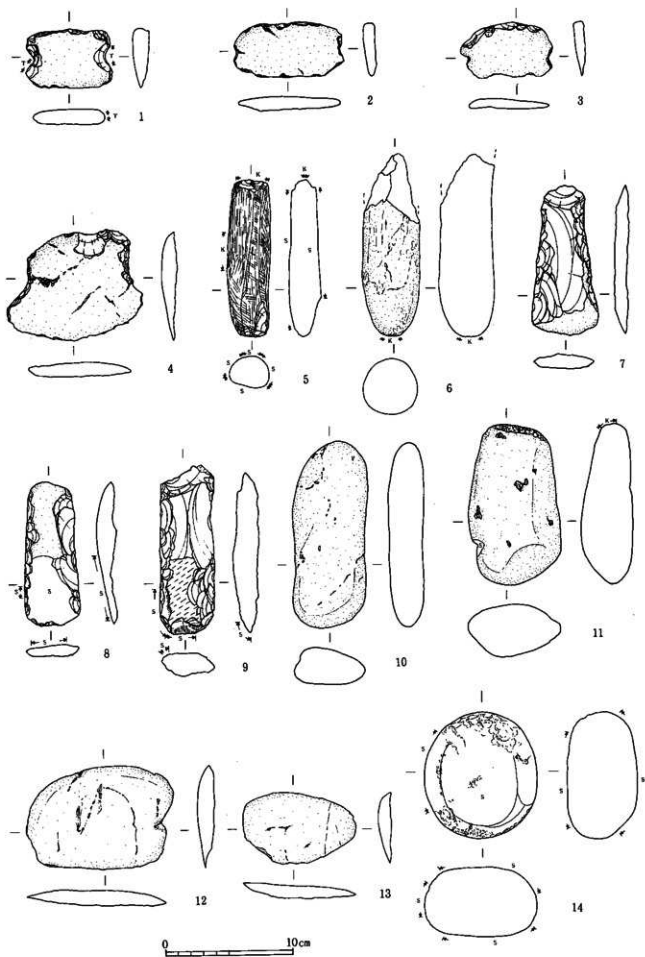
第90图 SB出土遺物

1・2 SB37  
 3・5 SB42  
 6~11 SB45  
 12・13 SB46



第91圖 SB出土遺物

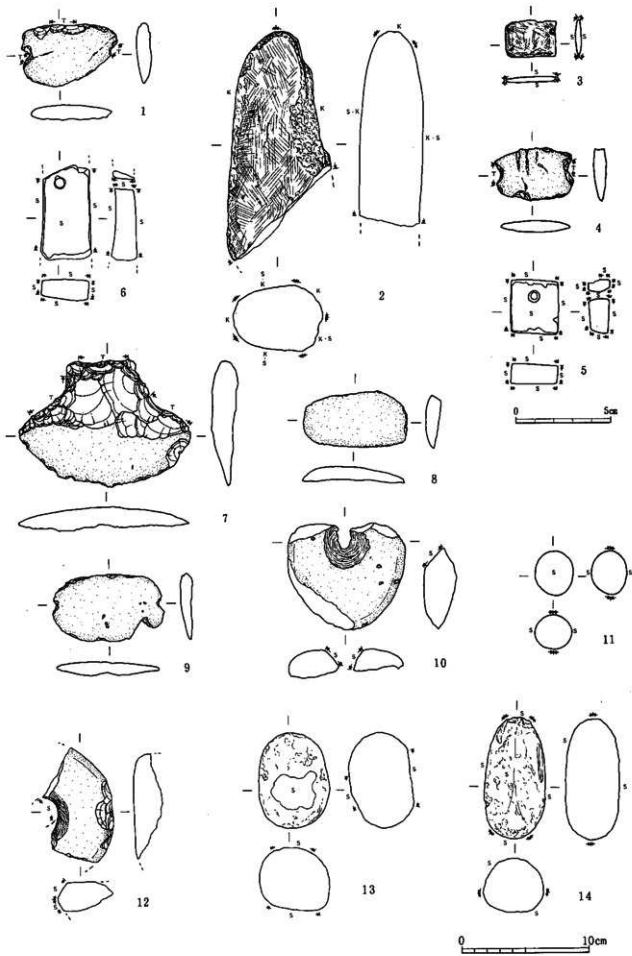
1 SB50    3~7 SB76    10~13 SB83  
 2 SB72    8~9 SB82



第92図 SB出土遺物

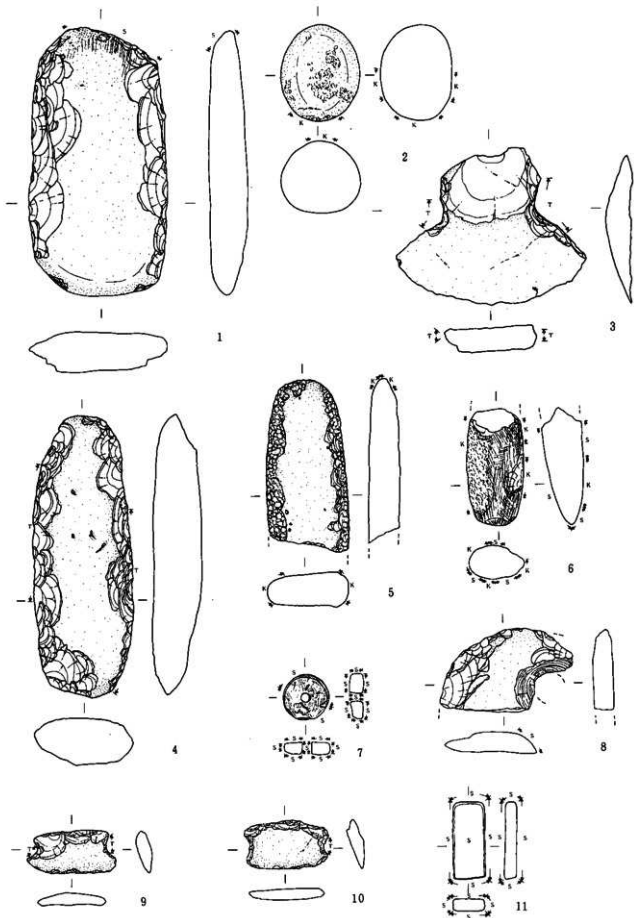
1~6 SB84      9 SB96      12・13 SB06  
 7・8 SB93    10・11 SB01    14 SB15





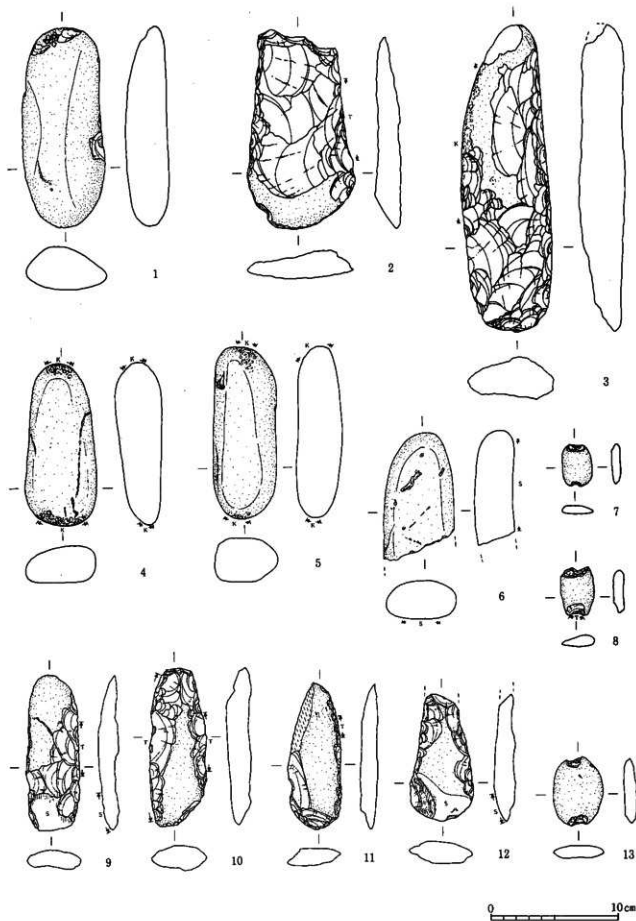
第93圖 SB出土遺物

- |     |      |   |      |      |      |       |      |
|-----|------|---|------|------|------|-------|------|
| 1・2 | SB28 | 5 | SB32 | 7・8  | SB38 | 12    | SB61 |
| 3・4 | SB30 | 6 | SB36 | 9~11 | SB48 | 13・14 | SB68 |



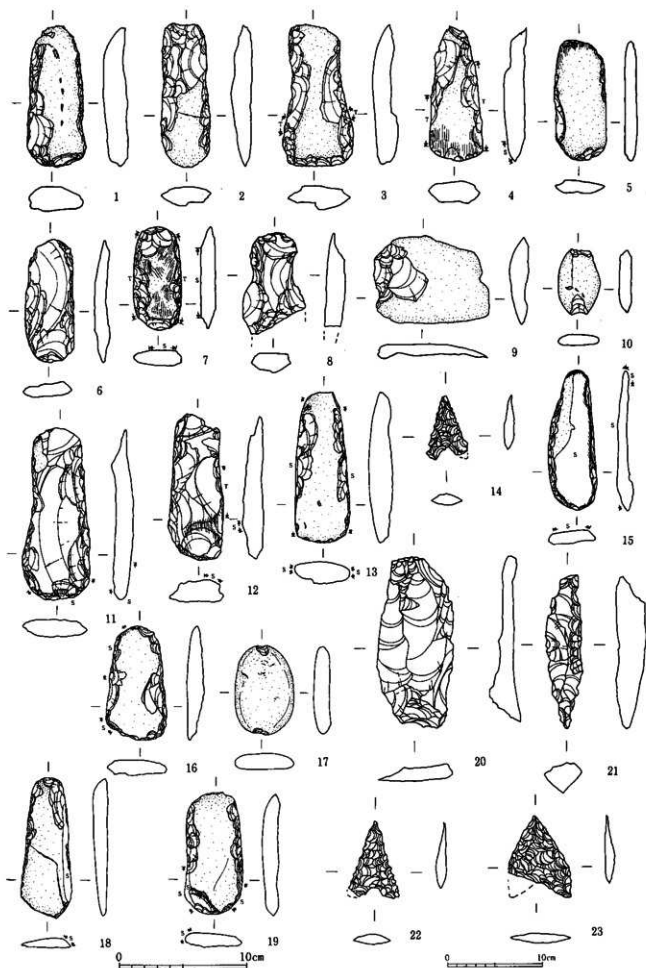
第94圖 SB出土遺物

1 SB75	3 SB86	7・8 SB92	11 SB99
2 SB78	4~6 SB91	9・10 SB98	



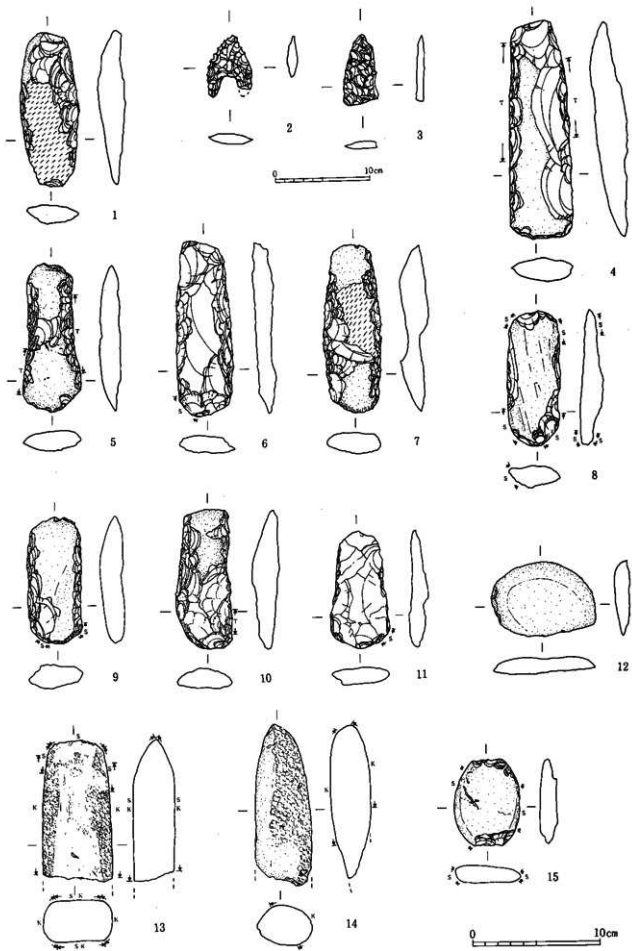
第95図 SB・SB時期外出土遺物

1 SB98      3 SB102      5・6 SB87      9~13 SB35 (時期外)  
 2 SB100    4 SB14      7・8 SB10 (時期外)



第96図 SB時期外出土遺物

1~10 SB45  
11 SB53  
12~14 SB55  
15~17 SB82  
18~23 SB84

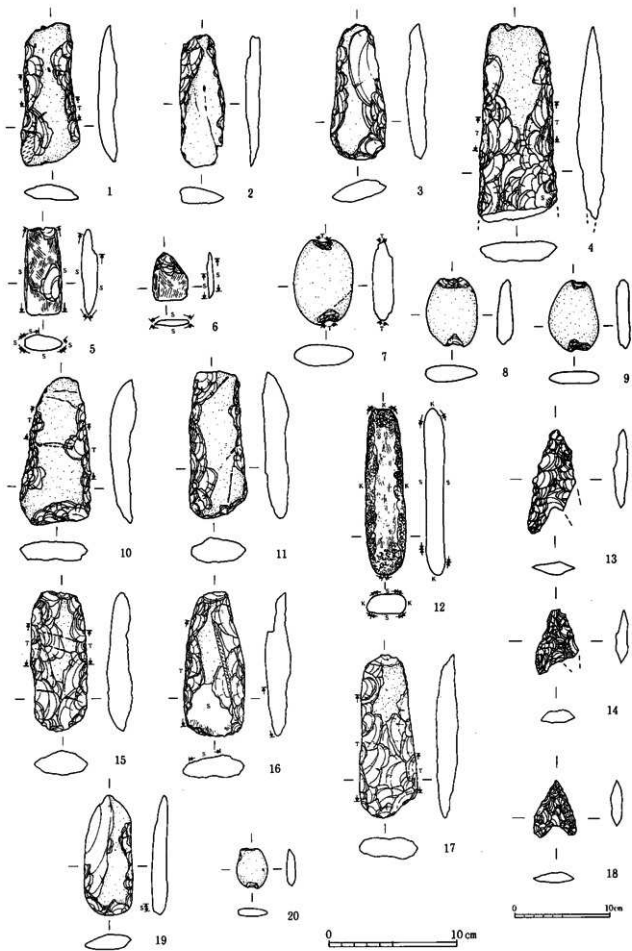


第97図 SB時期外出土遺物

1・2 SB95  
3 SB01

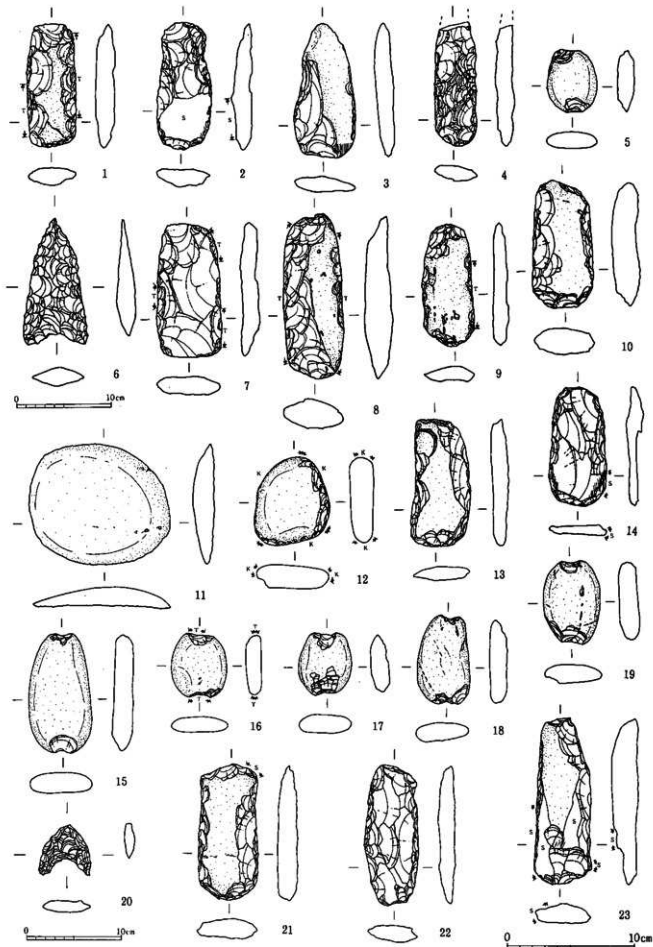
4 SB06  
5 SB13

6~15 SB17



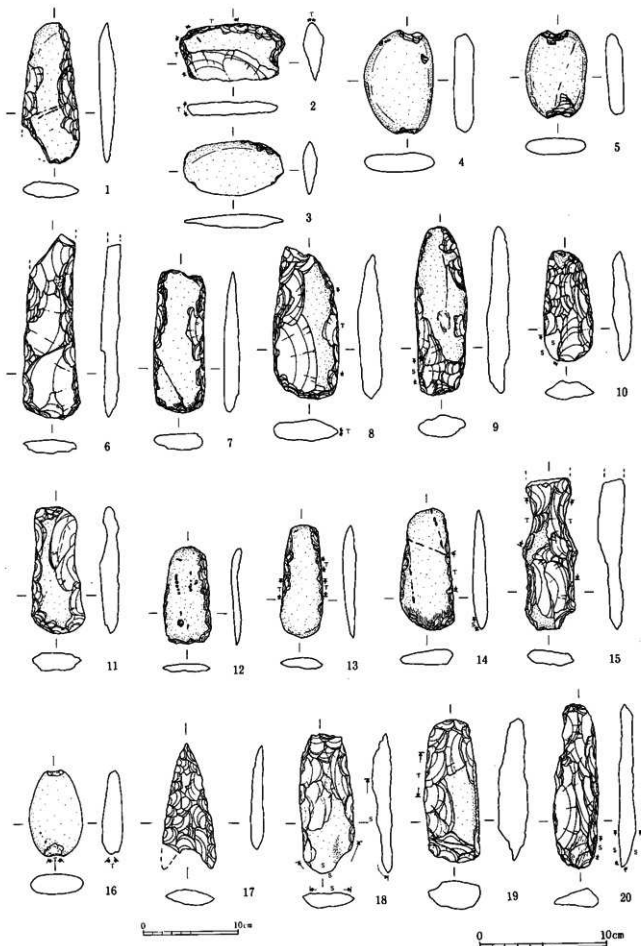
第98図 SB時期外出土遺物

1	SB19	4~6	SB25	10~14	SB30	19~20	SB37
2・3	SB20	7~9	SB28	15~18	SB36		



第99圖 SB時期外出土遺物

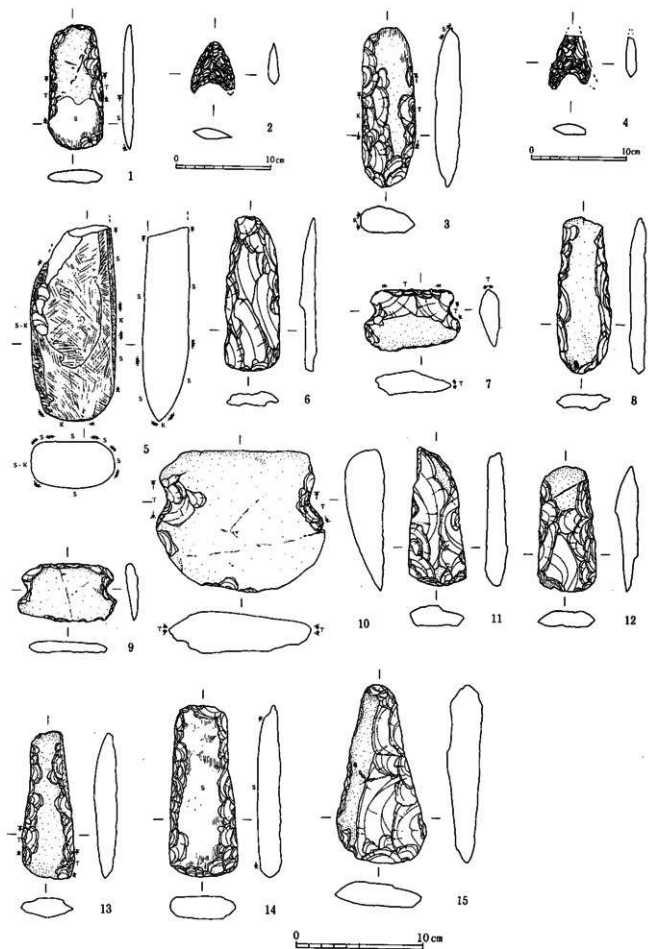
1~6 SB38 10~12 SB57 14~20 SB68  
 7~9 SB48 13 SB61 21~23 SB75



第100圖 SB時期外出土遺物

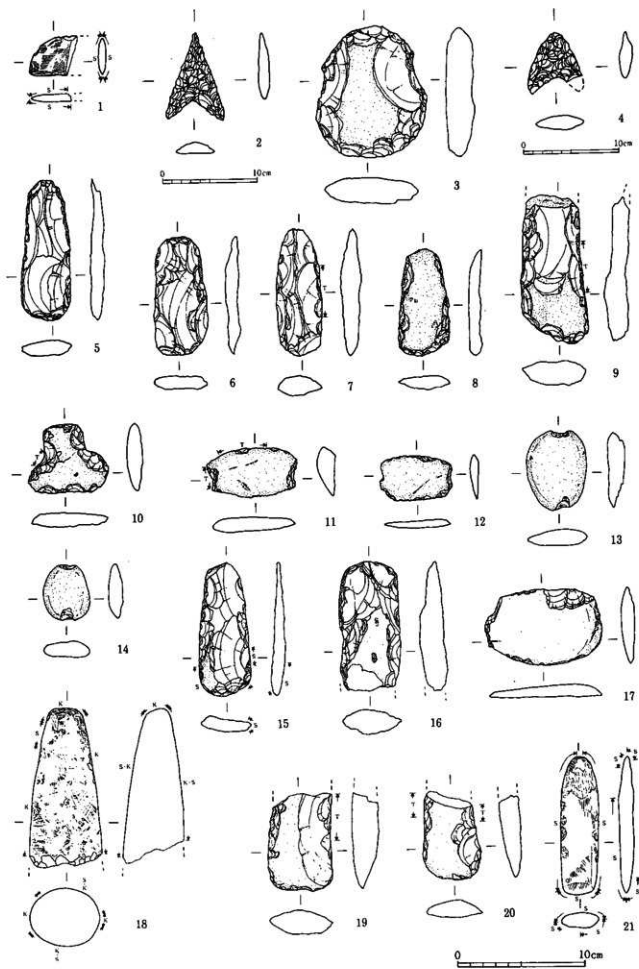
1~5 SB75 8~10 SB91 12~17 SB98 20 SB100  
 6・7 SB77 11 SB92 18・19 SB99





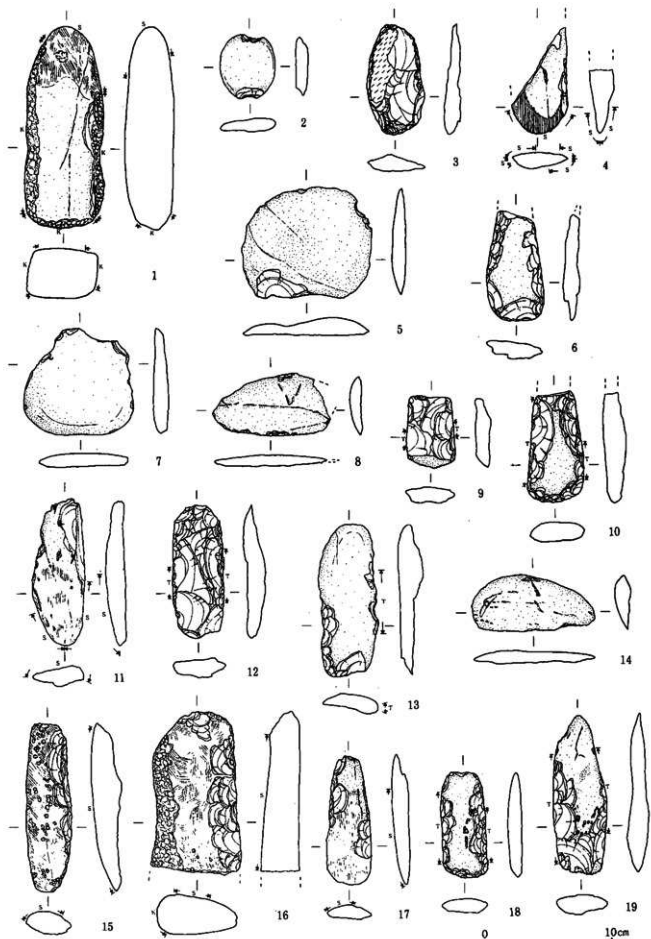
第101圖 SB時期外出土遺物

1 SB14    3・4 SB33    6・7 SB79  
 2 SB31    5 SB77    8-10 SB85    11-15 SB87



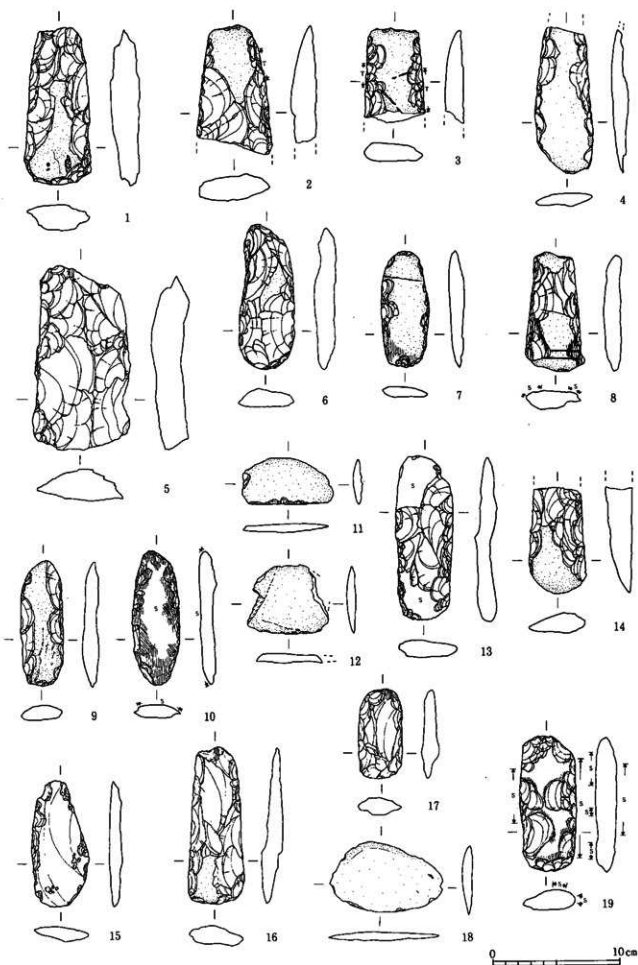
第102図 SB・SI出土遺物

1・2 SB11 4 SB39 15~18 SB52  
 3 SB27 5~14 SB41 19~21 SI01



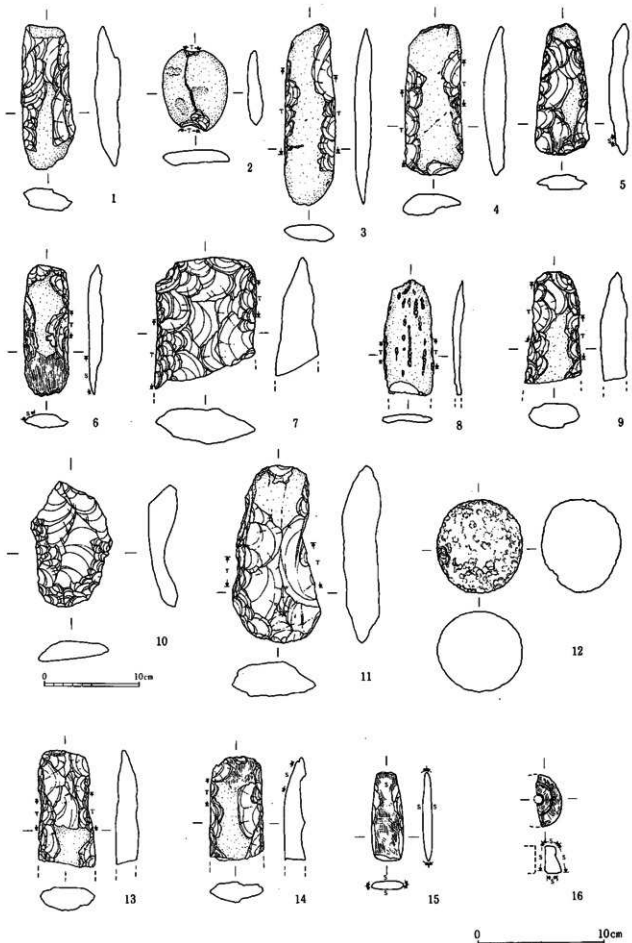
第103图 SI·SK出土遺物

- |     |      |       |      |   |      |      |      |    |      |
|-----|------|-------|------|---|------|------|------|----|------|
| 1·2 | SI01 | 4     | SK02 | 6 | SK05 | 8    | SK09 | 11 | SK15 |
| 3   | SK01 | 5     | SK04 | 7 | SK06 | 9·10 | SK12 | 12 | SK16 |
| 13  | SK20 | 15·16 | SK28 |   |      |      |      |    |      |
| 14  | SK26 | 17    | SK33 |   |      |      |      |    |      |
|     |      | 18·19 | SK35 |   |      |      |      |    |      |



第104図 SK出土遺物

1~4 SK35 13 SK37 15 SK46 19 SK51  
 5~12 SK36 14 SK42 16~18 SK47



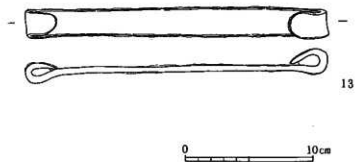
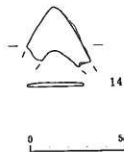
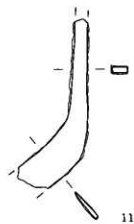
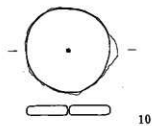
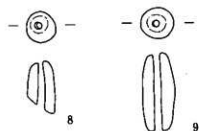
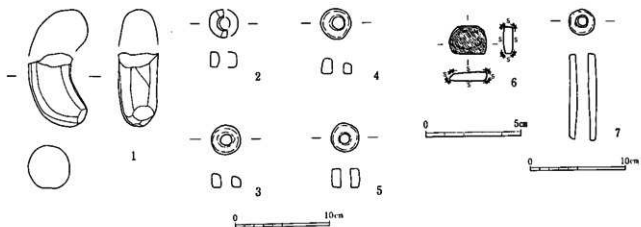
第105図 SK・遺構外出土遺物

1・2 SK53  
3-9 SK54

10 SK57  
11 SK63

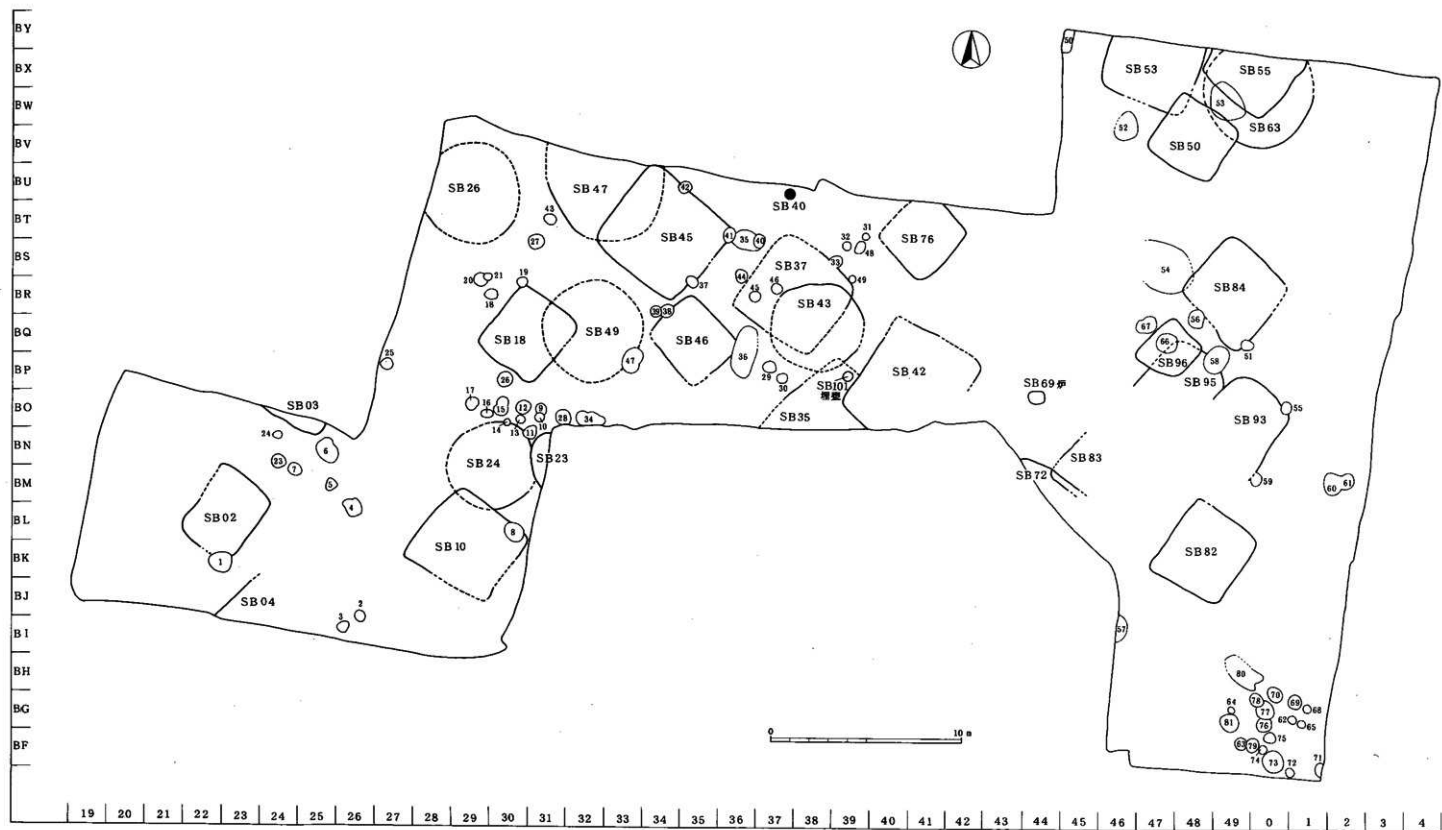
12 SK64  
13-15 SK84

16 遺構外



第106図 石製品・鉄製品

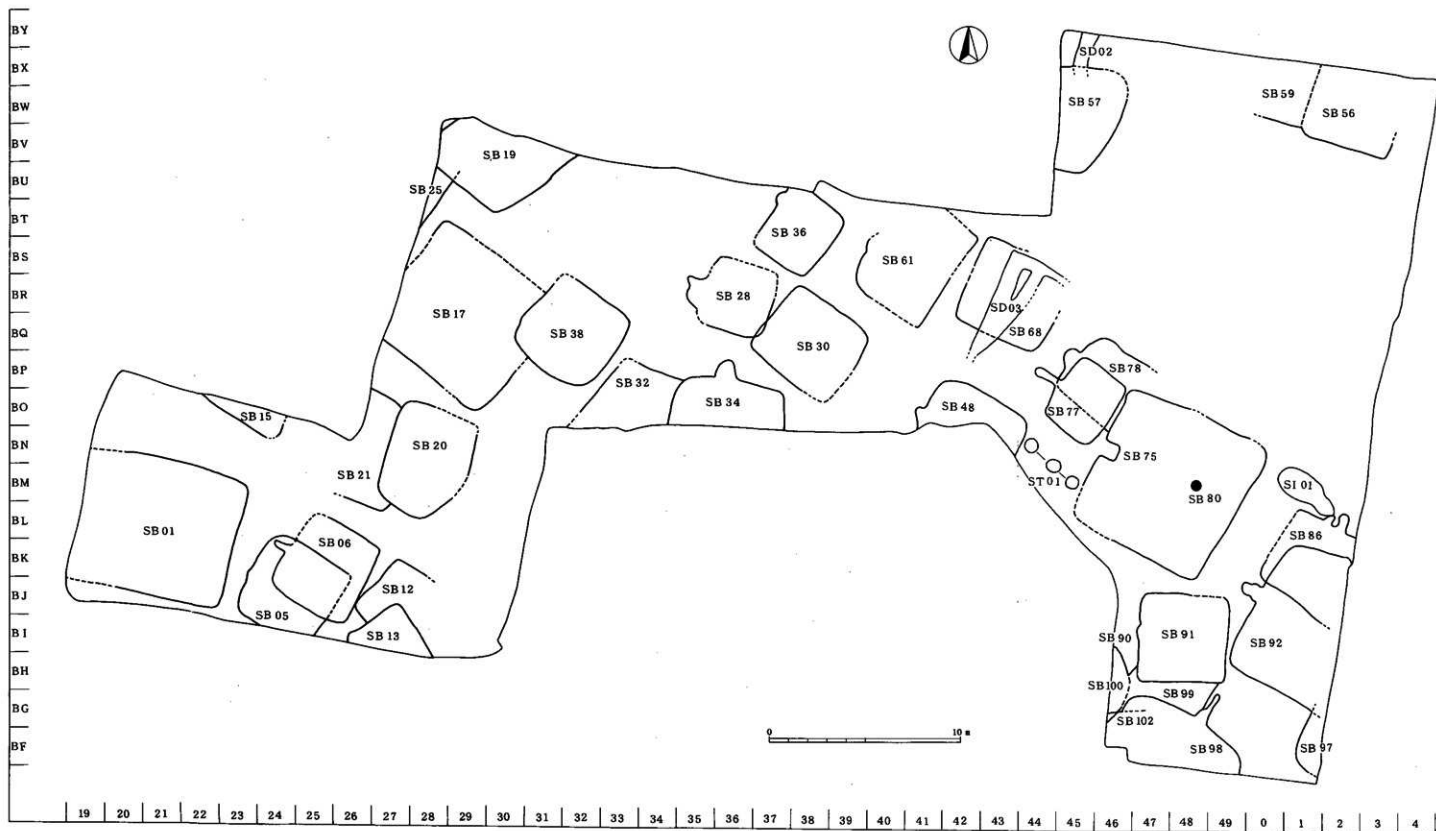
1・2 SB01 5 SB30 7 SB85 10 SB77 12・13 SB87  
 3・4 SB05 6 SB98 8・9 遺構外 11 SB14 14 遺構外



第107図 妙前遺跡 縄文・弥生時代SB,SK 分布図

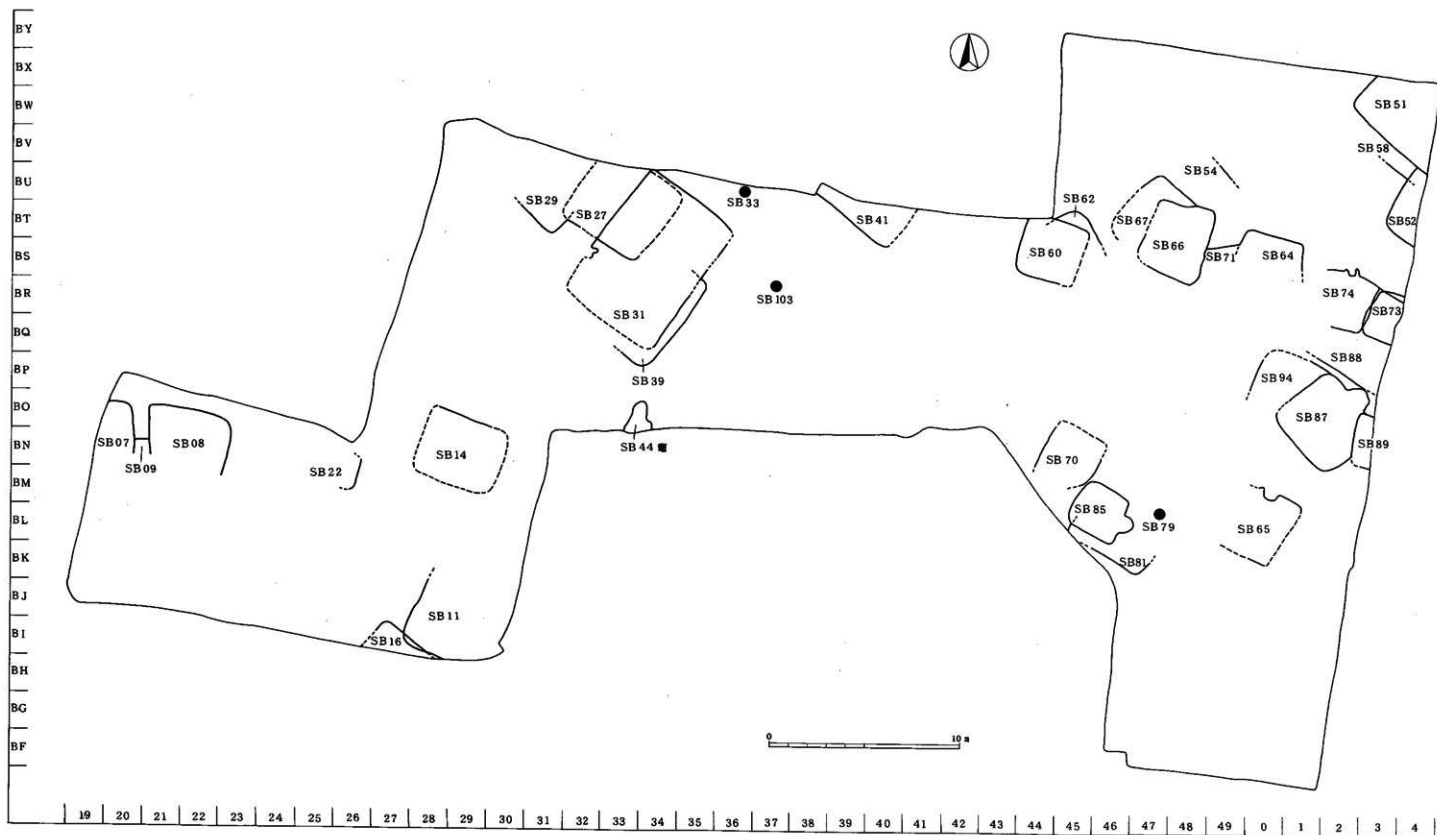






第108圖 妙前遺跡 古墳時代SB, ST, SI, SD 分布圖





第109図 妙前遺跡 奈良・平安時代SB、時代不明SB 分布図



## 写真図版





道跡遠景



調査区全景



調査区 (部分)



調査区 (部分)





調査区（部分）



調査区（部分）



SB26



SB26 埋壘



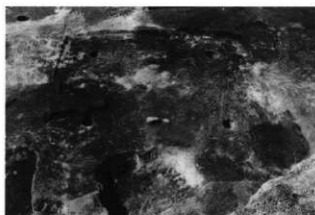
SB43 埋壘



SB43 石址



SB49



SB10



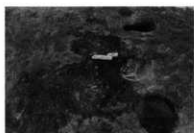
SB10 炉址



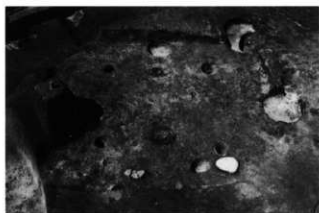
SB45



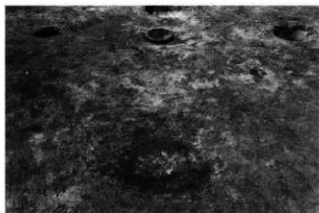
SB45 跡址



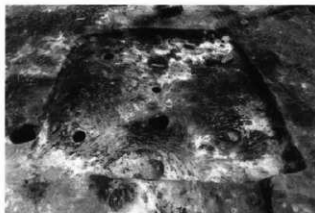
SB45 跡址



SB46



SB46 跡址



SB82



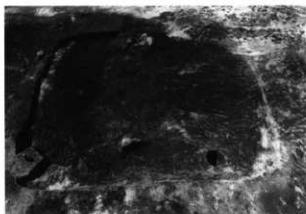
SB82 カ址



SB01



SB01 カマド址



SB06



SB06 カマド址



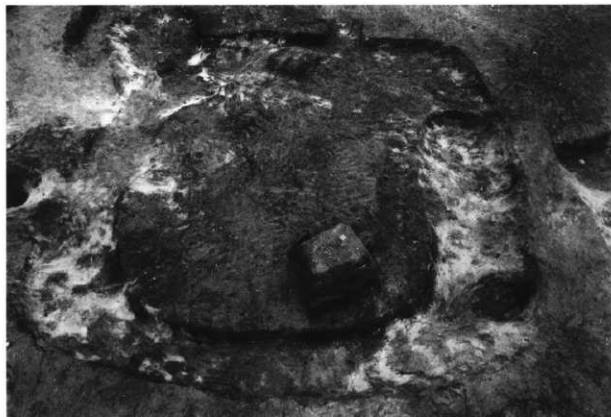
SB17



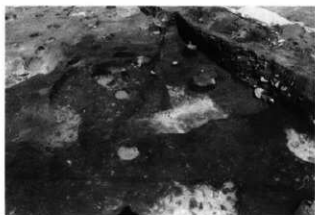
SB34



SB34 カマド址



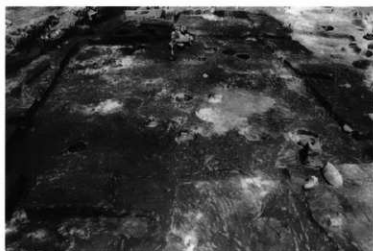
SB38



SB61



SB61 カマド址



SB75



SB75 カマド址



SB75 遺物





SB77



SB77 カマド址



SB86



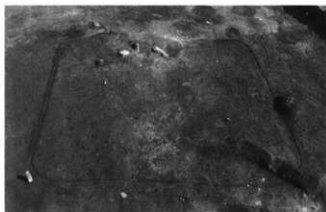
SB86 カマド址



SB91



SB91 カマド址



SB14



SB14 カマド址



SB74



SB74 カマド址



SB74 カマド址



SB74 カマド址



SB85



SB85 カマド址



測量スナップ



重機作業スナップ



調査スナップ



調査スナップ

# 報告書抄録

ふりがな	みょうぜんいせき							
書名	妙前遺跡							
副書名								
巻次								
シリーズ名								
編著者名	吉川 金利							
編集機関	長野県飯田市教育委員会							
所在地	〒395-0002 長野県飯田市上郷飯沼3145番地 ☎ 0265-53-4545							
発行年月日	西暦2001年3月31日							
ふりがな	ふりがな	コード		北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
所収遺跡名	所在地	市町村	遺跡番号					
みょうぜん 妙前遺跡	いばしまつおあらい 飯田市松尾新井 5934	2053	168 松16	35° 29' 53"	137° 51' 14"	平成10年3月17日 から 平成10年7月9日	1,323㎡	療養施設建設
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項			
妙前遺跡	集落址	縄文時代中期 弥生時代後期 古墳時代後期 奈良・平安時代	竪穴住居址 10 竪穴住居址 22 竪穴住居址 35 竪穴住居址 19	縄文土器 縄文石器 土偶 弥生土器 弥生石器 土師器 須恵器 灰釉陶器 円面硯 勾玉 白玉 石製模造品 鉄鎌	縄文時代中期後葉・弥生時代後期・古墳時代後期・奈良時代・平安時代の集落の一部を調査 各時代共に当地を代表する大規模な集落遺跡のひとつ 沖積地にある縄文時代中期後葉期の集落は、当地としては希少な立地条件にある			

---

みょう ぜん い せき  
妙 前 遺 跡

調査報告書

2001年3月 発行

編集・発行 長野県飯田市上郷飯沼3145番地  
長野県飯田市教育委員会  
印刷 飯田共同印刷機

---

